

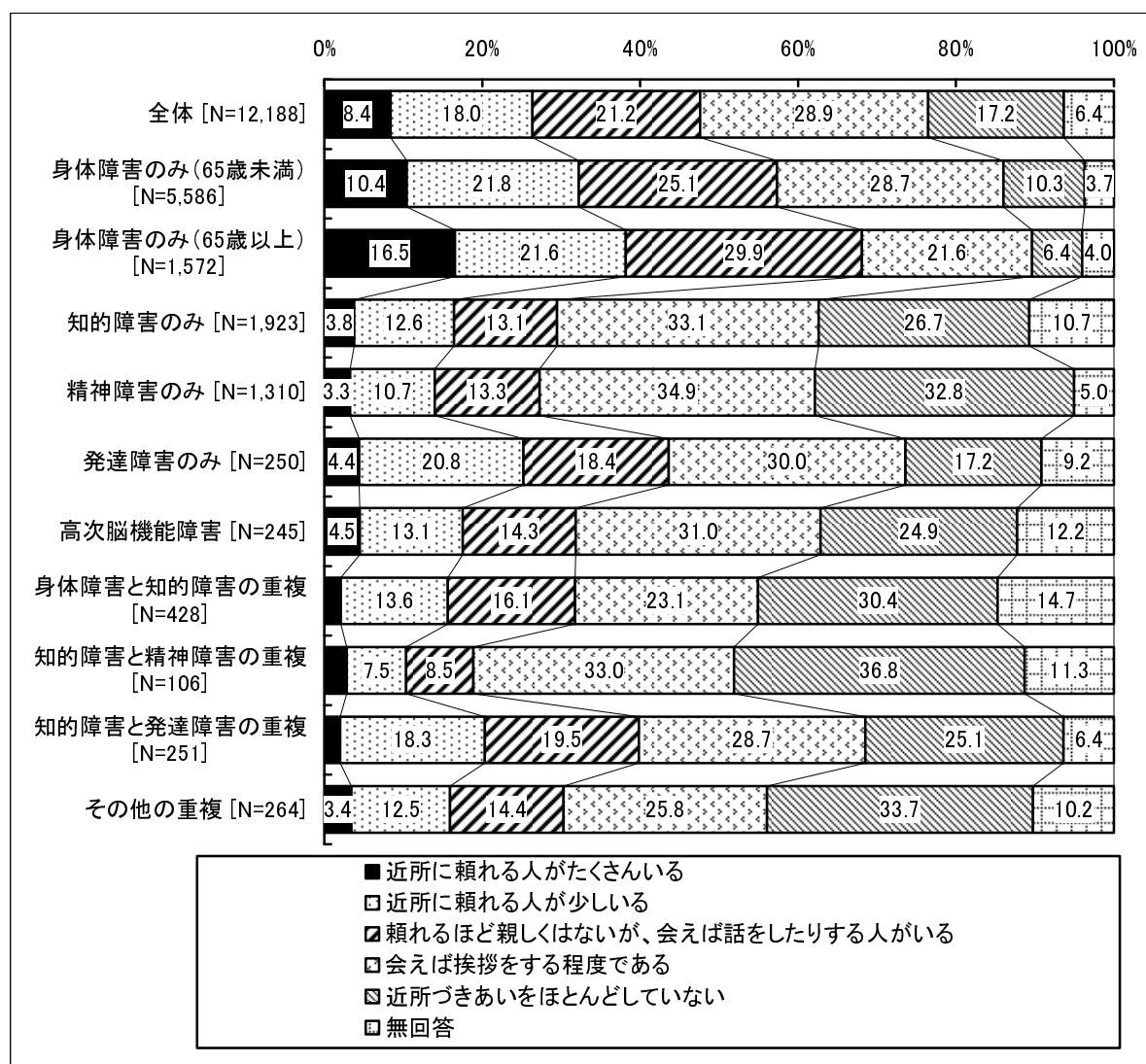
(7) 地域とのかかわりについて

①近所づきあいの程度

近所づきあいの程度について聞いたところ、「会えば挨拶をする程度である」の割合が28.9%と最も高く、次いで、「頼れるほど親しくはないが、会えば話をしたりする人がいる」が21.2%、「近所に頼れる人が少しいる」が18.0%、「近所づきあいをほとんどしていない」が17.2%となっています。

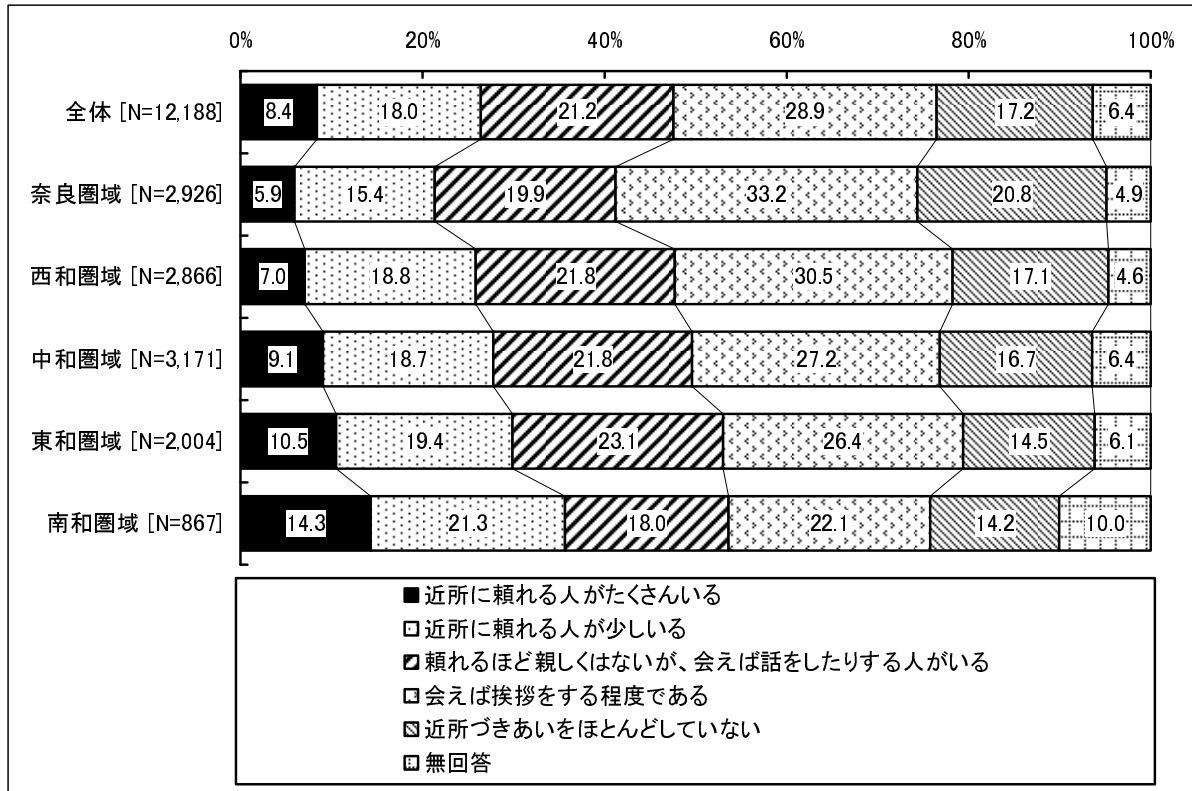
障害種別で見ると、「知的障害と精神障害の重複」「その他の重複」「精神障害のみ」などで「近所づきあいをほとんどしていない」が高い割合となっています。

図表71 近所づきあいの程度 [N=12,188]



居住地の圏域別で見ると、「奈良圏域」では近所づきあいが比較的薄く、一方で「南和圏域」では近所づきあいが活発である傾向がうかがえます。

図表72 近所づきあいの程度（圏域別） [N=12,188]

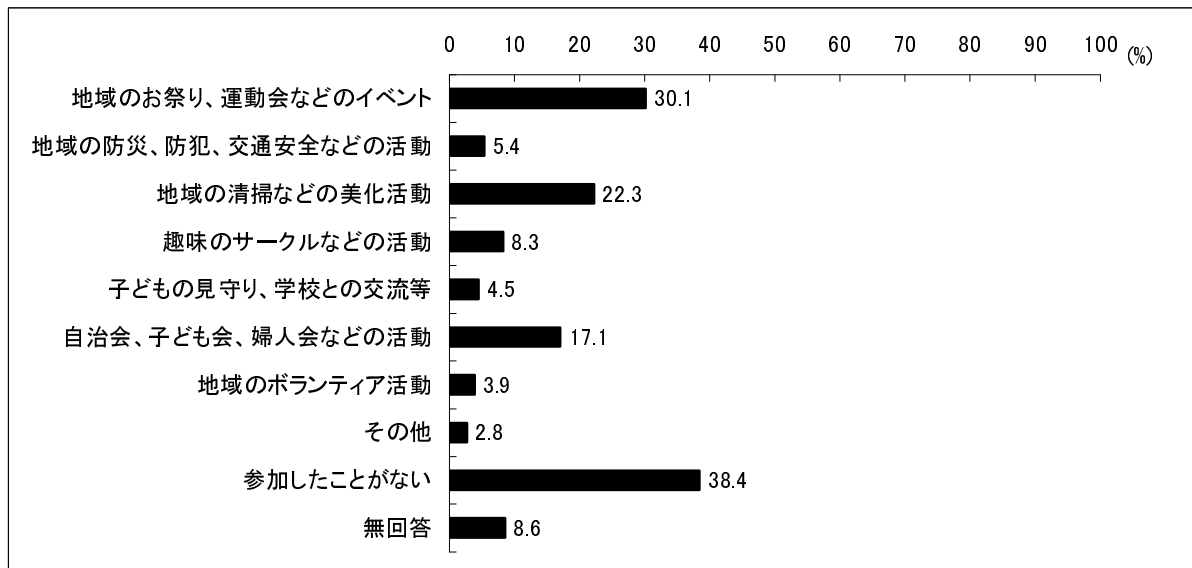


②参加したことがある地域行事・活動

参加したことがある地域行事・活動については、「地域のお祭り、運動会などのイベント」が30.1%、「地域の清掃などの美化活動」が22.3%等となっています。一方、「参加したことがない」の割合は38.4%となっています。

障害種別で見ると、「高次脳機能障害」「その他の重複」「精神障害のみ」などで、「参加したことがない」の割合が高くなっています。

図表73 参加したことがある地域行事・活動 [N=12,188 ; 複数回答]



	全体	(65歳未満)	(65歳以上)	知的障害のみ	精神障害のみ	発達障害のみ	高次脳機能障害	障害の重複と知的	障害の重複と精神	知的障害の重複	知的障害と発達	その他の重複
N=	12,188	5,586	1,572	1,923	1,310	250	245	428	106	251	264	
地域のお祭り、運動会などのイベント	30.1	28.6	26.2	41.2	20.2	57.2	14.3	35.0	26.4	51.0	25.0	
地域の防災、防犯、交通安全などの活動	5.4	7.3	8.3	2.0	2.9	3.6	2.0	1.2	0.0	2.8	1.9	
地域の清掃などの美化活動	22.3	29.3	32.1	10.4	12.8	21.6	9.0	6.5	8.5	12.4	5.3	
趣味のサークルなどの活動	8.3	10.0	14.4	4.3	5.0	6.0	4.1	2.3	3.8	6.0	4.2	
子どもの見守り、学校との交流等	4.5	5.2	4.2	3.8	2.4	7.2	2.4	6.5	0.9	7.6	4.5	
自治会、子ども会、婦人会などの活動	17.1	21.5	20.8	11.2	7.0	32.4	6.5	10.5	3.8	26.7	5.7	
地域のボランティア活動	3.9	4.7	6.6	1.8	3.5	1.6	1.2	0.7	1.9	1.6	2.3	
その他	2.8	2.1	3.8	3.1	3.8	1.2	5.7	2.1	3.8	1.2	2.7	
参加したことがない	38.4	36.7	32.4	36.7	52.3	19.2	57.1	43.5	51.9	31.9	53.4	
無回答	8.6	6.6	8.7	10.7	8.9	9.6	11.4	11.2	9.4	5.2	9.5	

居住地の圏域別で見ると、「奈良圏域」で「参加したことがない」の割合が高く、一方、「南和圏域」では「地域のお祭り、運動会などのイベント」などが高い割合となっています。

図表74 参加したことがある地域行事・活動（圏域別） [N=12,188]

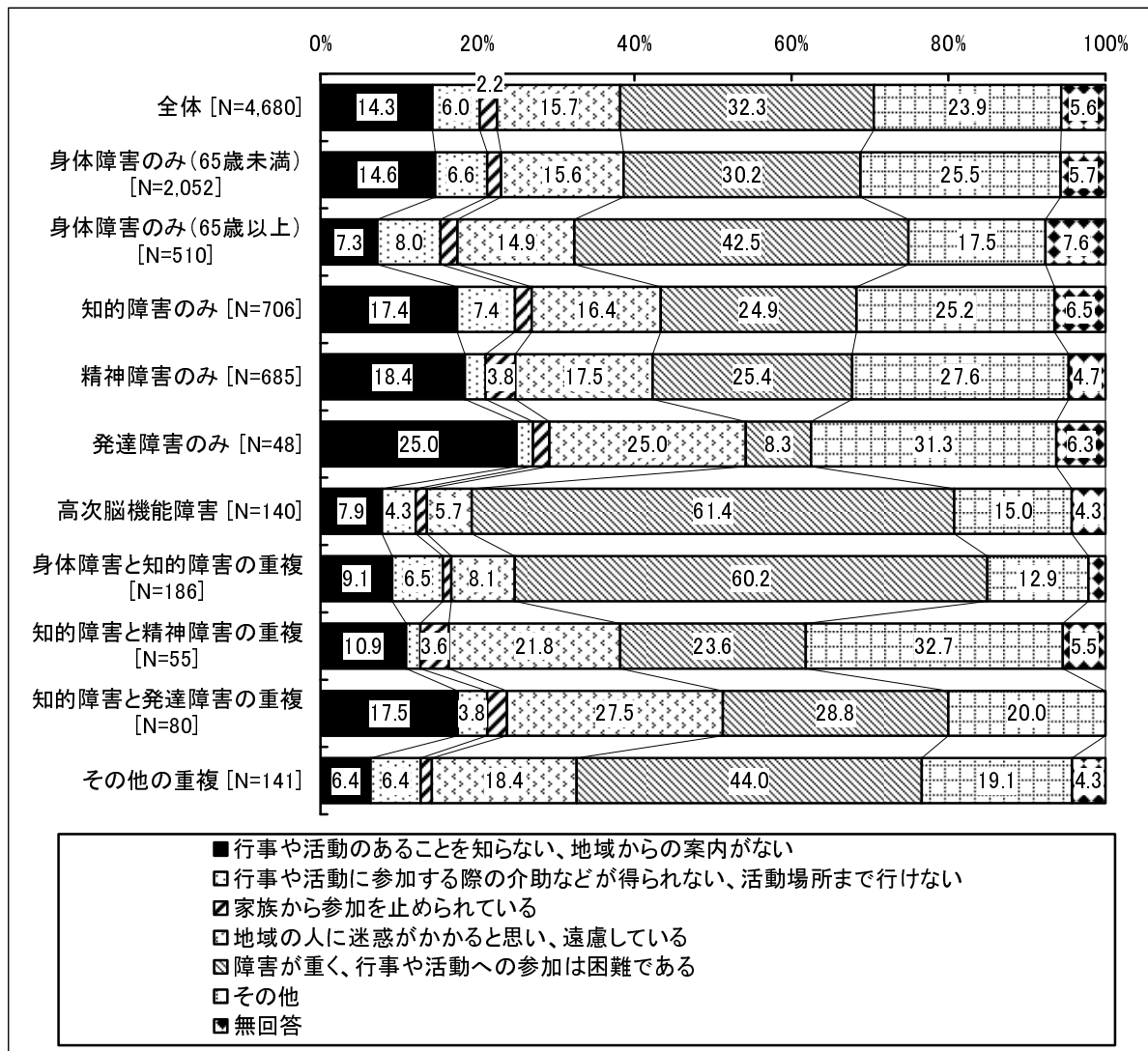
	全体	奈良圏域	西和圏域	中和圏域	東和圏域	南和圏域
N=	12,188	2,926	2,866	3,171	2,004	867
地域のお祭り、運動会などのイベント	30.1	25.6	31.4	28.2	34.4	40.8
地域の防災、防犯、交通安全などの活動	5.4	4.6	4.3	6.5	5.0	8.7
地域の清掃などの美化活動	22.3	14.7	24.0	25.9	22.4	30.1
趣味のサークルなどの活動	8.3	6.7	10.3	7.8	9.2	8.0
子どもの見守り、学校との交流等	4.5	3.5	4.5	5.1	5.3	4.5
自治会、子ども会、婦人会などの活動	17.1	15.0	18.6	16.9	19.0	17.9
地域のボランティア活動	3.9	2.8	4.2	3.8	4.7	5.4
その他	2.8	3.1	2.3	2.8	2.7	3.0
参加したことがない	38.4	45.0	37.6	37.8	36.4	27.9
無回答	8.6	7.6	7.2	8.8	7.9	10.6

③地域行事・活動に参加しない理由

前問「参加したことがある地域行事・活動」で「参加したことがない」と回答した人に、地域行事・活動に参加しない理由について聞いたところ、「障害が重く、行事や活動への参加は困難である」の割合が32.3%等となっています。

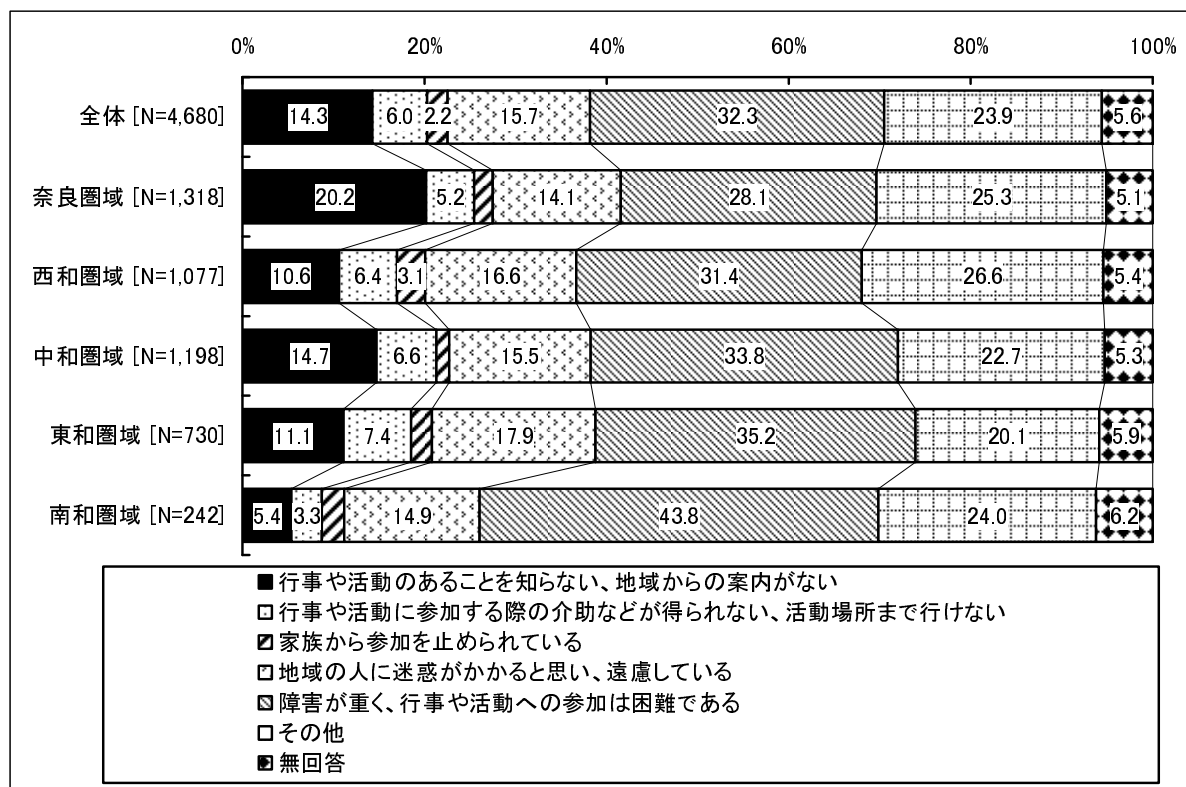
障害種別で見ると、「高次脳機能障害」「身体障害と知的障害の重複」などで「障害が重く、行事や活動への参加は困難である」が高い割合となっています。

図表75 地域行事・活動に参加しない理由 [N=4,680]



居住地の圏域別で見ると、「南和圏域」では「障害が重く、行事や活動への参加は困難である」が高い割合となっています。一方、「奈良圏域」では、「行事や活動のあることを知らない、地域からの案内がない」の割合が他と比べて高くなっています。

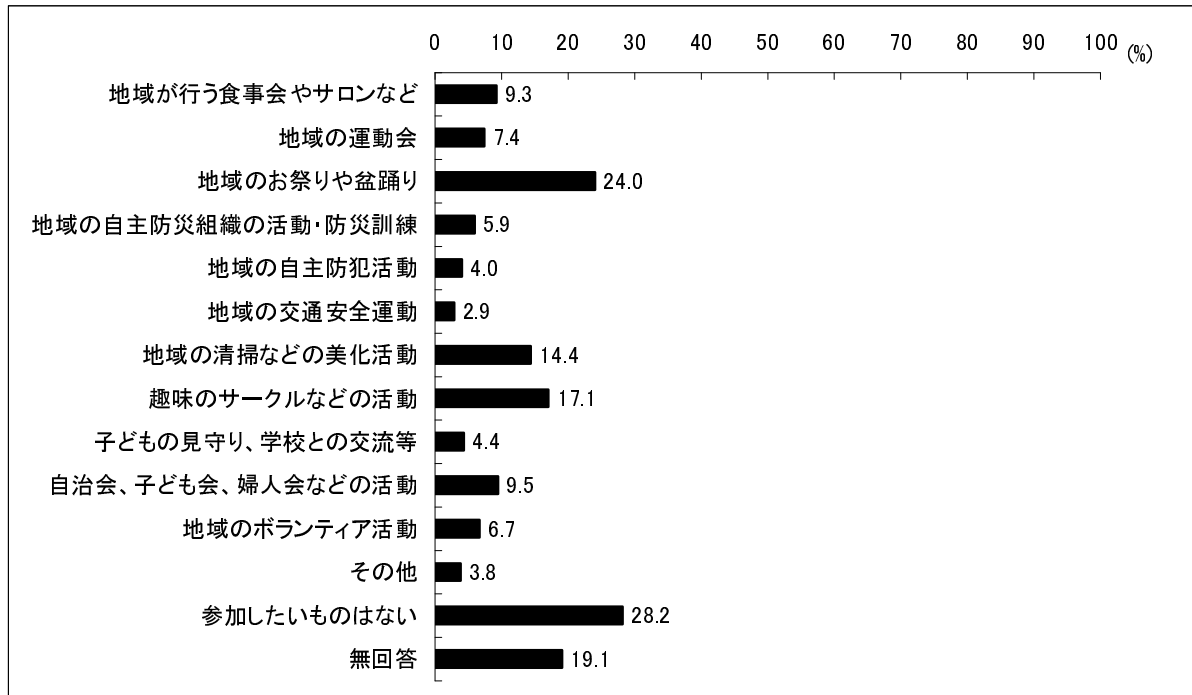
図表76 地域行事・活動に参加しない理由（圏域別） [N=4,680]



④参加してみたい地域行事・活動

参加してみたい地域行事・活動について聞いたところ、「地域のお祭りや盆踊り」が24.0%、「趣味のサークルなどの活動」が17.1%、「地域の清掃などの美化活動」が14.4%となっています。一方、「参加したいものはない」の割合は28.2%となっています。

図表77 参加してみたい地域行事・活動 [N=12,188 ; 複数回答]



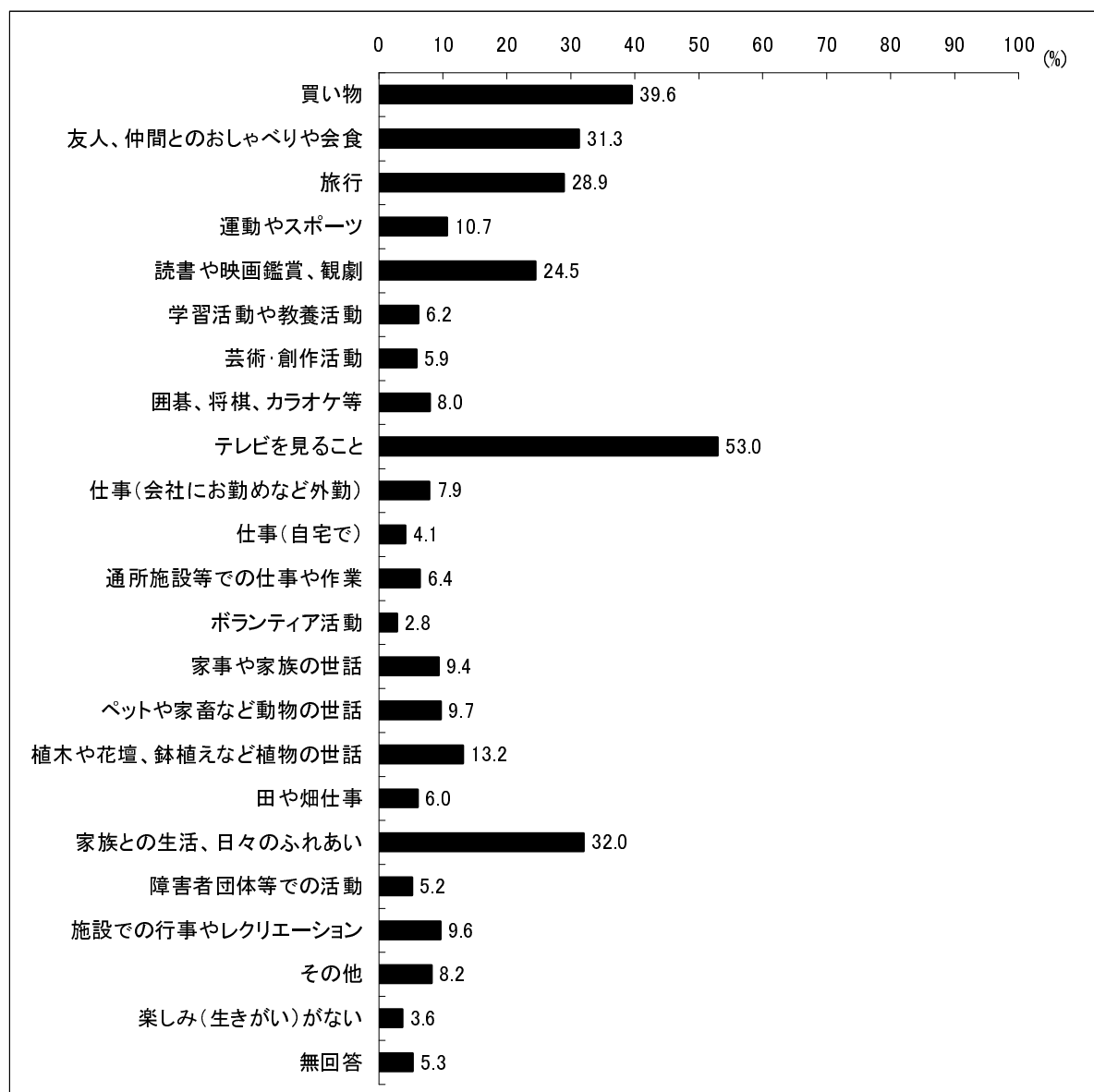
	全体	(65歳未満)	(65歳以上)	知的障害のみ	精神障害のみ	発達障害のみ	高次脳機能障害	障害の重複と知的	知的障害と精神	知的障害と発達	その他の重複
N=	12,188	5,586	1,572	1,923	1,310	250	245	428	106	251	264
地域が行う食事会やサロンなど	9.3	8.9	14.4	7.2	10.1	6.0	6.5	8.4	9.4	6.8	8.0
地域の運動会	7.4	5.8	6.6	12.5	4.8	15.2	6.9	8.4	6.6	15.1	8.0
地域のお祭りや盆踊り	24.0	20.8	17.7	36.3	20.2	39.2	15.9	31.1	32.1	46.2	23.5
地域の自主防災組織の活動・防災訓練	5.9	7.2	9.2	3.1	4.5	3.6	3.3	1.9	2.8	5.6	2.7
地域の自主防犯活動	4.0	5.0	7.3	1.2	3.4	2.4	1.6	0.9	0.0	0.8	2.3
地域の交通安全運動	2.9	3.4	5.1	1.6	2.1	2.0	1.6	0.9	1.9	2.0	2.3
地域の清掃などの美化活動	14.4	17.0	21.9	8.7	11.9	13.2	8.6	2.8	10.4	10.0	4.5
趣味のサークルなどの活動	17.1	20.3	21.4	10.5	16.1	14.8	13.1	7.5	13.2	12.7	8.7
子どもの見守り、学校との交流等	4.4	5.0	5.0	2.4	3.3	6.0	2.4	4.7	2.8	9.6	5.3
自治会、子ども会、婦人会などの活動	9.5	11.0	13.1	6.2	3.0	19.6	5.7	8.4	1.9	20.7	6.1
地域のボランティア活動	6.7	8.6	8.8	3.5	6.2	4.4	2.0	1.9	4.7	4.0	3.0
その他	3.8	3.2	4.4	3.3	4.4	1.6	10.2	4.7	6.6	3.6	8.3
参加したいものはない	28.2	29.5	23.3	24.6	38.2	20.8	30.6	25.9	33.0	18.3	28.8
無回答	19.1	16.6	19.8	22.4	15.6	19.6	28.2	27.1	15.1	15.1	23.9

(8) 日常の楽しみ・生きがいについて

①日常の楽しみ・生きがい

日常の楽しみ・生きがいを聞いたところ、「テレビを見ること」の割合が53.0%と最も高く、次いで、「買い物」が39.6%、「家族との生活、日々のふれあい」が32.0%、「友人、仲間とのおしゃべりや会食」が31.3%と続いています。

図表78 日常の楽しみ・生きがい [N=12,188 ; 複数回答]



障害種別で見ると、いずれも、「テレビを見ること」の割合が高く、特に「知的障害と発達障害の重複」「知的障害のみ」で高くなっています。

図表79 日常の楽しみ・生きがい（障害種別） [N=12,188；複数回答]

	全体	（身体障害未のみ）	（身体障害の上のみ）	知的障害のみ	精神障害のみ	発達障害のみ	高次脳機能障害	身体障害と知的障害の重複	知的障害と精神障害の重複	知的障害と発達障害の重複	その他の重複
N=	12,188	5,586	1,572	1,923	1,310	250	245	428	106	251	264
買い物	39.6	39.5	35.9	45.5	43.4	31.2	22.9	32.7	52.8	41.8	29.2
友人、仲間とおしゃべりや会食	31.3	38.8	34.9	21.3	26.8	24.0	20.8	17.3	15.1	14.7	17.8
旅行	28.9	32.8	35.8	28.1	16.4	19.6	15.5	22.4	19.8	26.3	16.3
運動やスポーツ	10.7	10.9	8.7	13.0	8.2	24.8	3.3	5.8	11.3	21.9	8.7
読書や映画鑑賞、観劇	24.5	29.5	21.5	16.7	27.8	29.6	16.3	12.9	17.9	16.7	17.0
学習活動や教養活動	6.2	7.0	7.0	3.5	5.8	11.6	6.1	4.9	1.9	10.8	2.3
芸術・創作活動	5.9	6.8	5.4	3.2	8.4	9.2	3.3	1.6	4.7	6.4	4.5
囲碁、将棋、カラオケ等	8.0	6.4	11.8	8.3	10.0	9.2	6.5	8.4	12.3	4.8	8.7
テレビを見ること	53.0	51.3	55.2	61.1	47.8	52.8	45.7	49.3	56.6	64.1	52.3
仕事(会社にお勤めなど外勤)	7.9	12.4	3.0	6.2	3.7	1.2	4.1	1.9	6.6	0.8	0.4
仕事(自宅で)	4.1	5.3	6.0	1.9	3.2	1.6	2.9	0.9	1.9	0.8	0.8
通所施設等での仕事や作業	6.4	1.1	0.4	21.7	9.5	3.6	4.9	19.2	24.5	8.8	6.4
ボランティア活動	2.8	3.5	5.0	0.7	3.2	0.4	1.6	0.2	0.0	0.4	2.3
家事や家族の世話	9.4	12.4	11.6	4.1	9.4	3.2	2.9	2.3	4.7	3.2	3.0
ペットや家畜など動物の世話	9.7	12.1	8.5	7.4	10.2	8.8	4.9	3.7	8.5	4.8	4.9
植木や花壇、鉢植えなど植物の世話	13.2	17.2	28.4	1.6	7.1	3.6	5.7	0.9	4.7	3.2	2.7
田や畑仕事	6.0	6.9	13.8	2.7	3.3	2.0	2.9	0.7	1.9	1.6	1.9
家族との生活、日々のふれあい	32.0	34.4	30.9	31.5	22.1	38.4	29.4	38.6	24.5	44.2	33.3
障害者団体等での活動	5.2	4.2	2.9	10.1	3.6	7.2	6.1	7.0	5.7	9.2	5.3
施設での行事やレクリエーション	9.6	2.8	3.6	24.1	11.1	4.4	20.8	34.1	24.5	17.5	17.4
その他	8.2	6.4	5.6	10.2	10.6	16.0	10.6	9.8	13.2	19.9	14.0
楽しみ(生きがい)がない	3.6	3.2	2.3	1.7	10.5	1.2	5.7	2.6	1.9	2.8	6.1
無回答	5.3	3.6	4.3	7.0	4.1	13.2	9.4	7.7	5.7	5.6	8.7

居住地の圏域別で見ると、いずれも、「テレビを見ること」の割合が高くなっていますが、その他、「奈良圏域」「西和圏域」では「読書や映画鑑賞、観劇」などの割合も高くなっています。

図表80 日常の楽しみ・生きがい（圏域別） [N=12,188]

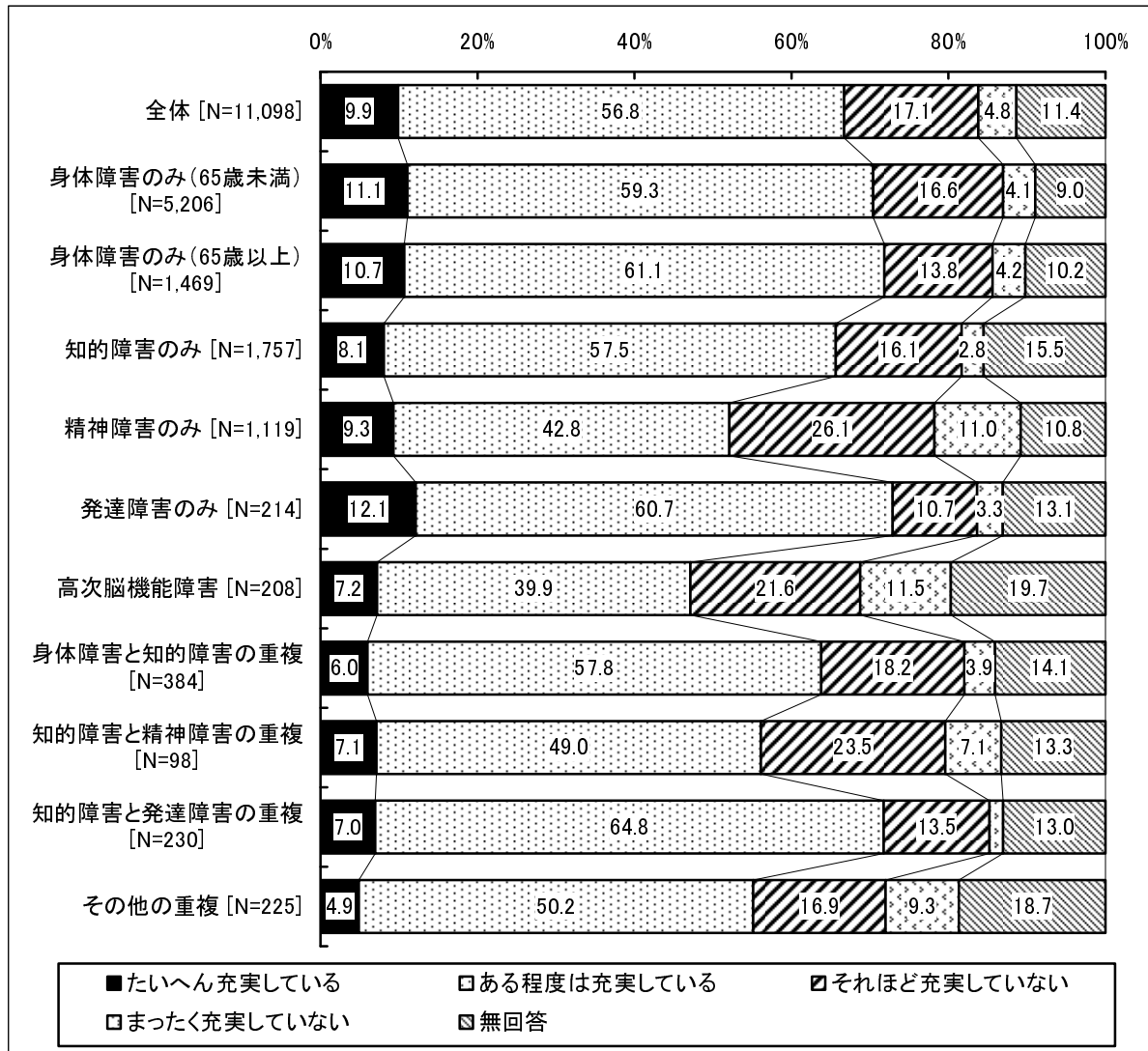
	全体	奈良圏域	西和圏域	中和圏域	東和圏域	南和圏域
N=	12,188	2,926	2,866	3,171	2,004	867
買い物	39.6	40.1	39.9	38.5	39.8	40.8
友人、仲間とおしゃべりや会食	31.3	32.7	32.4	31.2	30.0	29.2
旅行	28.9	29.4	31.2	28.4	28.6	26.0
運動やスポーツ	10.7	11.9	12.6	10.2	8.2	8.9
読書や映画鑑賞、観劇	24.5	27.3	27.4	23.2	21.6	20.8
学習活動や教養活動	6.2	7.0	7.2	5.6	5.5	5.2
芸術・創作活動	5.9	7.2	7.3	4.7	5.1	4.3
囲碁、将棋、カラオケ等	8.0	8.0	8.4	7.4	8.0	8.9
テレビを見ること	53.0	54.8	53.6	53.3	51.9	50.1
仕事(会社にお勤めなど外勤)	7.9	8.4	7.9	8.1	6.9	8.8
仕事(自宅で)	4.1	3.3	3.5	3.9	5.4	6.3
通所施設等での仕事や作業	6.4	7.2	7.0	5.7	6.8	5.3
ボランティア活動	2.8	3.0	2.9	2.4	3.4	2.4
家事や家族の世話	9.4	9.4	10.5	8.8	10.1	7.7
ペットや家畜など動物の世話	9.7	9.5	10.6	8.8	10.1	10.5
植木や花壇、鉢植えなど植物の世話	13.2	12.7	14.1	12.7	13.7	14.1
田や畑仕事	6.0	4.1	5.1	6.2	8.5	9.6
家族との生活、日々のふれあい	32.0	31.8	33.8	32.9	31.5	30.9
障害者団体等での活動	5.2	5.6	5.1	5.0	5.7	4.0
施設での行事やレクリエーション	9.6	11.0	9.9	8.6	8.1	11.3
その他	8.2	8.9	8.2	8.7	7.4	7.4
楽しみ(生きがい)がない	3.6	3.9	3.3	3.7	3.9	3.3
無回答	5.3	4.3	4.7	5.4	4.6	6.6

②人生の充実度

前問「日常の楽しみ・生きがい」で、楽しみ・生きがいを回答した人に、人生の充実度について聞いたところ、「ある程度は充実している」の割合が56.8%となっています。

障害種別で見ると、「高次脳機能障害」「精神障害のみ」などで、充実している割合が比較的小さい傾向が見られます。

図表81 人生の充実度 [N=11,098]

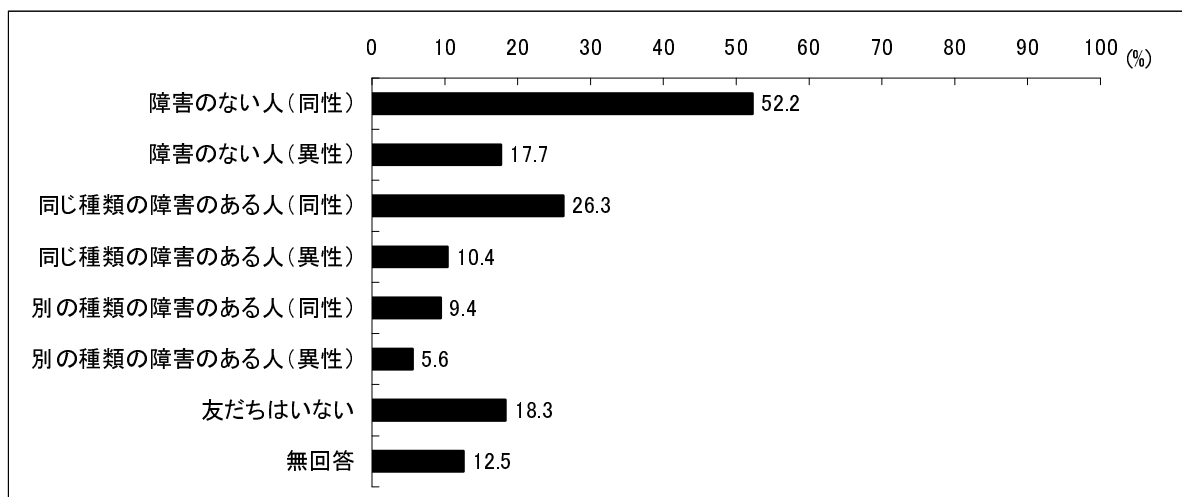


(9) 交友、結婚等について

①友だちづきあいの相手

友だちづきあいの相手としては、「障害のない人（同性）」の割合が52.2%と最も高く、次いで、「同じ種類の障害のある人（同性）」が26.3%となっています。

図表82 友だちづきあいの相手 [N=12,188 ; 複数回答]



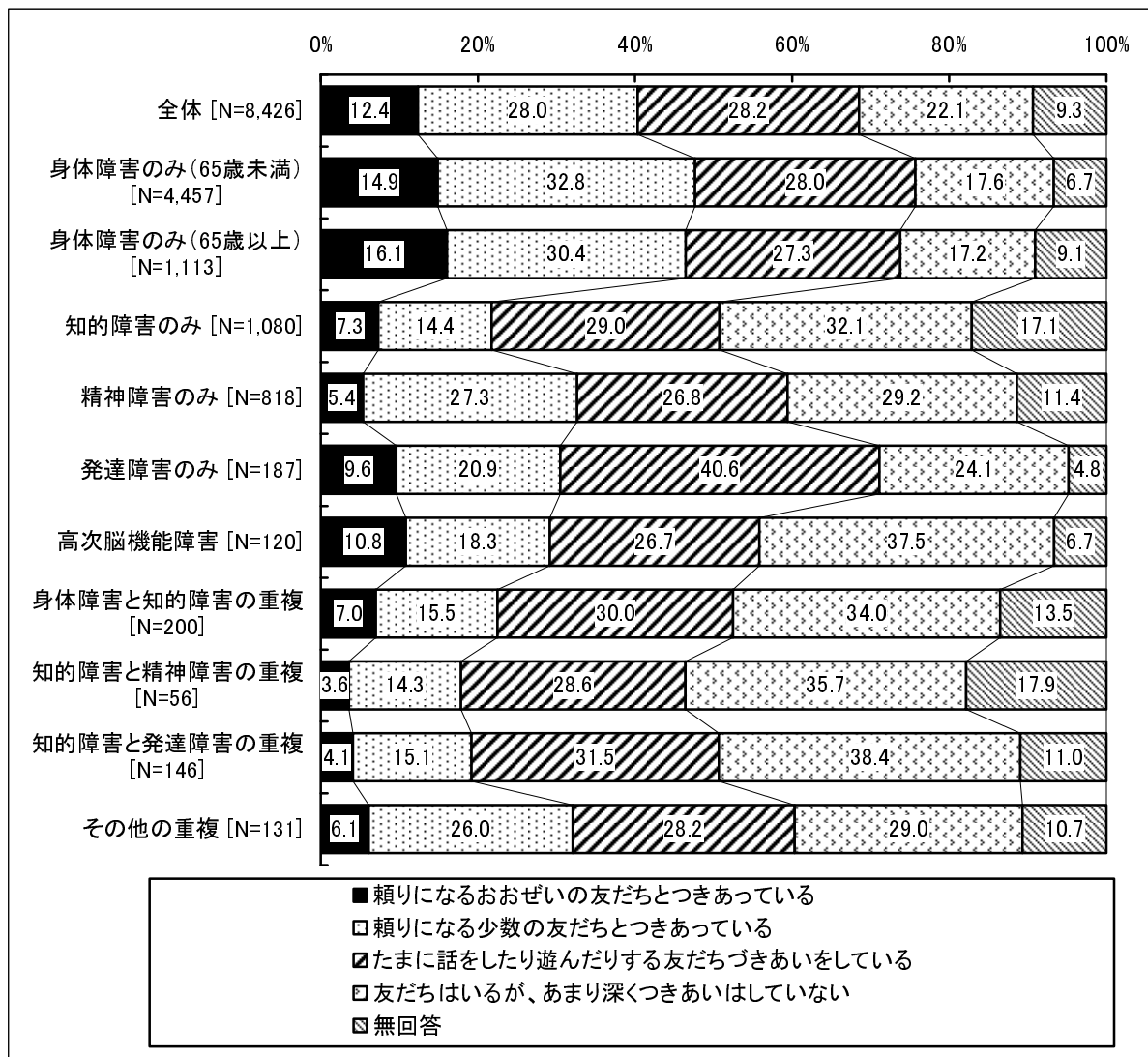
	全体	(6 5 歳 未 満) 身体 障害 の 上 み	(6 5 歳 以 上) 身体 障害 の 上 み	知的 障害 の み	精神 障害 の み	発 達 障 害 の み	高 次 脳 機 能 障 害	障 害 の 重 複 と 知 的	障 害 の 重 複 と 精 神	知 的 障 害 と 精 神	障 害 の 重 複 と 発 達	知 的 障 害 と 発 達	そ の 他 の 重 複
N=	12,188	5,586	1,572	1,923	1,310	250	245	428	106	251	264		
障害のない人(同性)	52.2	71.5	62.8	19.1	35.9	60.4	33.9	14.5	18.9	33.9	23.9		
障害のない人(異性)	17.7	24.0	13.9	8.8	11.5	30.4	11.4	9.3	6.6	24.3	14.0		
同じ種類の障害のある人(同性)	26.3	21.3	14.1	40.9	36.9	38.4	20.4	29.2	34.0	40.6	28.8		
同じ種類の障害のある人(異性)	10.4	7.8	3.1	16.8	15.7	15.6	8.6	17.5	11.3	21.1	14.0		
別の種類の障害のある人(同性)	9.4	9.1	6.6	10.8	7.2	13.6	13.1	15.9	8.5	16.7	14.4		
別の種類の障害のある人(異性)	5.6	5.0	2.1	6.6	4.7	9.2	7.3	13.3	6.6	14.7	11.0		
友だちはいない	18.3	11.6	12.2	26.7	29.4	16.0	29.8	28.5	31.1	31.1	36.4		
無回答	12.5	8.6	17.0	17.2	8.2	9.2	21.2	24.8	16.0	10.8	14.0		

②友だちづきあいの状況

前問「友だちづきあいの相手」で、友だちがいると回答した人に、友だちづきあいの状況について聞いたところ、「たまに話をしたり遊んだりする友だちづきあいをしている」の割合が28.2%、「頼りになる少数の友だちとつきあっている」が28.0%等となっています。

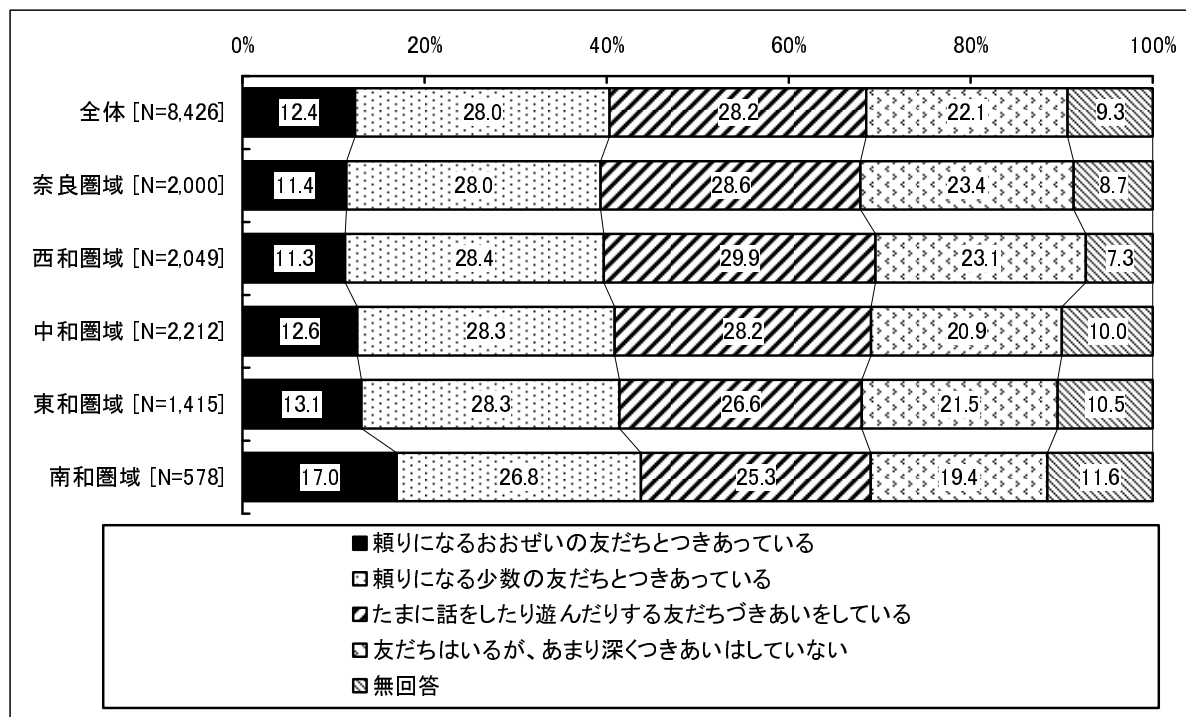
障害種別で見ると、「発達障害のみ」で「たまに話をしたり遊んだりする友だちづきあいをしている」、「知的障害と発達障害の重複」で「友だちはいるが、あまり深くつきあいはしていない」などが高い割合となっています。

図表83 友だちづきあいの状況 [N=8,426]



居住地の圏域別で見ると、「南和圏域」で「頼りになるおおぜいの友だちとつきあっている」が比較的高い割合となっています。

図表84 友だちづきあいの状況（圏域別） [N=8,426]

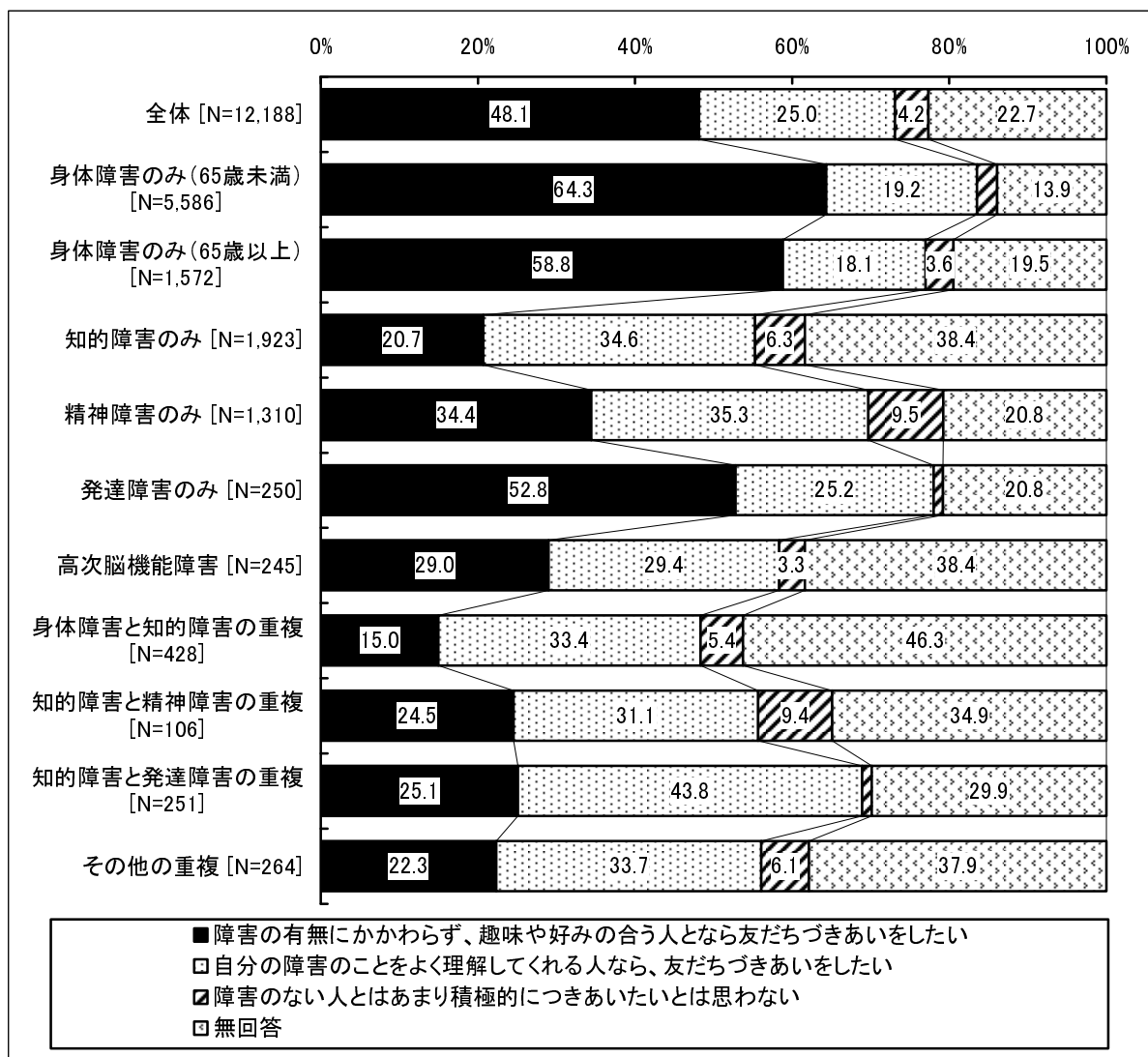


③障害のない人との友だちづきあいについて

障害のない人との友だちづきあいについてについて聞いたところ、「障害の有無にかかわらず、趣味や好みの合う人となら友だちづきあいをしたい」の割合が48.1%とほぼ半数を占めます。また、「自分の障害のことをよく理解してくれる人なら、友だちづきあいをしたい」が25.0%となっています。

障害種別で見ると、「身体障害のみ」と「発達障害のみ」では、「障害の有無にかかわらず、趣味や好みの合う人となら友だちづきあいをしたい」の割合が比較的高い一方、その他は「自分の障害のことをよく理解してくれる人なら、友だちづきあいをしたい」の方が高い割合となっています。

図表85 障害のない人との友だちづきあいについて [N=12,188]

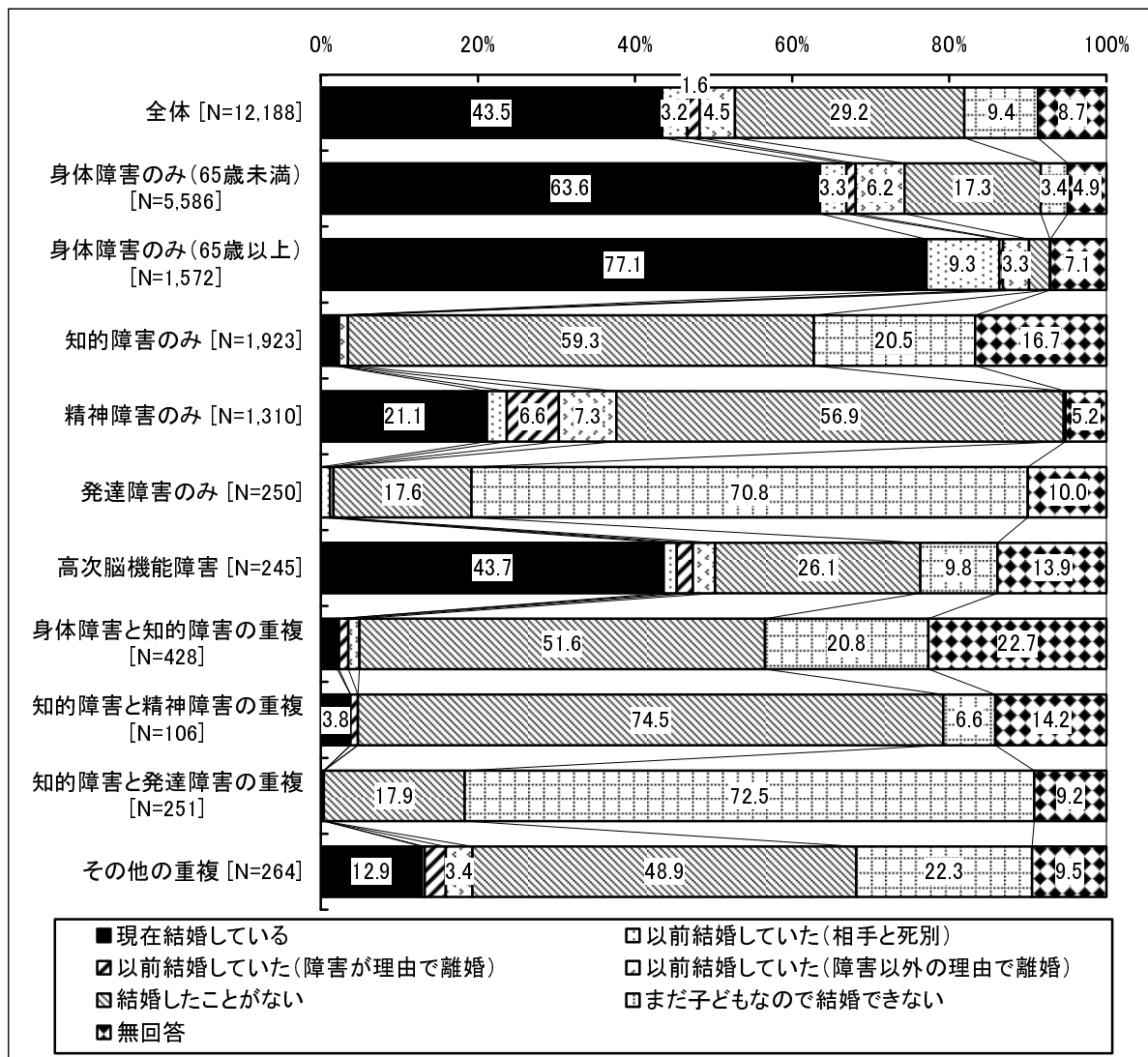


④結婚の経験

結婚の経験については、「現在結婚している」の割合が43.5%となっています。また、「結婚したことがない」は29.2%となっています。

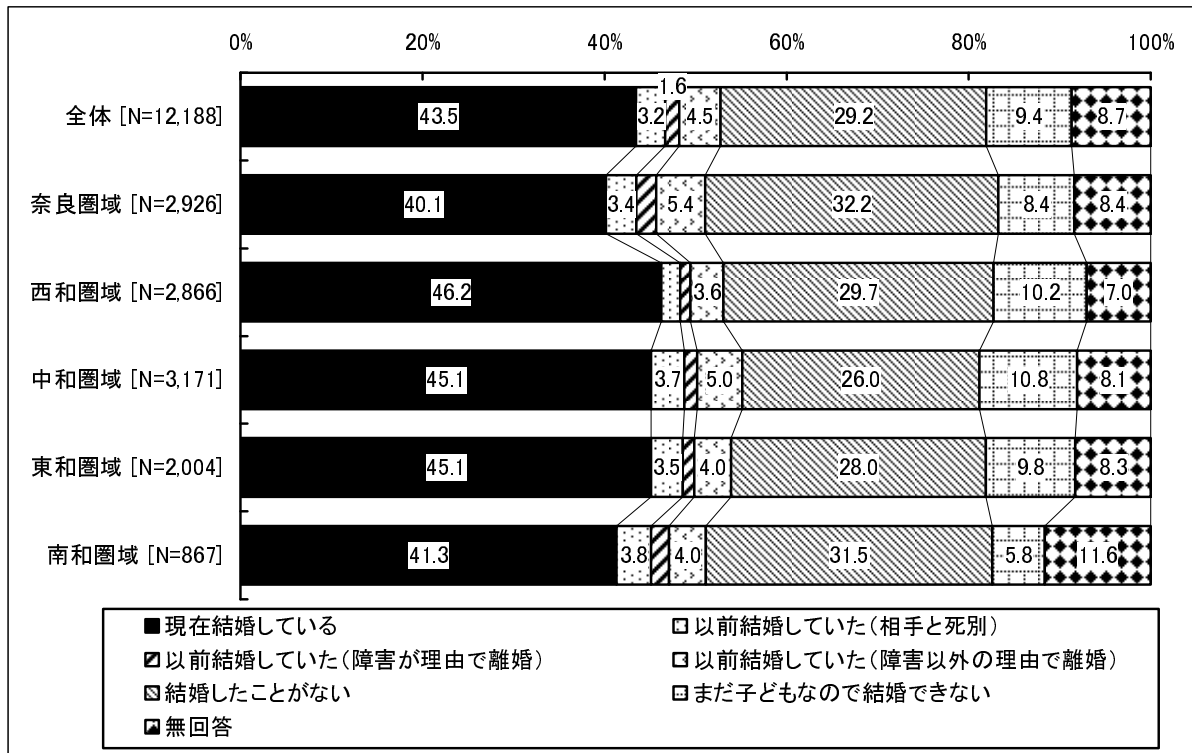
障害種別で見ると、「身体障害のみ」「高次脳機能障害」で「現在結婚している」、「知的障害と精神障害の重複」「知的障害のみ」で「結婚したことがない」が高い割合となっています。

図表86 結婚の経験 [N=12,188]



居住地の圏域別で見ると、「西和圏域」で「現在結婚している」がやや高い割合となっています。

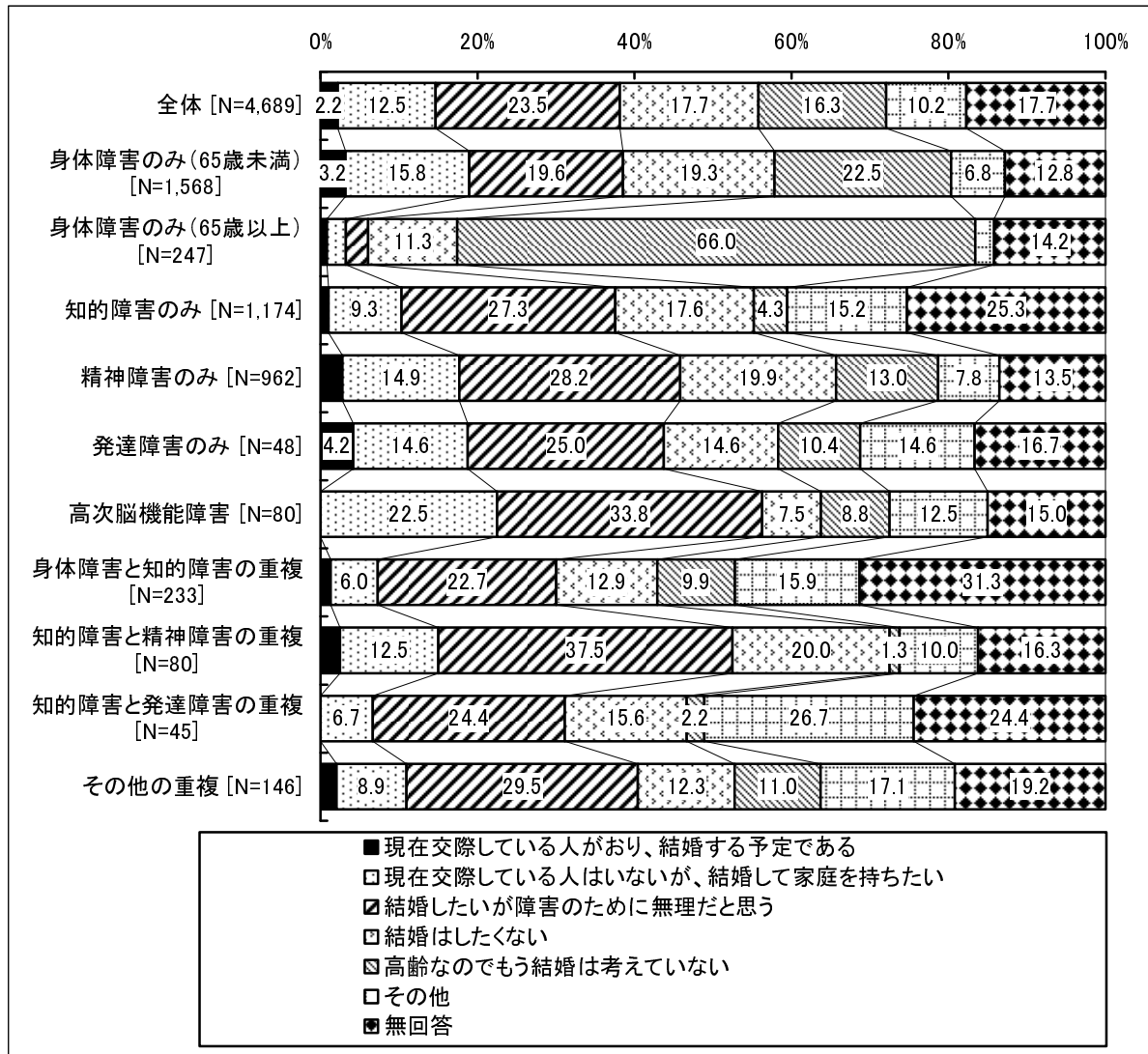
図表87 結婚の経験（圏域別） [N=12,188]



⑤結婚についての考え方

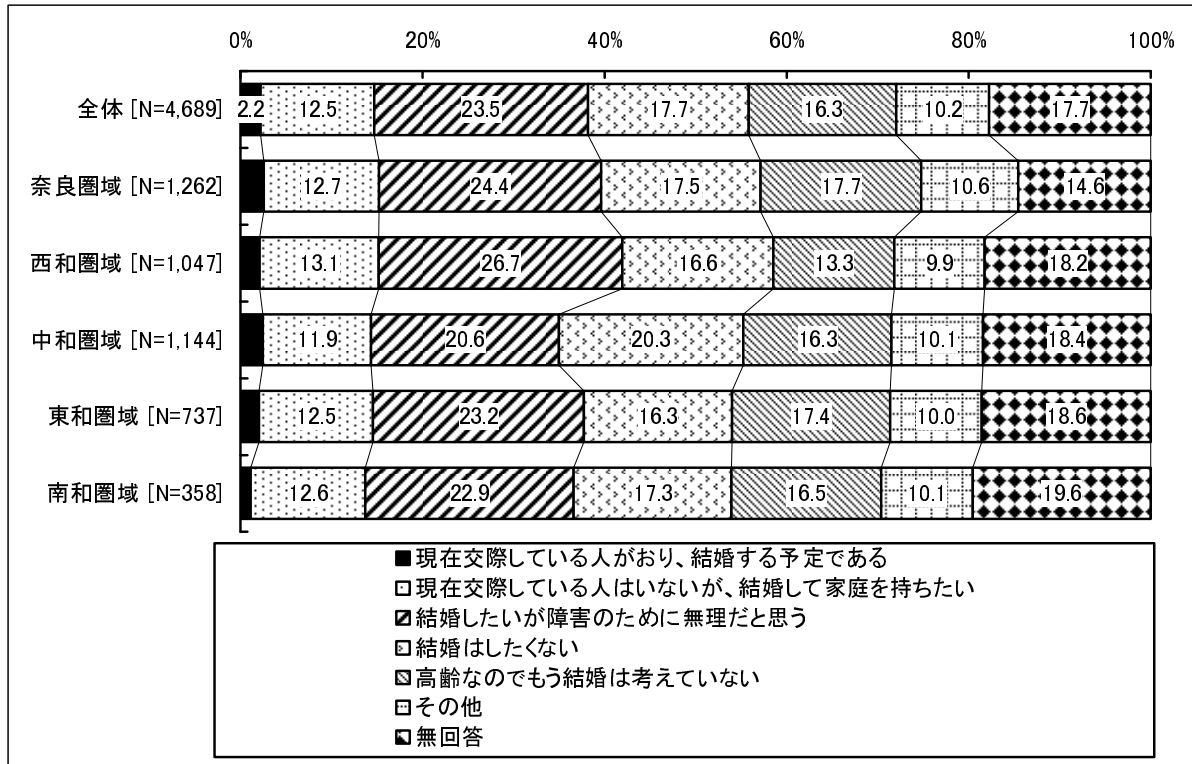
前問「結婚の経験」で「以前結婚していた」「結婚したことがない」と回答した人に、結婚についての考え方を聞いたところ、「結婚したいが障害のために無理だと思う」の割合が23.5%と最も高く、次いで、「結婚はしたくない」が17.7%となっています。

図表88 結婚についての考え方 [N=4,689]



居住地の圏域別で見ると、「西和圏域」「奈良圏域」で「結婚したいが障害のために無理だと思う」がやや高い割合となっています。

図表89 結婚についての考え方（圏域別） [N=4, 689]



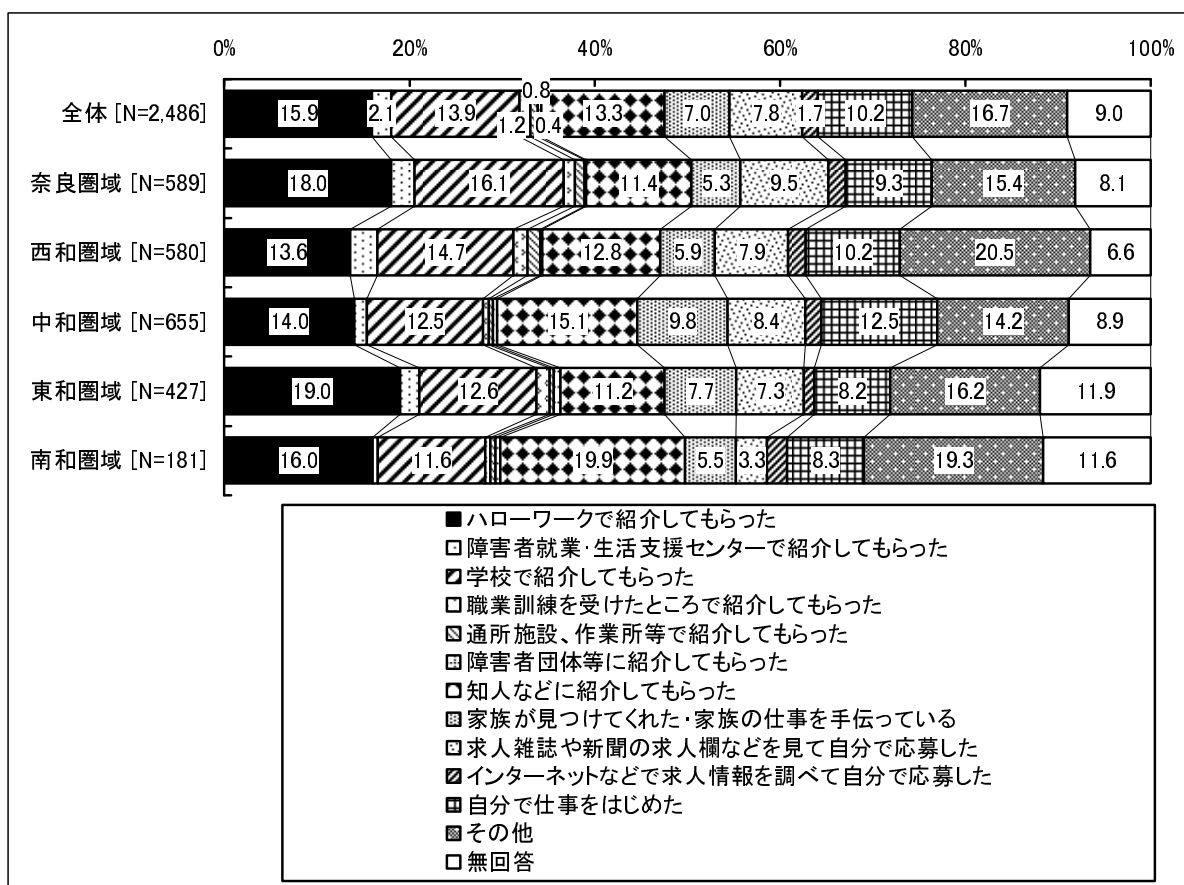
(10) 就労について

①現在の仕事を見つけた方法

現在、企業や自営業で働いている人に、現在の仕事を見つけた方法について聞いたところ、「ハローワークで紹介してもらった」が15.9%、「学校で紹介してもらった」が13.9%、「知人などに紹介してもらった」が13.3%等となっています。

居住地の圏域別で見ると、「東和圏域」「奈良圏域」では「ハローワークで紹介してもらった」が比較的高い割合です。一方、「南和圏域」では「知人などに紹介してもらった」が高い割合となっています。

図表90 現在の仕事を見つけた方法（圏域別） [N=2,486]

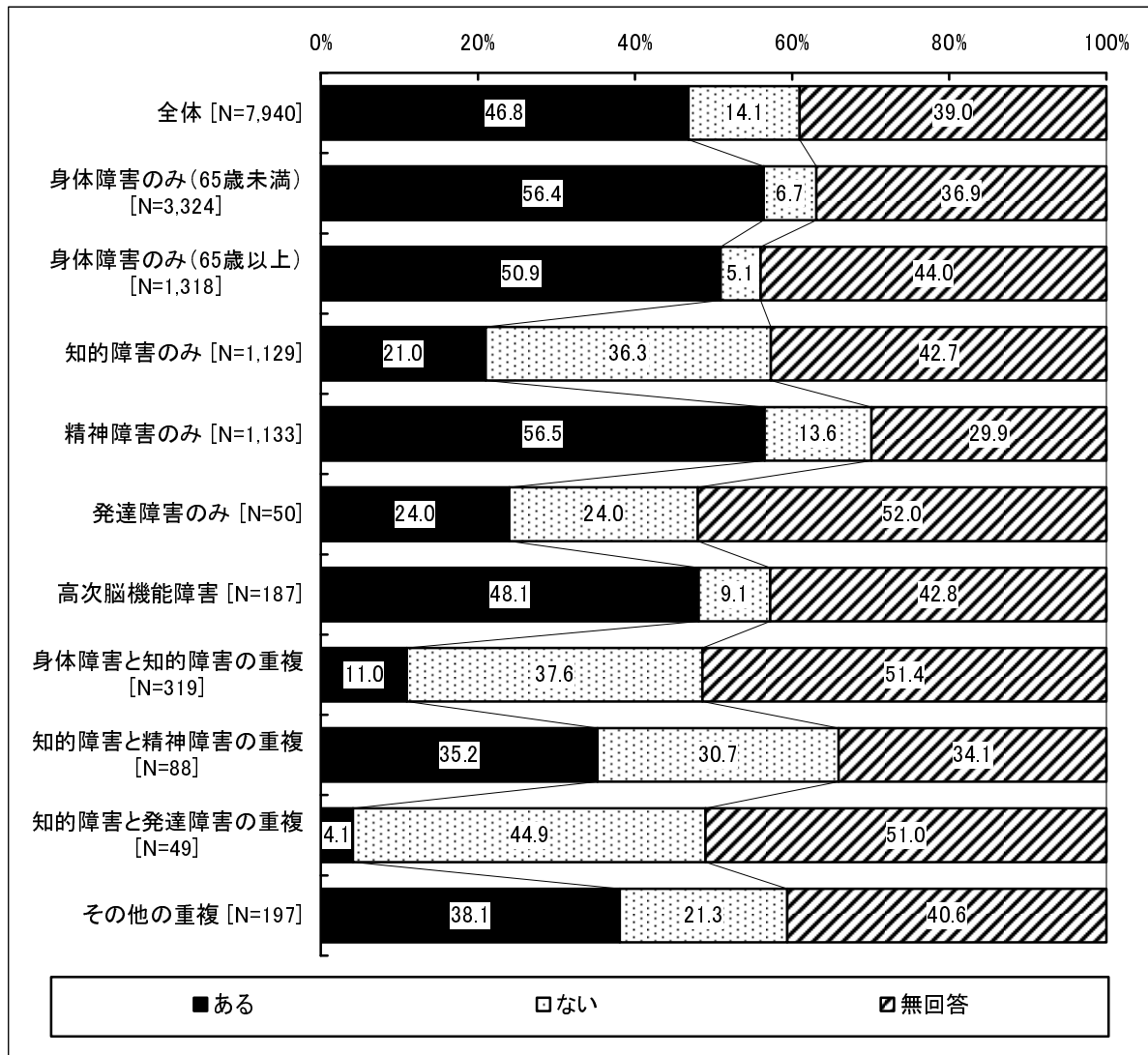


②就労していない人の状況

現在、企業や自営業で働いていない人に、企業等で働いた経験の有無を聞いたところ、「ある」の割合が46.8%とほぼ半数となっています。一方、「ない」は14.1%となっています。

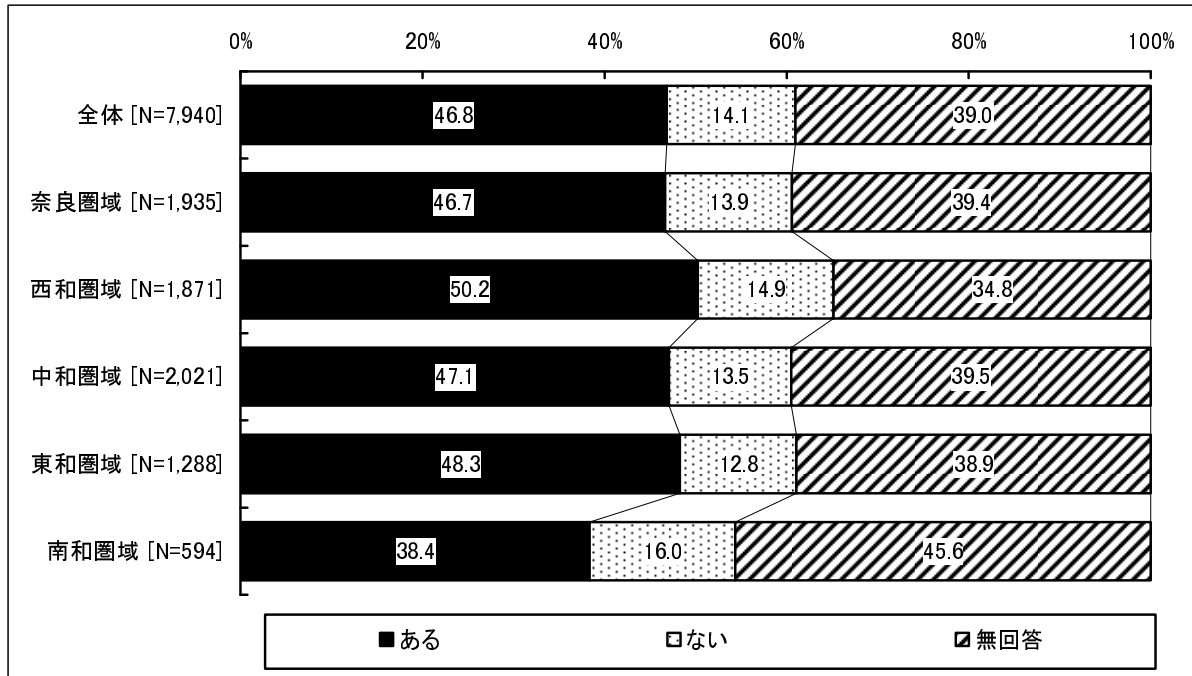
障害種別で見ると、「精神障害のみ」「身体障害のみ（65歳未満）」で「ある」が高い割合となっています。

図表91 企業等で働いた経験の有無 [N=7,940]



居住地の圏域別で見ると、「西和圏域」や「東和圏域」で「ある」の割合が比較的高く、一方、「南和圏域」では他と比べて低い割合となっています。

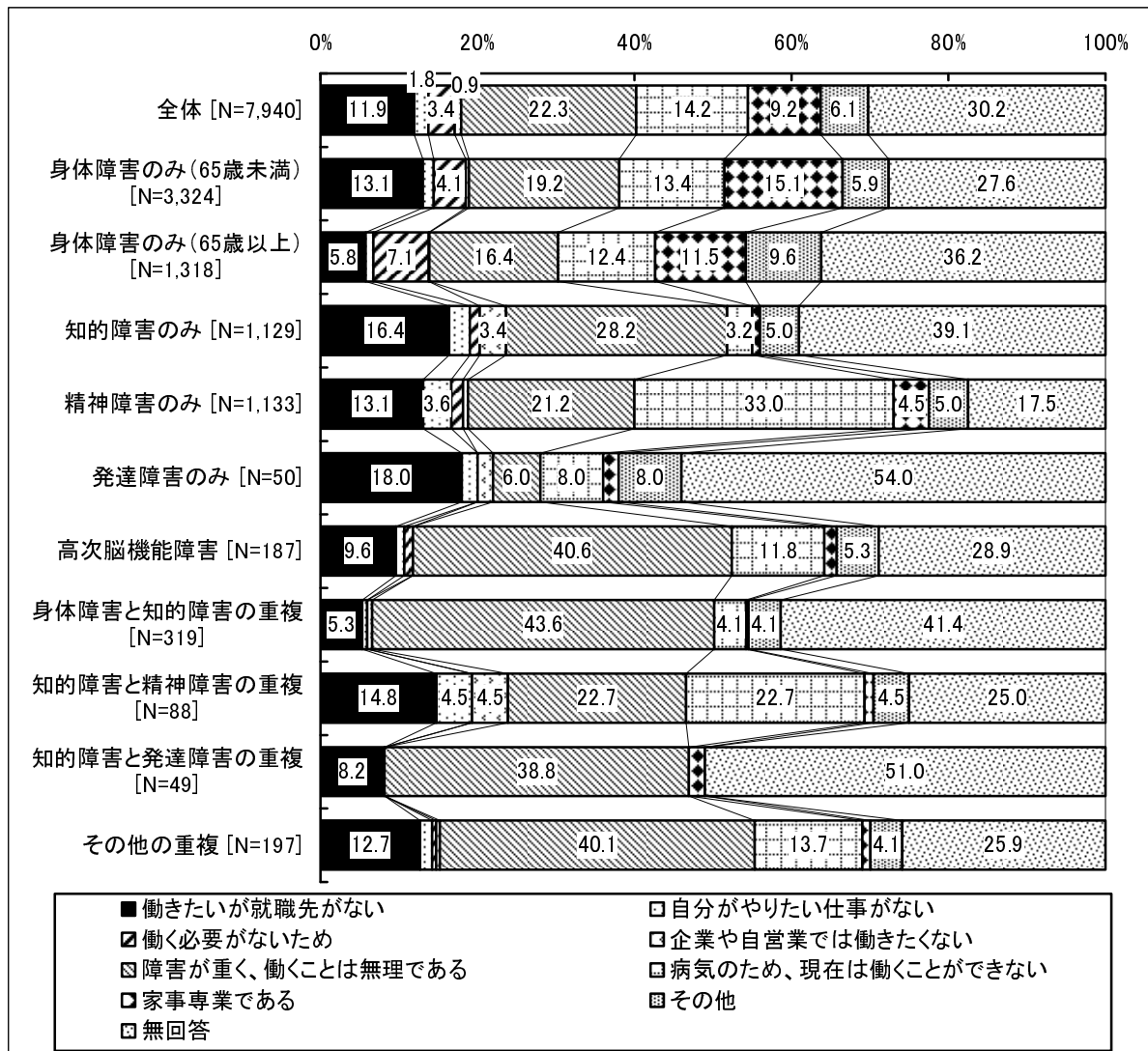
図表92 企業等で働いた経験の有無（圏域別） [N=7,940]



現在、企業や自営業で働いていない人に、働いていない理由について聞いたところ、「障害が重く、働くことは無理である」の割合が22.3%と最も高く、次いで、「病気のため、現在は働くことができない」が14.2%、「働きたいが就職先がない」が11.9%となっています。

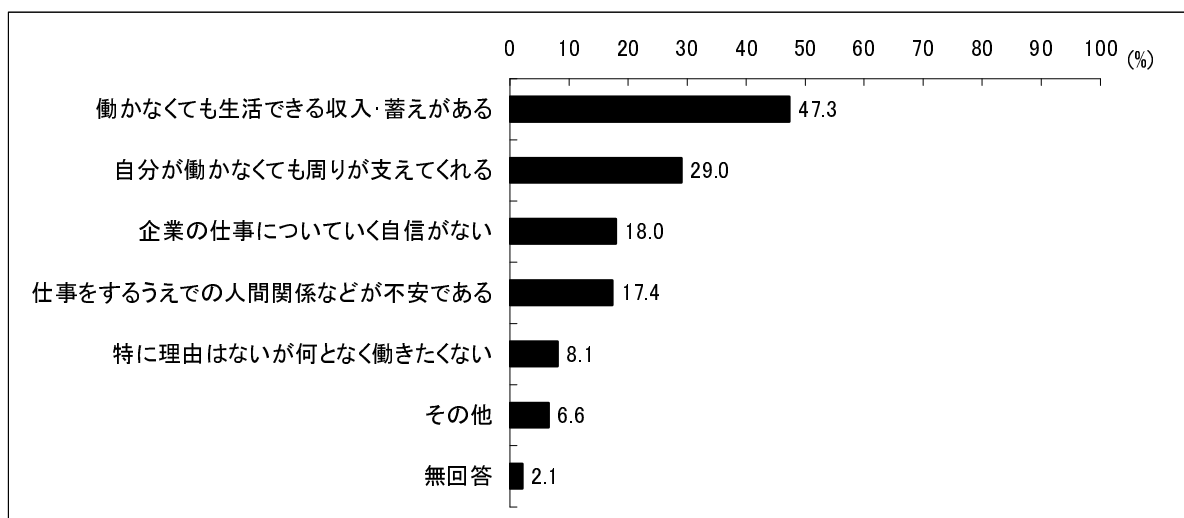
障害種別で見ると、「身体障害と知的障害の重複」「高次脳機能障害」などで「障害が重く、働くことは無理である」が高い割合となっています。

図表93 企業等で働いていない理由 [N=7,940]



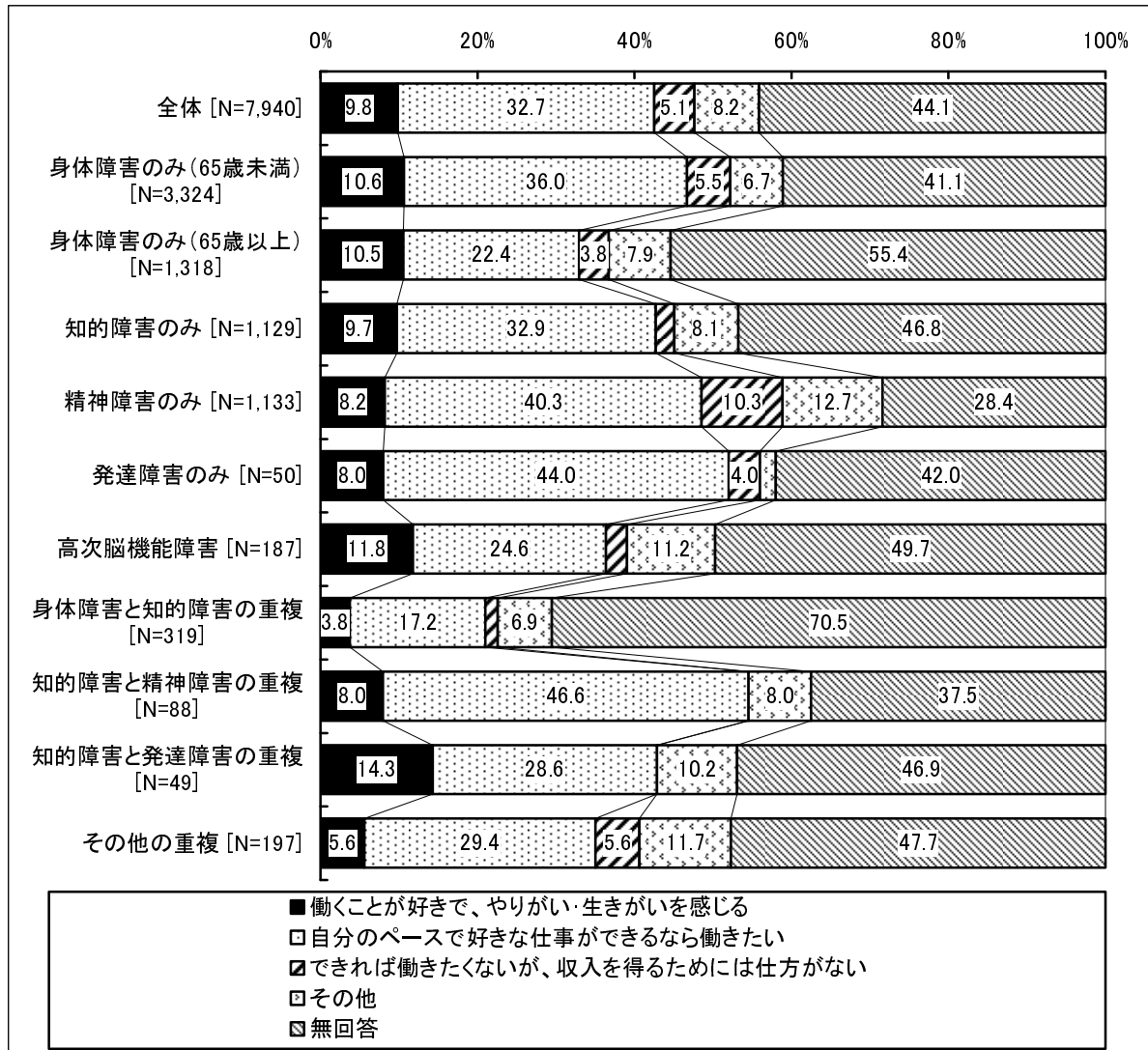
前問「企業等で働いていない理由」で「働く必要がないため」「企業や自営業では働きたくない」と回答した人に、働かない理由について聞いたところ、「働かなくても生活できる収入・蓄えがある」の割合が47.3%と最も高く、次いで、「自分が働かなくても周りが支えてくれる」が29.0%となっています。

図表94 働かない理由 [N=334 ; 複数回答]



働くことについてどう感じているかについて聞いたところ、「自分のペースで好きな仕事ができるなら働きたい」の割合が32.7%となっています。

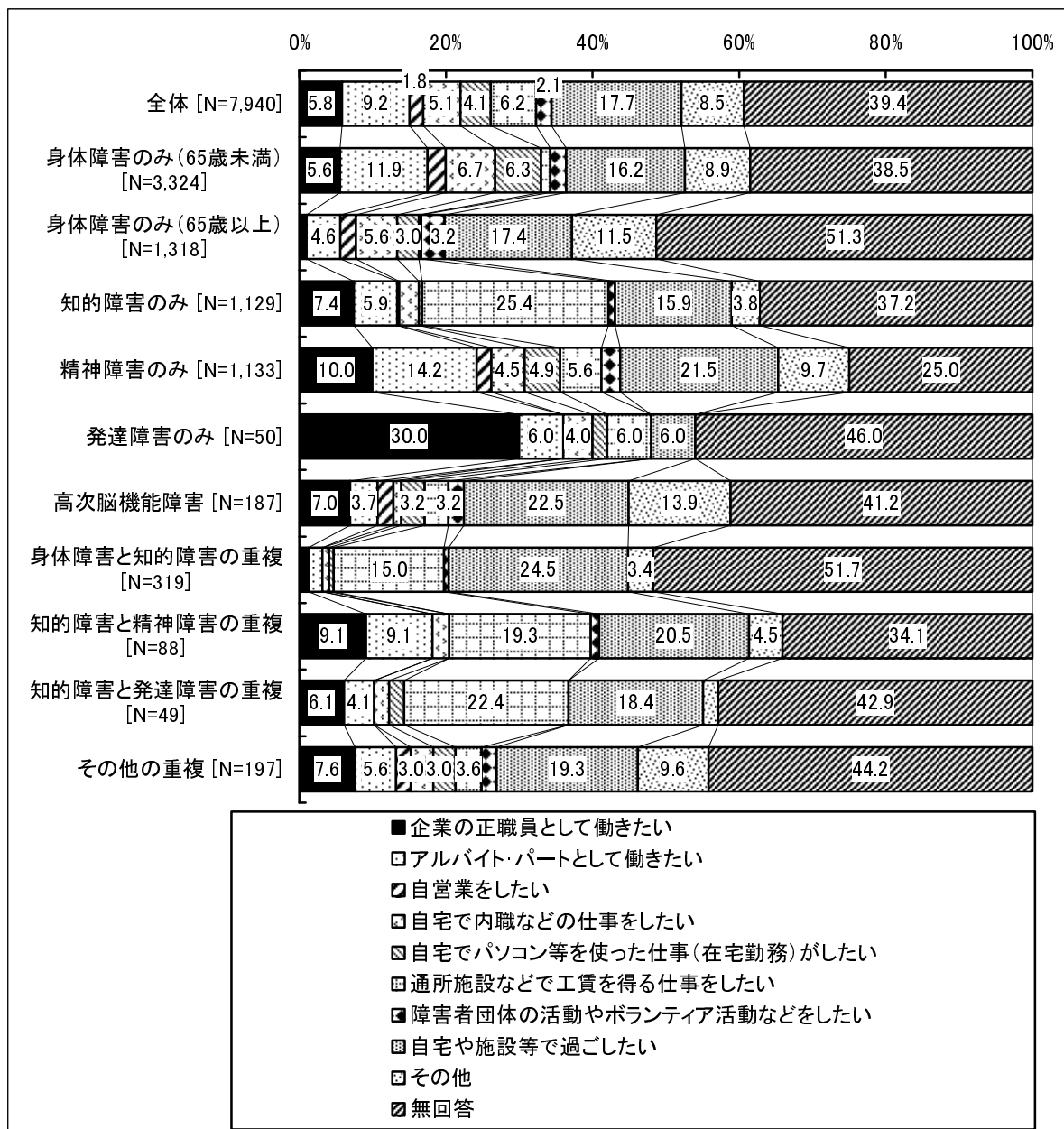
図表95 働くことについてどう感じているか [N=7,940]



今後の日中の過ごし方の希望としては、「自宅や施設等で過ごしたい」の割合が17.7%と最も高く、次いで、「アルバイト・パートとして働きたい」が9.2%となっています。

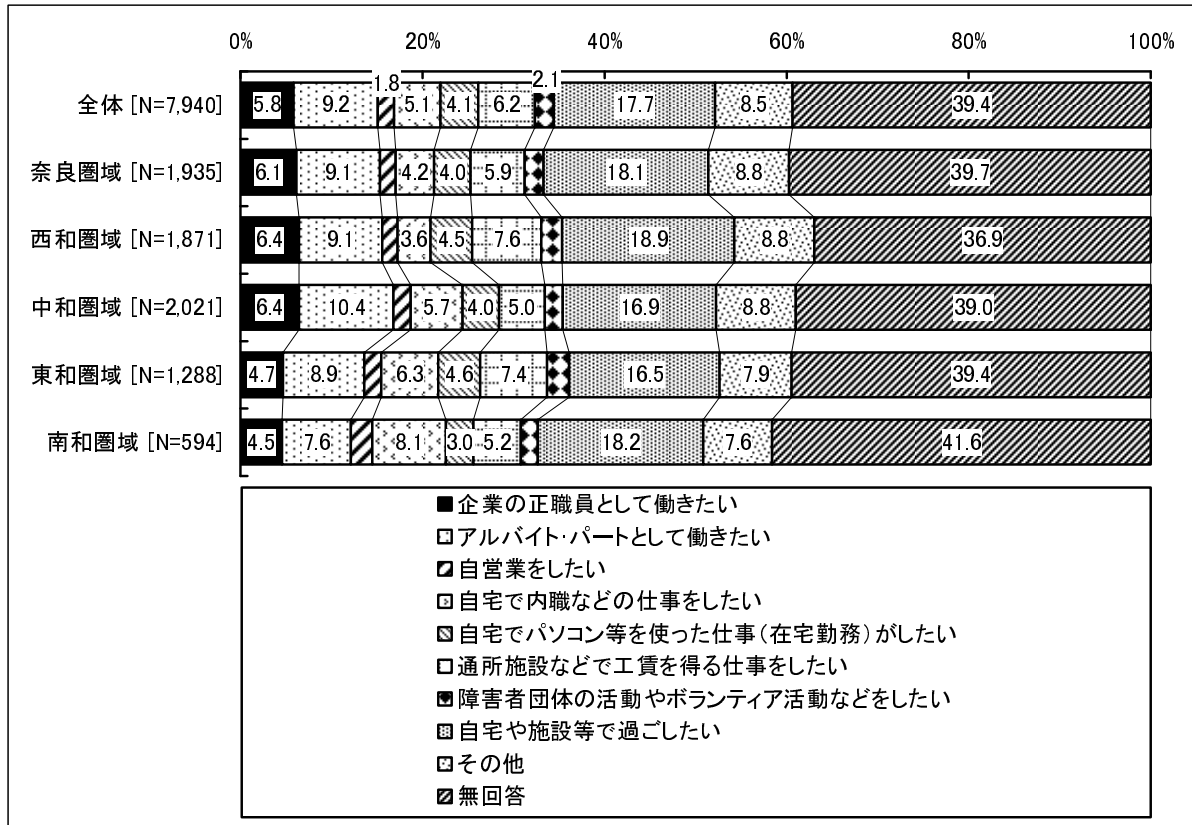
障害種別で見ると、「発達障害のみ」で「企業の正職員として働きたい」、「知的障害のみ」で「通所施設などで工賃を得る仕事をしたい」などが高い割合となっています。

図表96 今後の日中の過ごし方の希望 [N=7,940]



居住地の圏域別で見ると、「西和圏域」「南和圏域」等で「自宅や施設等で過ごしたい」の割合がやや高くなっています。

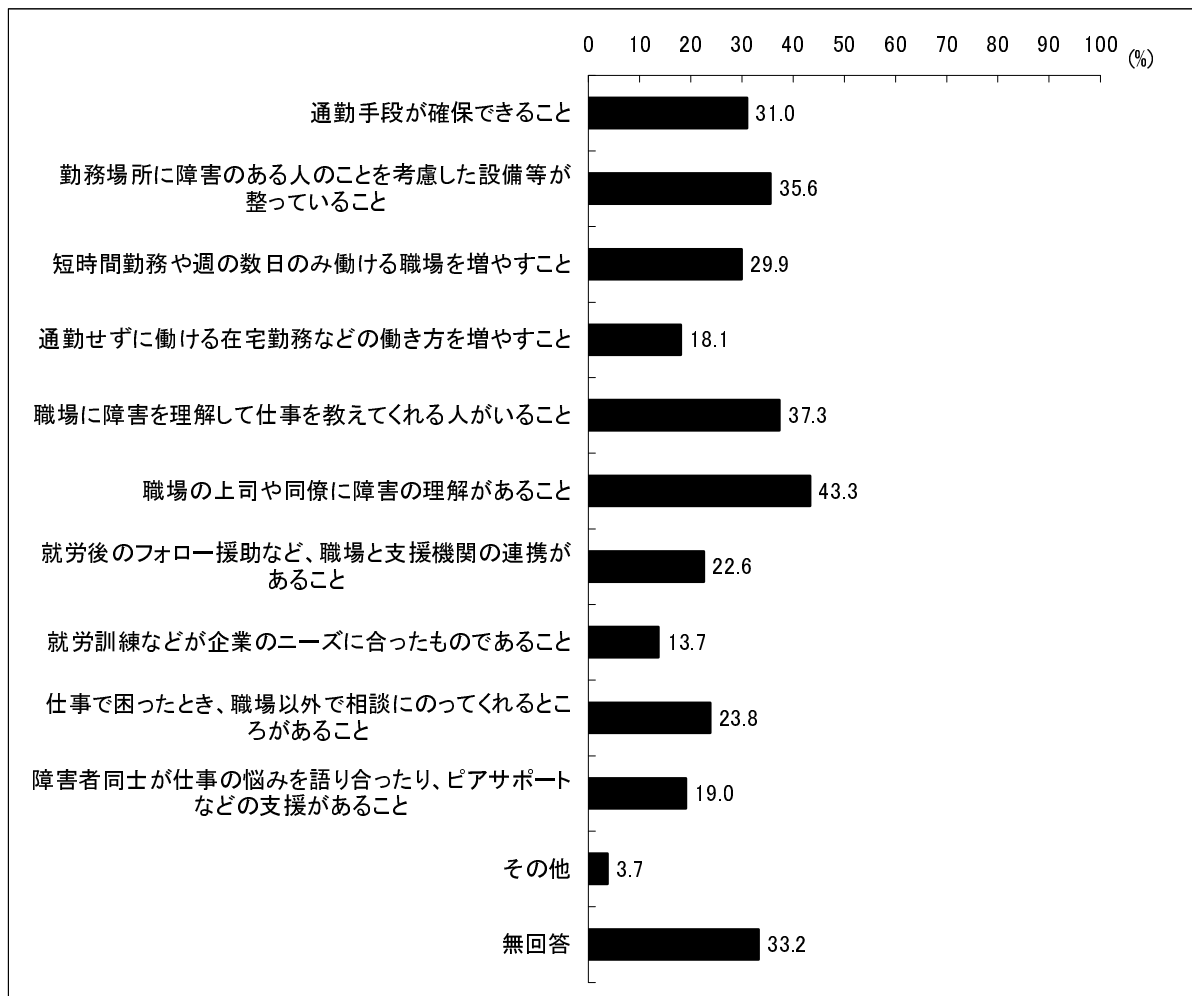
図表97 今後の日中の過ごし方の希望（圏域別） [N=7,940]



③障害者の就労を進めるために必要なこと

障害者の就労を進めるために必要なことについて聞いたところ、「職場の上司や同僚に障害の理解があること」の割合が43.3%と最も高く、次いで、「職場に障害を理解して仕事を教えてくれる人がいること」が37.3%、「勤務場所に障害のある人のことを考慮した設備等が整っていること」が35.6%、「通勤手段が確保できること」が31.0%と続いています。

図表98 障害者の就労を進めるために必要なこと [N=12,188；複数回答]



障害種別で見ると、「知的障害と精神障害の重複」「知的障害と発達障害の重複」「知的障害のみ」などで「職場に障害を理解して仕事を教えてくれる人がいること」が高い割合となっています。

図表99 障害者の就労を進めるために必要なこと（障害種別） [N=12,188；複数回答]

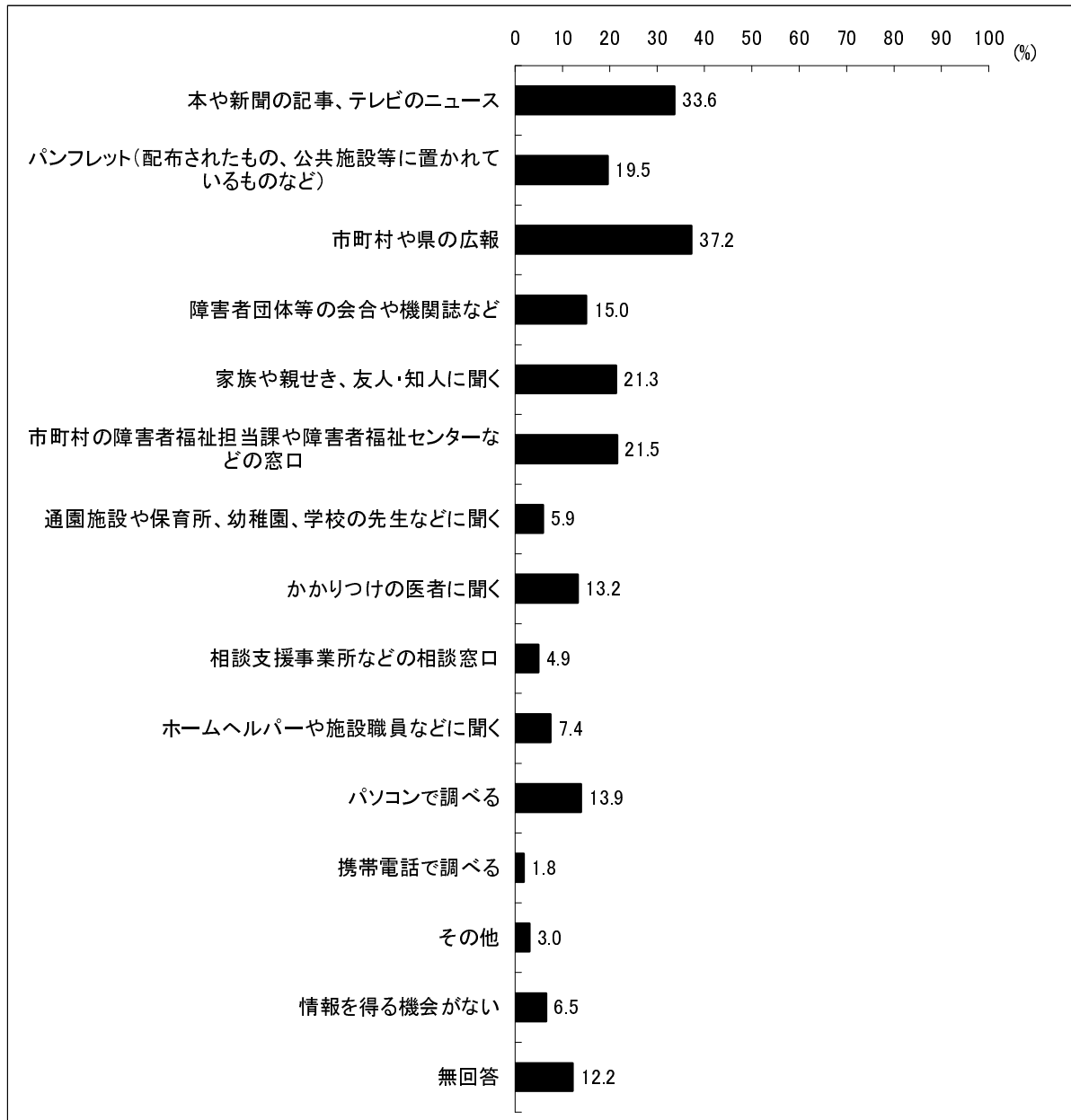
	全 体	（身 体 5 障 害 未 の 満 み ）	（身 体 5 障 害 以 上 の み ）	知 的 障 害 の み	精 神 障 害 の み	発 達 障 害 の み	高 次 脳 機 能 障 害	障 害 の 重 複 と 知 的	障 害 の 重 複 と 精 神	障 害 の 重 複 と 発 達	そ の 他 の 重 複
N=	12,188	5,586	1,572	1,923	1,310	250	245	428	106	251	264
通勤手段が確保できること	31.0	35.9	22.5	29.6	28.5	19.2	35.1	25.7	27.4	33.9	29.2
勤務場所に障害のある人のことを考慮した設備等が整っていること	35.6	42.3	25.3	32.1	29.9	28.4	38.8	28.0	35.8	39.0	32.2
短時間勤務や週の数日のみ働ける職場を増やすこと	29.9	33.4	23.2	22.0	41.7	20.0	29.8	19.9	40.6	28.7	29.5
通勤せずに働ける在宅勤務などの働き方を増やすこと	18.1	23.8	14.8	7.0	21.0	12.4	21.6	10.0	14.2	11.2	13.3
職場に障害を理解して仕事を教えてくれる人がいること	37.3	34.6	19.5	50.8	45.8	47.6	40.0	35.5	54.7	53.8	38.6
職場の上司や同僚に障害の理解があること	43.3	47.3	25.6	47.2	47.6	45.2	44.5	33.9	48.1	51.8	36.4
就労後のフォロー援助など、職場と支援機関の連携があること	22.6	20.4	9.7	31.5	26.9	34.8	26.5	23.6	34.0	45.8	25.4
就労訓練などが企業のニーズに合ったものであること	13.7	13.5	6.7	15.9	15.7	20.8	16.3	11.7	13.2	30.7	14.8
仕事で困ったとき、職場以外で相談にのってくれるところがあること	23.8	22.0	10.7	30.7	34.1	29.6	20.8	19.2	35.8	42.6	26.5
障害者同士が仕事の悩みを語り合ったり、ピアサポートなどの支援があること	19.0	17.5	10.9	21.2	28.5	24.8	21.2	18.2	34.9	27.1	22.3
その他	3.7	3.4	3.6	2.8	6.9	3.2	6.1	2.1	2.8	3.6	6.8
無回答	33.2	26.5	48.0	36.0	23.4	47.2	36.7	54.0	31.1	41.8	43.9

(11) 情報入手や相談、コミュニケーションについて

①情報入手の手段

情報入手の手段について聞いたところ、「市町村や県の広報」の割合が37.2%と最も高く、次いで、「本や新聞の記事、テレビのニュース」が33.6%、「市町村の障害者福祉担当課や障害者福祉センターなどの窓口」が21.5%、「家族や親せき、友人・知人に聞く」が21.3%となっています。

図表100 情報入手の手段 [N=12,188 ; 複数回答]



障害種別で見ると、「身体障害のみ」で「市町村や県の広報」、「知的障害と発達障害の重複」「発達障害のみ」で「家族や親せき、友人・知人に聞く」などが高い割合となっています。

図表101 情報入手の手段（障害種別） [N=12,188]

	全体	（身体障害未のみ）	（身体障害以上のみ）	知的障害のみ	精神障害のみ	発達障害のみ	高次脳機能障害	身体障害の重複と知的	知的障害の重複と精神	知的障害の重複と発達	その他の重複
N=	12,188	5,586	1,572	1,923	1,310	250	245	428	106	251	264
本や新聞の記事、テレビのニュース	33.6	40.0	42.6	19.3	28.2	30.8	29.0	21.7	16.0	27.5	24.6
パンフレット（配布されたもの、公共施設等に置かれているものなど）	19.5	21.7	20.3	15.1	19.7	19.6	15.5	13.8	13.2	23.9	16.3
市町村や県の広報	37.2	44.4	48.0	26.1	23.4	26.8	25.7	29.7	17.0	31.9	28.8
障害者団体等の会合や機関誌など	15.0	12.2	9.1	23.8	16.0	25.6	17.6	23.6	12.3	23.5	14.0
家族や親せき、友人・知人に聞く	21.3	17.8	17.7	28.8	20.1	35.2	24.9	31.8	26.4	36.7	26.5
市町村の障害者福祉担当課や障害者福祉センターなどの窓口	21.5	21.0	20.6	20.7	22.8	13.6	28.6	27.6	28.3	24.3	30.3
通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生などに聞く	5.9	1.6	0.1	15.5	1.1	26.4	7.3	16.8	0.9	41.4	14.8
かかりつけの医者に聞く	13.2	12.4	14.0	3.8	28.9	19.2	13.9	8.6	12.3	13.5	22.0
相談支援事業所などの相談窓口	4.9	2.5	1.6	6.6	10.7	10.8	9.0	7.9	13.2	11.6	11.0
ホームヘルパーや施設職員などに聞く	7.4	5.3	6.4	9.9	9.8	2.4	13.5	14.5	12.3	10.0	13.3
パソコンで調べる	13.9	19.9	6.4	5.2	11.3	29.6	8.6	7.0	1.9	21.9	13.3
携帯電話で調べる	1.8	2.5	0.2	0.8	2.4	1.6	1.2	1.2	0.0	1.6	3.0
その他	3.0	1.6	1.7	5.4	4.7	6.8	5.7	4.2	1.9	5.6	4.5
情報を得る機会がない	6.5	7.4	4.5	5.7	7.6	4.8	4.5	5.1	9.4	4.8	6.1
無回答	12.2	8.3	13.5	18.1	10.6	12.4	15.9	23.1	15.1	10.8	11.4

居住地の圏域別で見ると、「西和圏域」「中和圏域」で「市町村や県の広報」などが高い割合となっています。

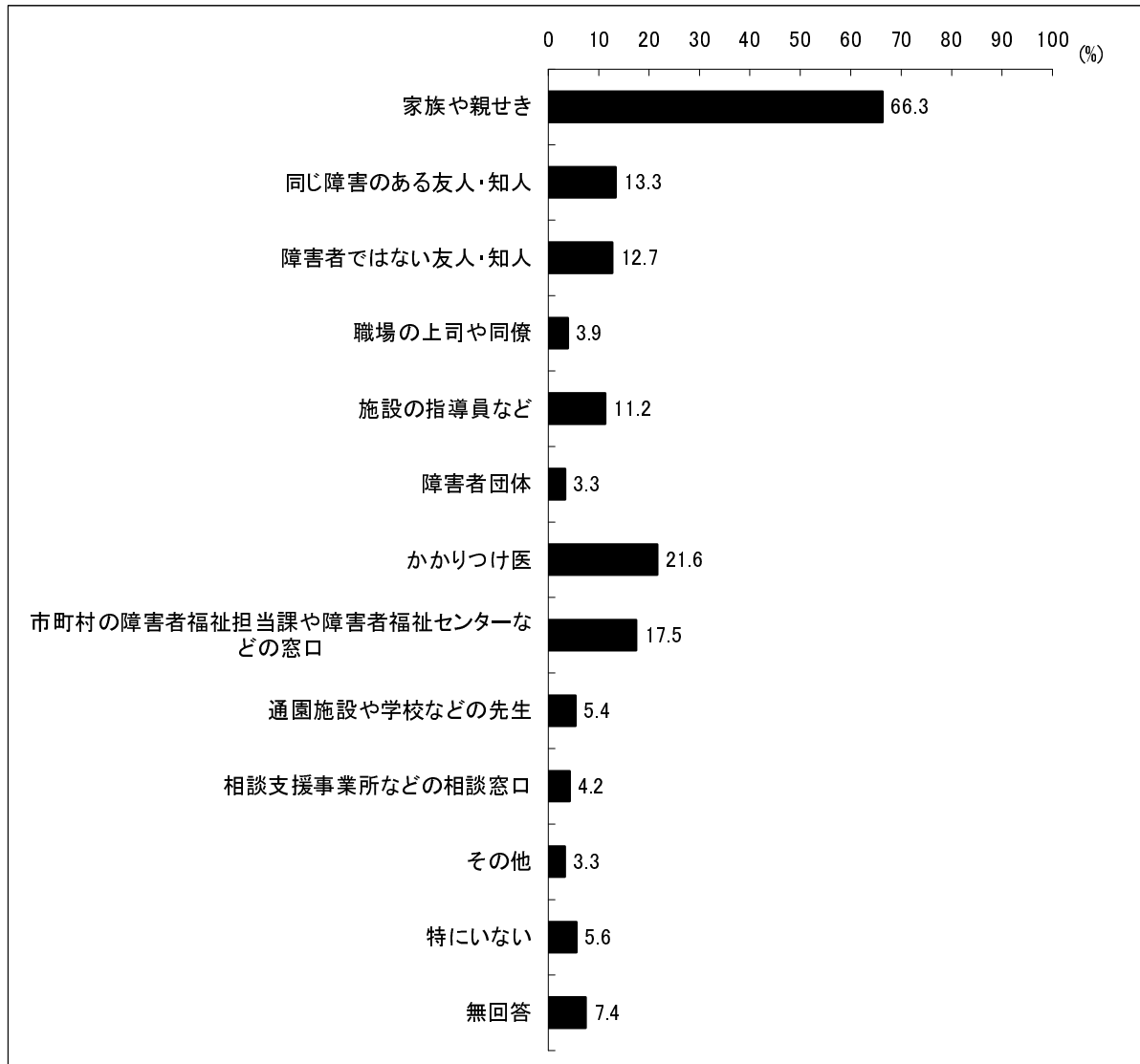
図表102 情報入手の手段（圏域別） [N=12,188]

	全体	奈良圏域	西和圏域	中和圏域	東和圏域	南和圏域
N=	12,188	2,926	2,866	3,171	2,004	867
本や新聞の記事、テレビのニュース	33.6	35.0	35.1	32.6	33.6	31.7
パンフレット（配布されたもの、公共施設等に置かれているものなど）	19.5	21.4	20.5	19.3	19.0	15.2
市町村や県の広報	37.2	34.9	40.0	39.5	37.4	33.3
障害者団体等の会合や機関誌など	15.0	16.2	18.2	13.4	15.3	8.4
家族や親せき、友人・知人に聞く	21.3	21.3	21.6	21.0	22.7	20.2
市町村の障害者福祉担当課や障害者福祉センターなどの窓口	21.5	21.3	21.3	22.4	22.7	19.8
通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生などに聞く	5.9	6.1	6.7	5.8	6.0	3.0
かかりつけの医者に聞く	13.2	14.1	13.5	13.2	12.6	12.5
相談支援事業所などの相談窓口	4.9	6.0	5.7	3.7	4.6	4.5
ホームヘルパーや施設職員などに聞く	7.4	8.9	6.8	6.4	7.4	8.9
パソコンで調べる	13.9	15.9	15.0	13.6	12.4	10.0
携帯電話で調べる	1.8	2.1	1.7	1.7	1.6	1.6
その他	3.0	3.4	3.1	2.7	2.4	3.8
情報を得る機会がない	6.5	6.6	6.5	6.4	6.8	6.2
無回答	12.2	10.9	9.9	12.3	12.1	16.1

②困ったときの相談相手

困ったときの相談相手としては、「家族や親せき」の割合が66.3%と最も高く、7割近くを占めます。次いで、「かかりつけ医」が21.6%、「市町村の障害者福祉担当課や障害者福祉センターなどの窓口」が17.5%となっています。

図表103 困ったときの相談相手 [N=12,188 ; 複数回答]



障害種別で見ると、「発達障害のみ」で「家族や親せき」、「精神障害のみ」で「かかりつけ医」などが高い割合となっています。

図表104 困ったときの相談相手 [N=12,188]

	全体	(65歳未満の身体障害のみ)	(65歳以上の身体障害のみ)	知的障害のみ	精神障害のみ	発達障害のみ	高次脳機能障害	身体障害と知的障害の重複	知的障害と精神障害の重複	知的障害と発達障害の重複	その他の重複
N=	12,188	5,586	1,572	1,923	1,310	250	245	428	106	251	264
家族や親せき	66.3	69.8	66.9	64.2	65.4	73.2	59.6	53.7	64.2	57.0	55.7
同じ障害のある友人・知人	13.3	14.5	9.3	10.5	20.7	14.0	9.0	10.7	9.4	14.3	11.7
障害者ではない友人・知人	12.7	18.2	11.4	4.3	11.7	10.8	7.8	2.3	7.5	5.6	6.1
職場の上司や同僚	3.9	5.4	0.5	5.4	1.9	1.6	2.9	1.2	1.9	0.4	1.5
施設の指導員など	11.2	3.4	3.8	26.5	20.2	8.8	20.8	26.2	37.7	12.4	19.7
障害者団体	3.3	2.8	2.3	5.3	3.0	2.8	4.1	6.3	2.8	4.8	4.5
かかりつけ医	21.6	22.8	25.9	5.8	41.5	17.2	20.8	9.3	21.7	14.3	25.0
市町村の障害者福祉担当課や障害者福祉センターなどの窓口	17.5	19.3	21.9	11.6	15.3	9.2	18.0	16.6	14.2	11.2	25.0
通園施設や学校などの先生	5.4	1.9	0.1	13.3	0.6	30.8	2.9	13.3	4.7	41.8	12.5
相談支援事業所などの相談窓口	4.2	2.5	2.6	4.5	9.7	8.0	5.7	6.8	7.5	6.8	7.2
その他	3.3	2.4	2.4	4.3	5.0	2.8	4.1	5.4	7.5	5.2	4.5
特になし	5.6	6.7	6.9	3.2	5.4	2.0	4.9	2.6	1.9	4.8	4.2
無回答	7.4	4.5	6.3	11.6	3.8	11.6	14.3	20.1	7.5	13.1	10.6

居住地の圏域別で見ると、いずれも「家族や親せき」が高い割合となっています。

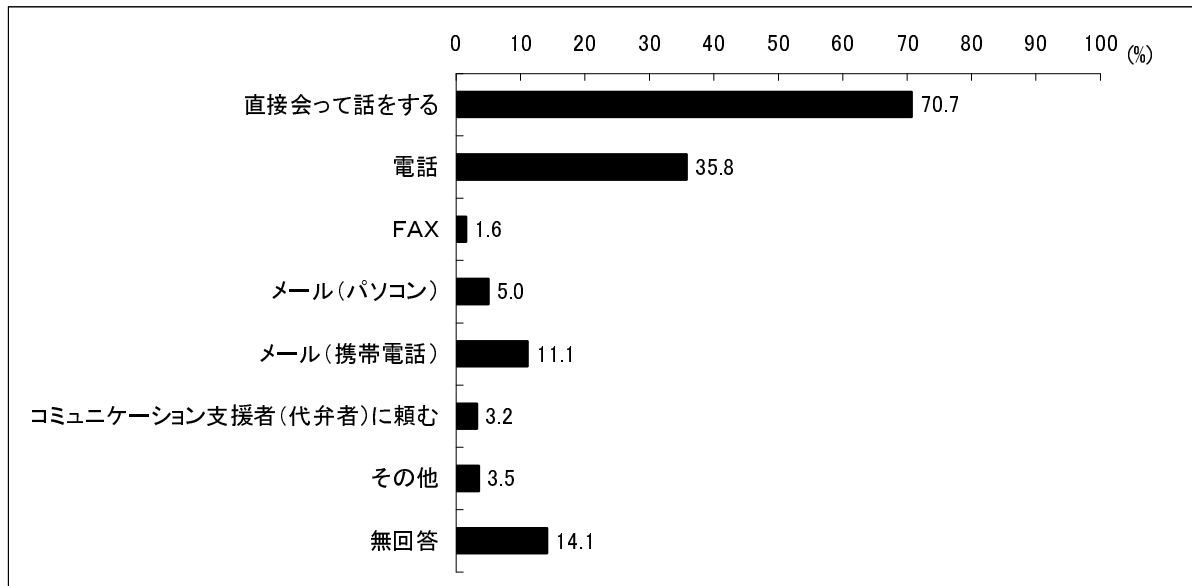
図表105 困ったときの相談相手（圏域別） [N=12,188]

	全体	奈良圏域	西和圏域	中和圏域	東和圏域	南和圏域
N=	12,188	2,926	2,866	3,171	2,004	867
家族や親せき	66.3	65.5	68.7	67.1	66.2	64.2
同じ障害のある友人・知人	13.3	14.9	13.1	13.1	13.3	11.4
障害者ではない友人・知人	12.7	13.2	13.0	12.2	12.6	13.3
職場の上司や同僚	3.9	4.0	3.8	3.7	3.8	4.2
施設の指導員など	11.2	12.8	11.3	9.8	9.5	14.6
障害者団体	3.3	4.1	3.7	2.9	3.2	1.6
かかりつけ医	21.6	22.1	22.6	21.9	21.1	18.5
市町村の障害者福祉担当課や障害者福祉センターなどの窓口	17.5	16.6	17.7	17.5	19.7	16.1
通園施設や学校などの先生	5.4	5.7	5.8	6.1	4.8	3.0
相談支援事業所などの相談窓口	4.2	4.8	4.7	3.9	4.1	2.4
その他	3.3	3.7	3.1	3.3	3.1	2.7
特になし	5.6	6.0	5.7	5.6	5.5	4.0
無回答	7.4	6.7	5.8	7.2	7.9	9.8

③相談するときの方法

相談するときの方法について聞いたところ、「直接会って話をする」の割合が70.7%、「電話」が35.8%となっています。

図表106 相談するときの方法 [N=12,188 ; 複数回答]

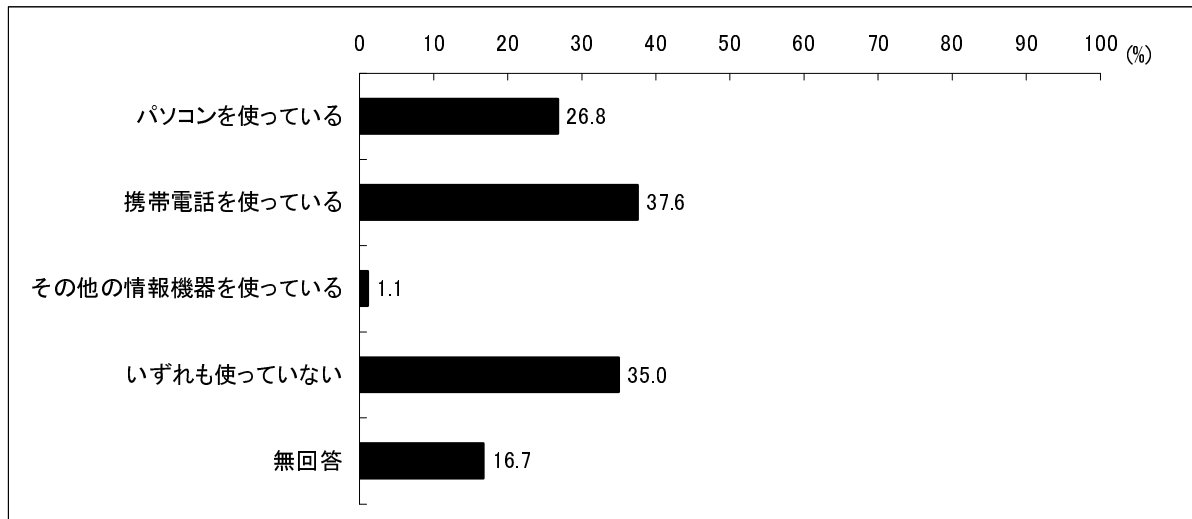


	全体	(65歳未満の身体障害者)	(65歳以上の身体障害者)	知的障害のみ	精神障害のみ	発達障害のみ	高次脳機能障害	身体障害と知的障害の重複	知的障害と精神障害の重複	知的障害と発達障害の重複	その他の重複
N=	12,188	5,586	1,572	1,923	1,310	250	245	428	106	251	264
直接会って話をする	70.7	76.6	69.7	62.1	75.0	75.2	59.6	51.6	66.0	59.8	59.1
電話	35.8	42.4	42.0	20.2	42.0	18.8	24.1	14.5	29.2	20.3	29.2
FAX	1.6	2.4	1.5	0.4	0.9	0.8	0.0	0.5	0.9	0.0	1.5
メール(パソコン)	5.0	7.9	3.1	0.8	3.8	4.8	2.4	2.1	0.9	2.4	2.7
メール(携帯電話)	11.1	14.9	4.9	7.5	13.1	7.6	7.3	4.2	9.4	8.8	7.6
コミュニケーション支援者(代弁者)に頼む	3.2	1.8	1.7	5.7	3.0	2.8	6.1	9.3	1.9	13.5	4.9
その他	3.5	1.8	2.7	5.8	4.6	1.6	8.2	6.5	5.7	8.8	10.6
無回答	14.1	9.0	12.8	22.6	9.2	18.8	23.3	32.9	17.9	23.1	22.0

④パソコン等の使用状況

パソコン等の使用状況について聞いたところ、「携帯電話を使っている」の割合が37.6%、「パソコンを使っている」が26.8%となっています。一方、「いずれも使っていない」は35.0%となっています。

図表107 パソコン等の使用状況 [N=12,188 ; 複数回答]



	全体	(65歳未満)	(65歳以上)	知的障害のみ	精神障害のみ	発達障害のみ	高次脳機能障害	障害の重複と知的	障害の重複と精神	知的障害と発達	知的障害と重複	その他の重複
N=	12,188	5,586	1,572	1,923	1,310	250	245	428	106	251	264	
パソコンを使っている	26.8	39.2	16.5	10.1	23.6	42.4	14.7	7.7	7.5	21.1	19.7	
携帯電話を使っている	37.6	50.2	33.0	21.7	38.5	22.0	26.5	12.4	25.5	12.0	18.9	
その他の情報機器を使っている	1.1	1.4	1.3	0.4	1.1	1.2	0.4	0.9	0.9	0.4	1.5	
いずれも使っていない	35.0	24.7	39.1	48.1	40.3	33.6	43.3	52.3	49.1	54.6	47.0	
無回答	16.7	11.0	19.8	25.1	12.6	18.8	24.1	29.2	20.8	19.5	21.2	

居住地の圏域別で見ると、「西和圏域」「奈良圏域」で利用割合が高く、一方、「南和圏域」では他と比べて低い傾向が見られます。

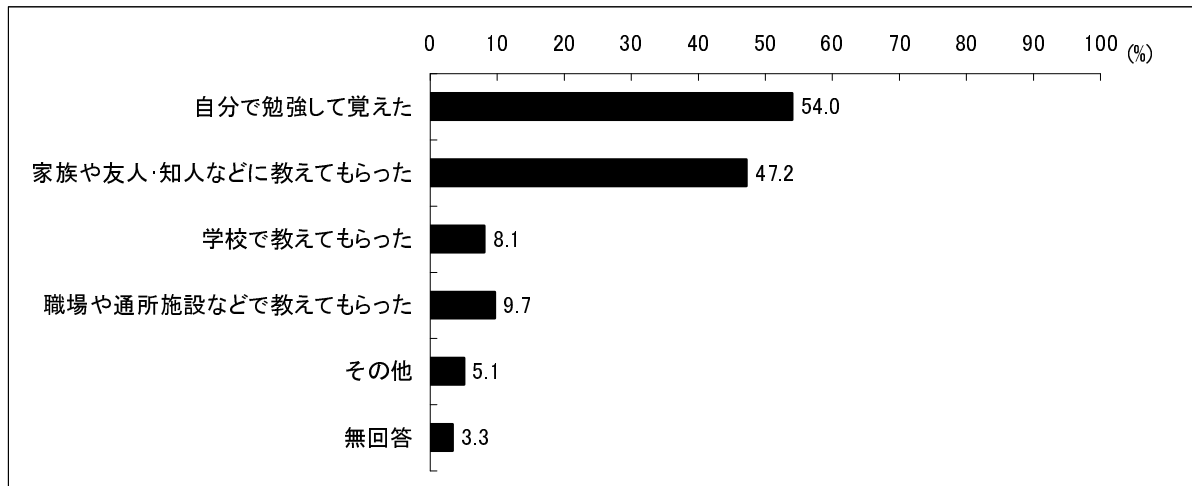
図表108 パソコン等の使用状況（圏域別） [N=12,188]

	全体	奈良圏域	西和圏域	中和圏域	東和圏域	南和圏域
N=	12,188	2,926	2,866	3,171	2,004	867
パソコンを使っている	26.8	29.2	31.1	25.6	23.7	21.1
携帯電話を使っている	37.6	39.0	40.3	37.8	36.2	31.7
その他の情報機器を使っている	1.1	1.5	1.3	1.0	0.6	1.4
いずれも使っていない	35.0	34.1	34.6	35.7	35.8	36.6
無回答	16.7	15.0	13.0	16.5	18.7	22.1

⑤パソコン等使用者の状況

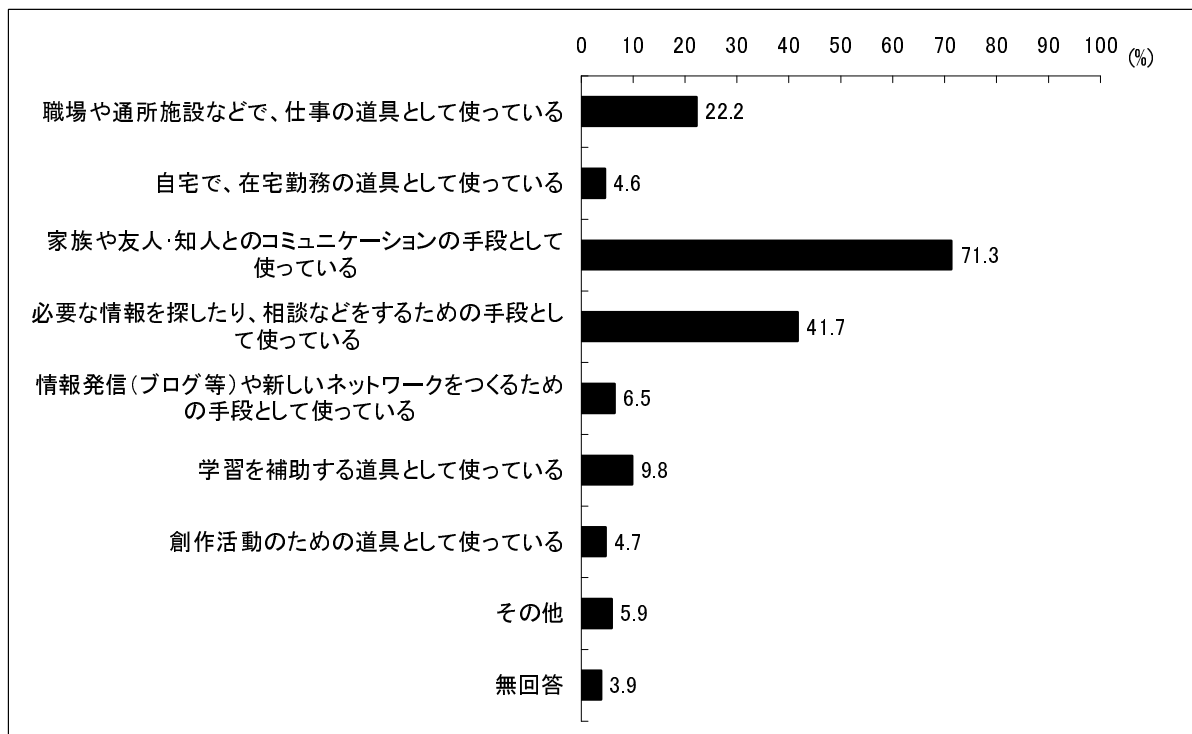
前問「パソコン等の使用状況」で、機器を使っていると回答した人に、機器の使用方法をどのように身につけたかを聞いたところ、「自分で勉強して覚えた」の割合が54.0%と最も高く、次いで、「家族や友人・知人などに教えてもらった」が47.2%となっています。

図表109 機器の使用方法をどのように身につけたか [N=5,890 ; 複数回答]



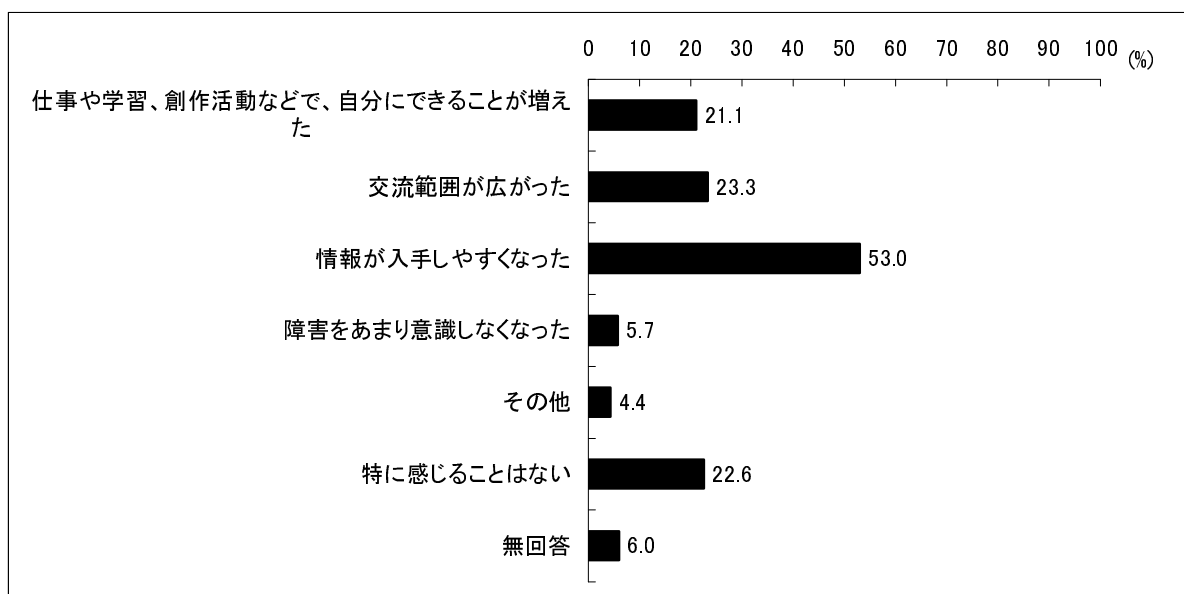
また、パソコン等の使用目的について聞いたところ、「家族や友人・知人とのコミュニケーションの手段として使っている」の割合が71.3%と最も高く、次いで、「必要な情報を探したり、相談などをするための手段として使っている」が41.7%、「職場や通所施設などで、仕事の道具として使っている」が22.2%となっています。

図表110 パソコン等の使用目的 [N=5,890 ; 複数回答]



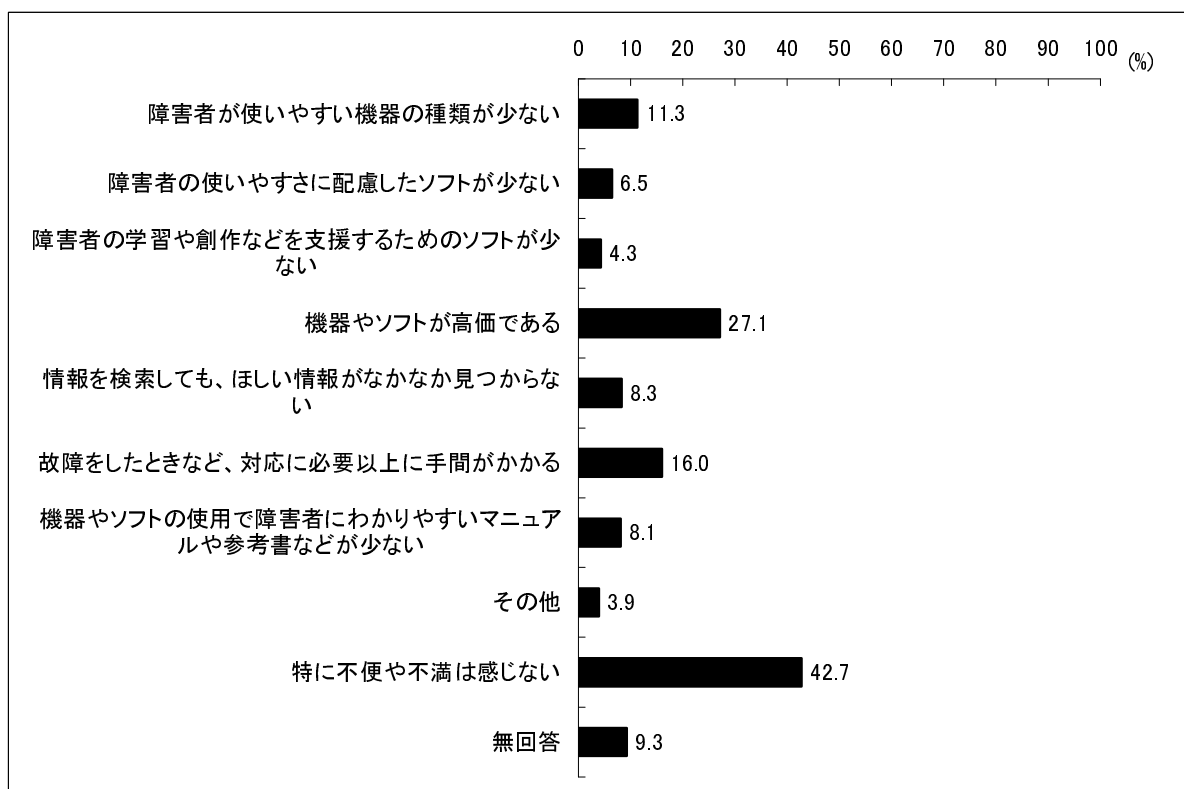
パソコン等を使ってみての感想を聞いたところ、「情報が入手しやすくなった」の割合が53.0%と最も高く、次いで、「交流範囲が広がった」が23.3%となっています。

図表111 パソコン等を使ってみての感想 [N=5,890 ; 複数回答]



パソコン等を使う際の不便や不満について聞いたところ、「特に不便や不満は感じない」の割合が42.7%と最も高く、次いで、「機器やソフトが高価である」が27.1%、「故障をしたときなど、対応に必要以上に手間がかかる」が16.0%となっています。

図表112 パソコン等を使う際の不便や不満 [N=5,890 ; 複数回答]

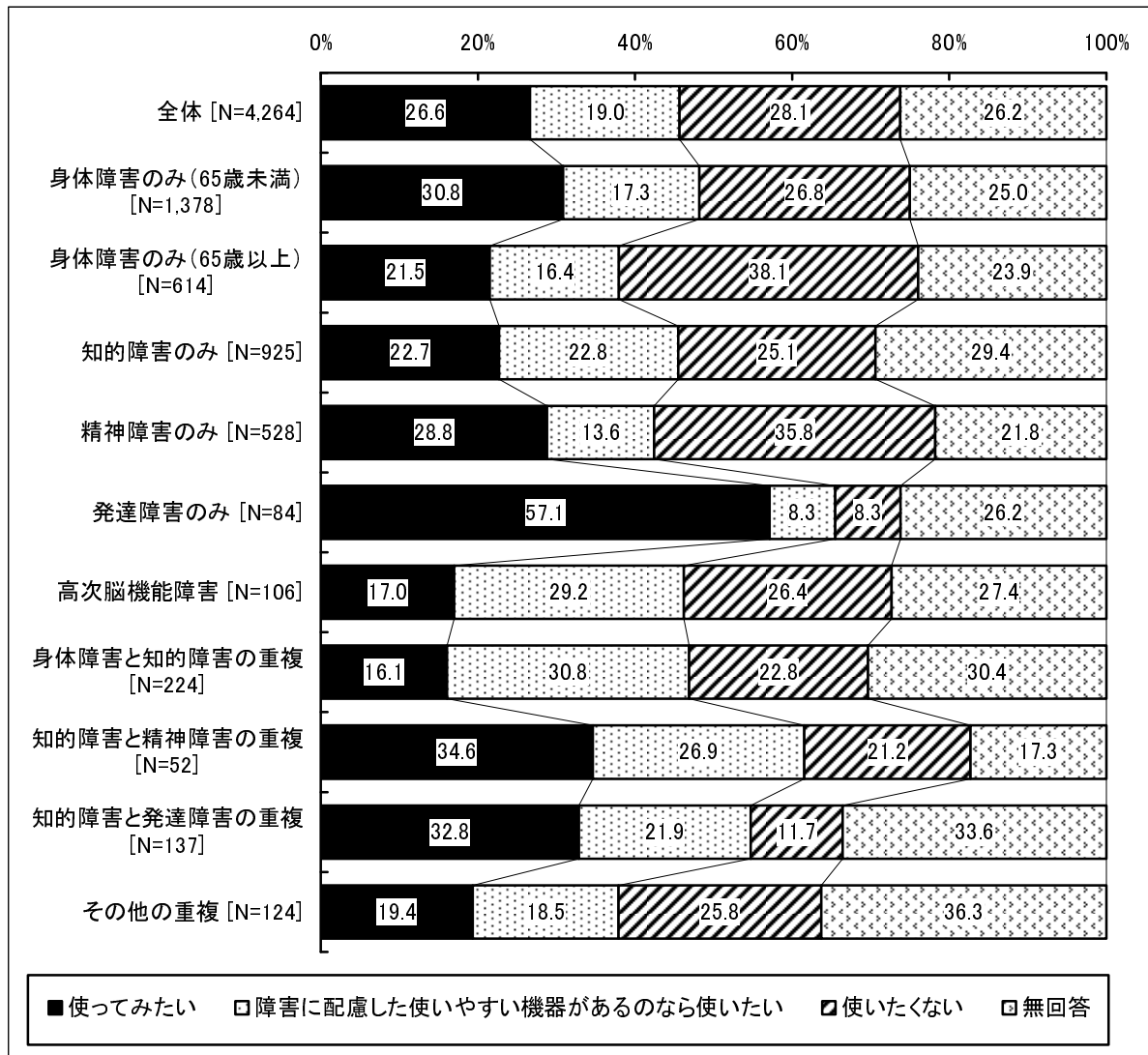


⑥パソコン等の今後の使用希望

パソコン等を使っていないと回答した人に、パソコン等の今後の使用希望について聞いたところ、「使いたくない」の割合が28.1%、「使ってみたい」が26.6%、「障害に配慮した使いやすい機器があるのなら使いたい」が19.0%、「無回答」が26.2%となっています。

障害種別で見ると、「発達障害のみ」で「使ってみたい」が高い割合となっています。

図表113 パソコン等の今後の使用希望 [N=4,264]

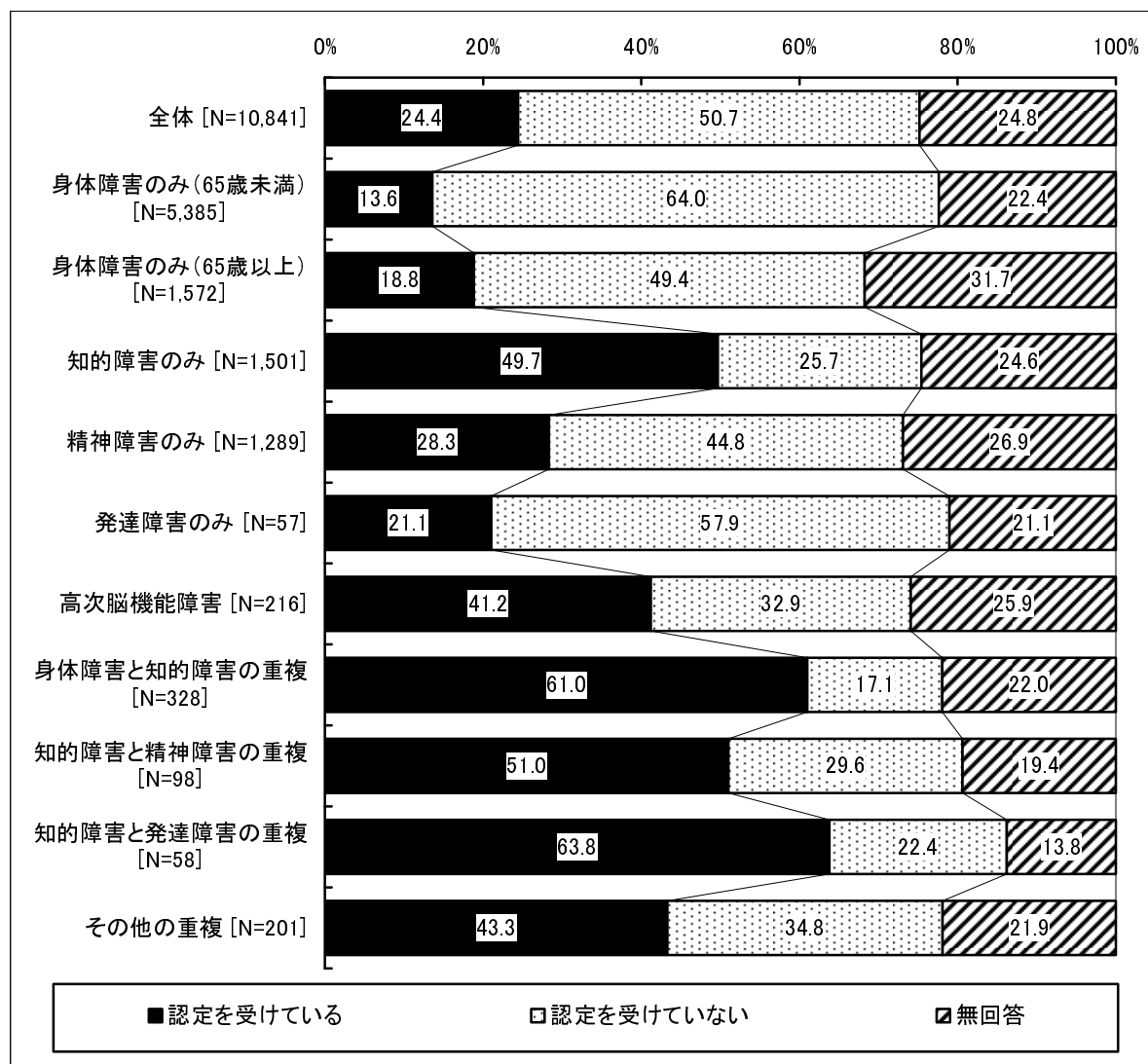


(12) 障害福祉サービス等の利用状況

①障害程度区分の認定を受けているか

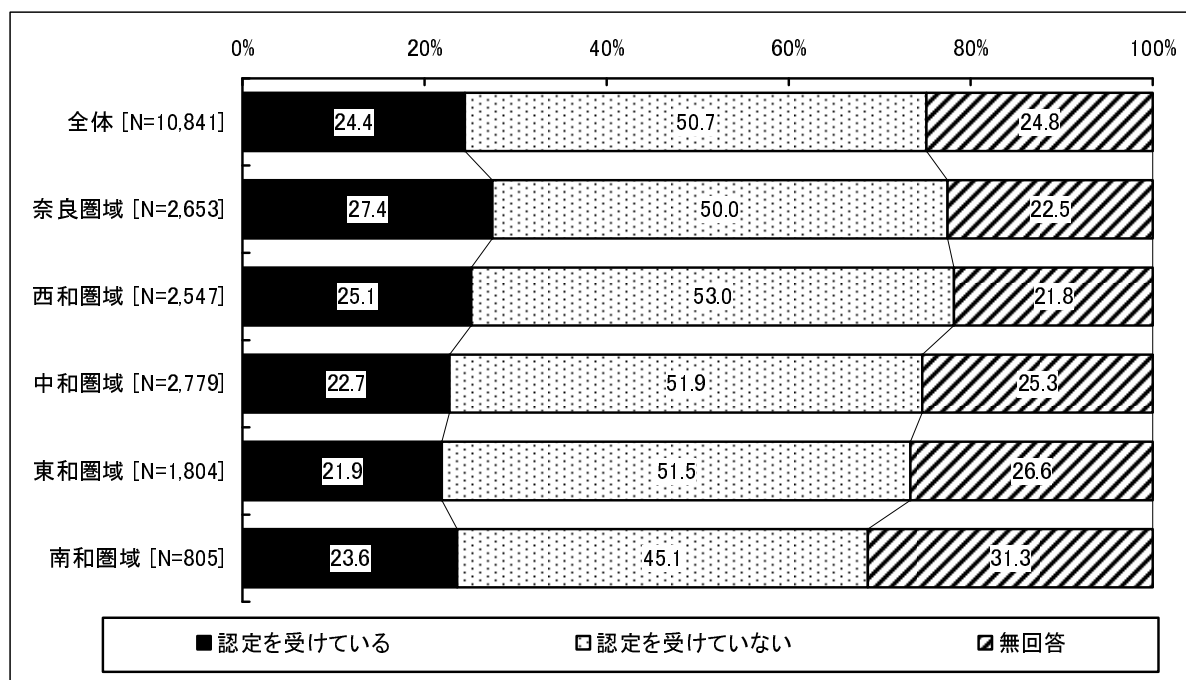
18歳以上の人に、障害程度区分の認定を受けているかを聞いたところ、「認定を受けていない」の割合が50.7%、「認定を受けている」が24.4%となっています。

図表114 障害程度区分の認定を受けているか [N=10,841]



居住地の圏域別で見ると、「奈良圏域」で「認定を受けている」割合が他と比べて高くなっています。

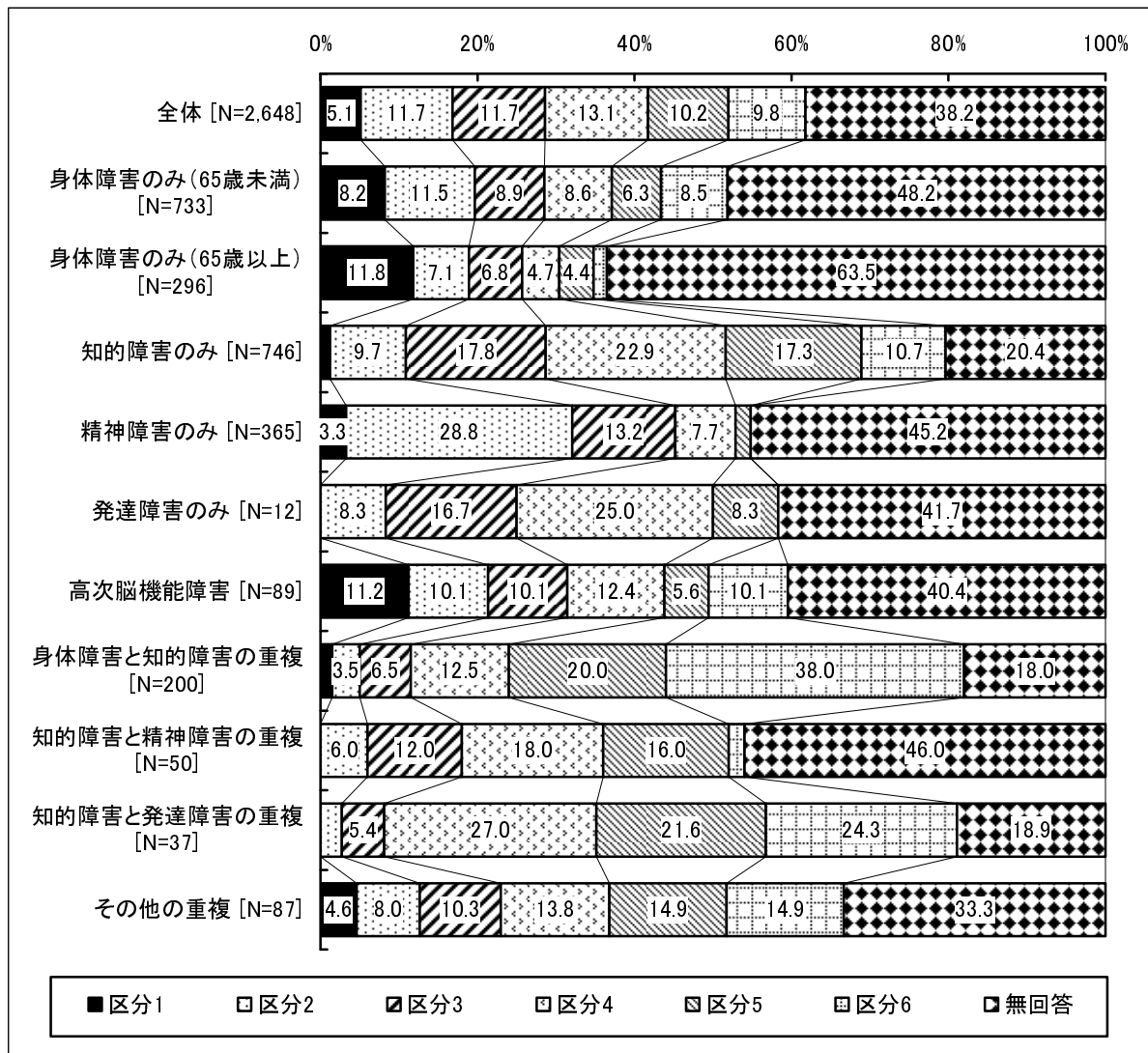
図表115 障害程度区分の認定を受けているか（圏域別） [N=10,841]



②障害程度区分

前問「障害程度区分の認定を受けているか」で「認定を受けている」と回答した人に、障害程度区分について聞いたところ、「区分4」の割合が13.1%と最も高く、次いで、「区分2」「区分3」がいずれも11.7%等となっています。

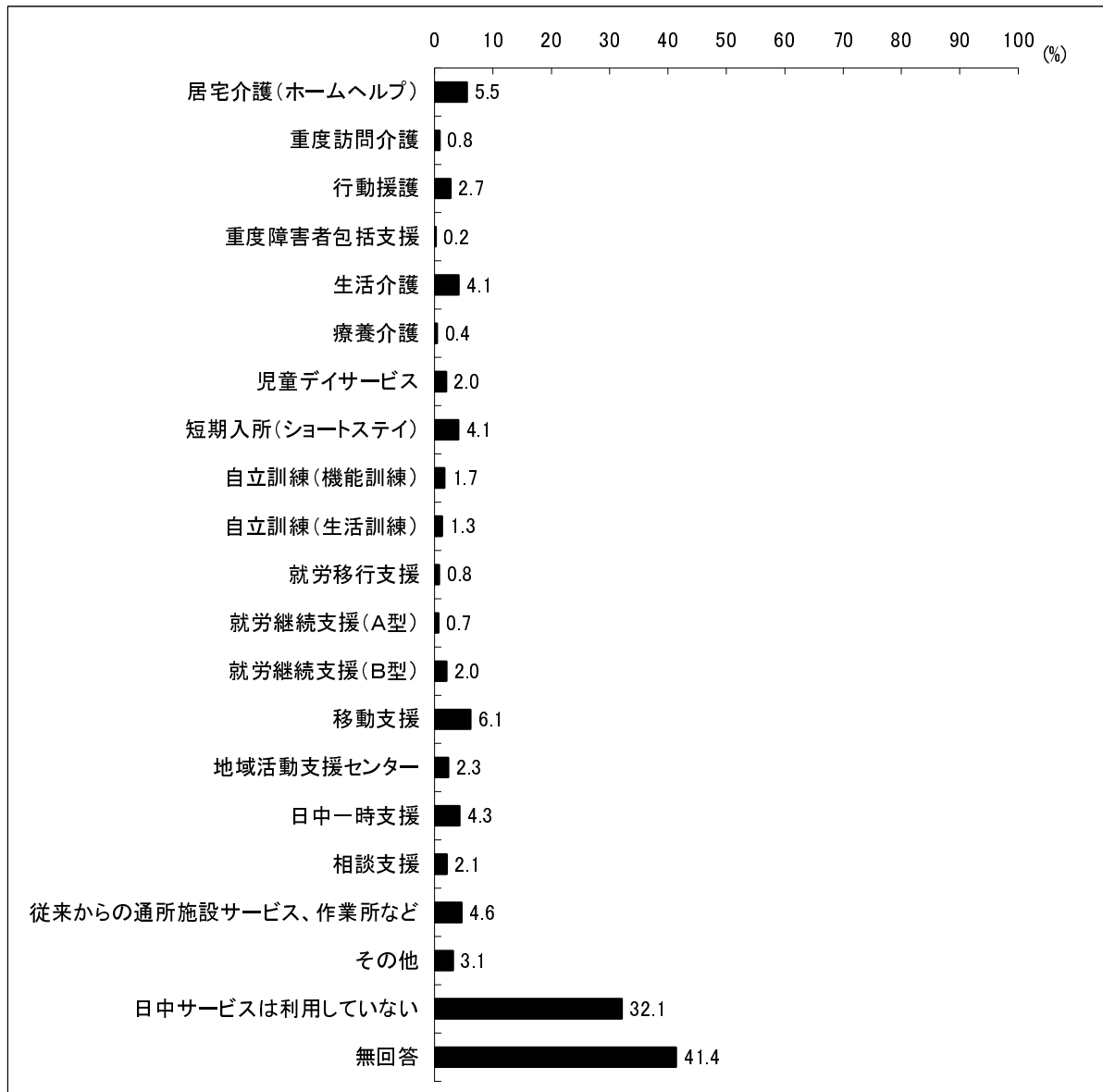
図表116 障害程度区分 [N=2,648]



③現在利用しているサービス

現在利用しているサービスについて聞いたところ、「移動支援」の割合が6.1%、「居宅介護（ホームヘルプ）」が5.5%、「従来からの通所施設サービス、作業所など」が4.6%、「日中一時支援」が4.3%等となっています。一方、「日中サービスは利用していない」は32.1%となっています。

図表117 現在利用しているサービス [N=12,188 ; 複数回答]



障害種別で見ると、「身体障害と知的障害の重複」などで各サービスの利用割合が高くなっています。その他、「知的障害と発達障害の重複」で、「日中一時支援」「児童デイサービス」「移動支援」なども高い割合です。

図表118 現在利用しているサービス（障害種別） [N=12,188；複数回答]

	全体	（65歳未満の身体障害のみ）	（65歳以上の身体障害のみ）	知的障害のみ	精神障害のみ	発達障害のみ	高次脳機能障害	身体障害と知的障害の重複	知的障害と精神障害の重複	知的障害と発達障害の重複	その他の重複
N=	12,188	5,586	1,572	1,923	1,310	250	245	428	106	251	264
居室介護（ホームヘルプ）	5.5	4.7	5.2	4.3	6.5	0.8	11.0	16.6	13.2	5.2	9.8
重度訪問介護	0.8	1.0	0.9	0.1	0.4	0.0	3.7	2.3	0.0	0.0	1.5
行動援護	2.7	1.2	1.0	7.2	0.8	2.8	0.8	5.8	7.5	17.1	4.2
重度障害者包括支援	0.2	0.1	0.3	0.1	0.2	0.0	1.2	0.2	0.0	0.0	0.8
生活介護	4.1	2.4	1.8	8.8	2.8	1.2	6.1	16.6	8.5	4.4	6.4
療養介護	0.4	0.3	0.4	0.3	0.5	0.0	2.0	0.5	0.9	0.0	1.5
児童デイサービス	2.0	0.3	0.1	4.7	0.2	10.8	2.0	4.4	0.9	22.7	6.8
短期入所（ショートステイ）	4.1	1.3	1.2	10.1	2.3	2.8	11.4	18.9	1.9	11.2	11.0
自立訓練（機能訓練）	1.7	1.7	2.1	0.5	0.7	2.0	6.5	3.5	1.9	2.0	4.2
自立訓練（生活訓練）	1.3	0.3	0.5	2.6	2.8	1.6	3.7	2.1	6.6	2.4	1.5
就労移行支援	0.8	0.1	0.0	2.1	1.8	2.0	0.8	1.2	2.8	0.8	1.5
就労継続支援（A型）	0.7	0.2	0.1	2.3	0.5	0.4	1.2	1.6	0.9	0.8	0.0
就労継続支援（B型）	2.0	0.2	0.0	5.8	6.4	1.2	3.3	2.3	9.4	1.2	1.9
移動支援	6.1	3.0	1.7	15.8	1.5	4.8	6.9	24.3	12.3	22.3	9.1
地域活動支援センター	2.3	0.6	0.7	1.6	12.3	0.4	3.3	3.3	3.8	1.6	4.5
日中一時支援	4.3	0.9	0.6	12.3	0.8	6.4	5.3	20.3	6.6	25.5	7.6
相談支援	2.1	0.7	1.0	1.6	8.6	4.8	3.3	2.6	3.8	0.4	4.9
従来からの通所施設サービス、作業所など	4.6	1.5	2.0	11.4	7.6	3.2	12.7	11.7	12.3	4.0	4.5
その他	3.1	2.4	3.4	2.0	6.4	2.0	7.3	3.5	5.7	2.8	5.3
日中サービスは利用していない	32.1	42.0	32.5	17.6	28.7	30.8	16.3	11.7	16.0	21.1	19.3
無回答	41.4	43.8	51.5	35.1	33.0	38.0	36.7	33.9	31.1	23.9	36.0

居住地の圏域別で見ると、「奈良圏域」で比較的各サービスの利用割合が高くなっています。

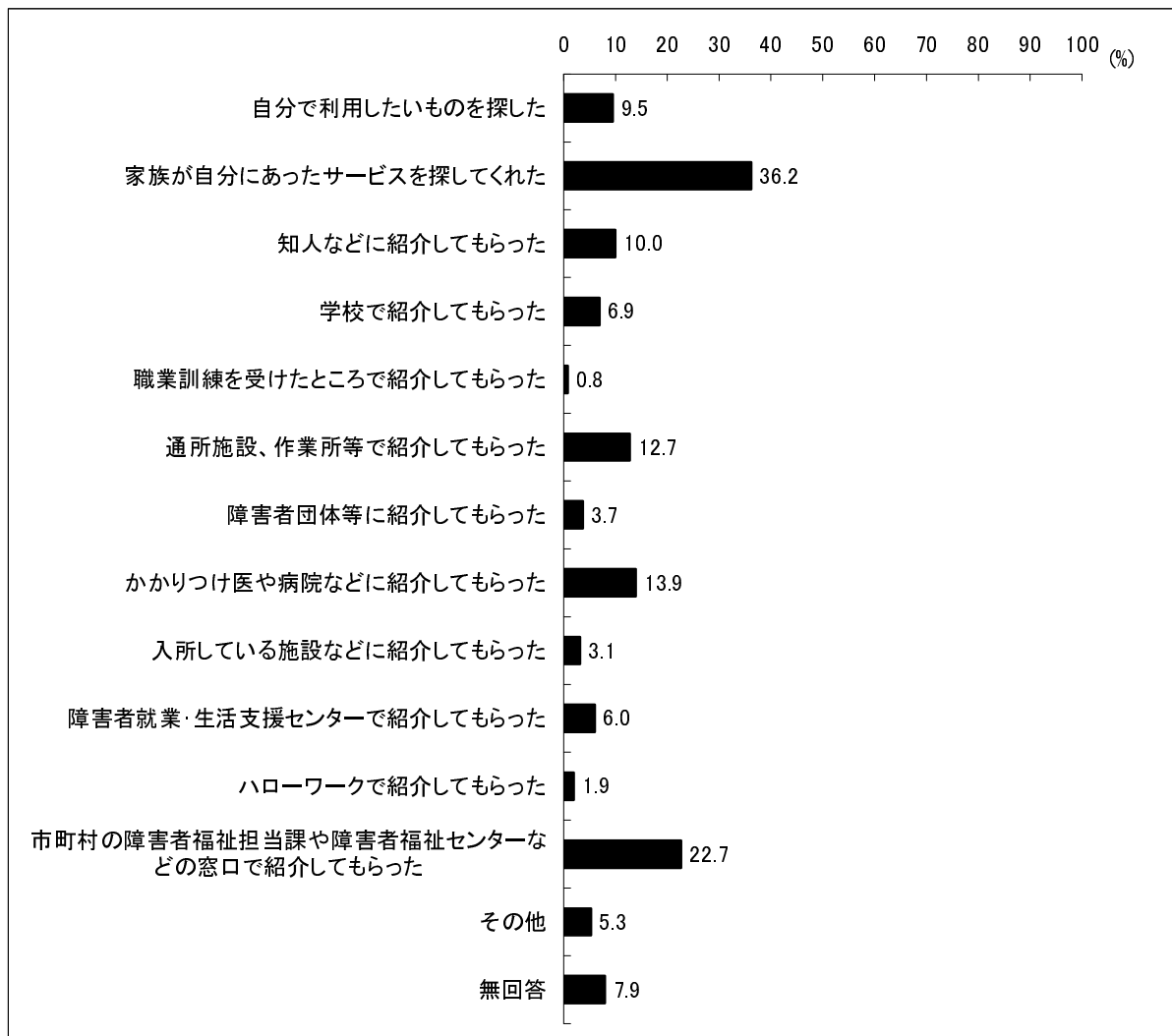
図表119 現在利用しているサービス（圏域別） [N=12,188]

	全体	奈良圏域	西和圏域	中和圏域	東和圏域	南和圏域
N=	12,188	2,926	2,866	3,171	2,004	867
居宅介護(ホームヘルプ)	5.5	6.9	5.4	5.0	5.5	3.6
重度訪問介護	0.8	1.2	0.3	0.8	0.9	1.3
行動援護	2.7	3.4	3.1	2.2	2.9	1.3
重度障害者包括支援	0.2	0.3	0.0	0.1	0.2	0.1
生活介護	4.1	4.9	4.3	3.4	4.0	3.9
療養介護	0.4	0.6	0.2	0.2	0.5	0.7
児童デイサービス	2.0	1.3	1.8	3.2	2.0	0.5
短期入所(ショートステイ)	4.1	5.3	4.4	4.0	3.0	2.3
自立訓練(機能訓練)	1.7	1.9	1.5	1.6	1.8	2.0
自立訓練(生活訓練)	1.3	1.4	1.4	1.2	1.1	1.3
就労移行支援	0.8	1.0	0.8	0.7	0.6	0.8
就労継続支援(A型)	0.7	0.7	0.7	0.3	0.8	1.3
就労継続支援(B型)	2.0	1.0	2.5	2.7	1.8	2.2
移動支援	6.1	7.8	7.0	5.7	5.1	3.2
地域活動支援センター	2.3	2.5	3.3	2.0	1.7	1.4
日中一時支援	4.3	5.6	5.3	3.4	3.0	2.8
相談支援	2.1	2.6	2.4	1.7	2.1	1.0
従来からの通所施設サービス、作業所など	4.6	6.0	4.6	3.9	5.1	2.1
その他	3.1	3.4	2.8	3.6	2.8	3.0
日中サービスは利用していない	32.1	32.1	34.0	32.0	32.0	30.2
無回答	41.4	38.9	38.7	41.9	41.8	48.7

④サービスの利用経緯

前問「現在利用しているサービス」でサービスを利用していると回答した人に、サービスの利用経緯について聞いたところ、「家族が自分にあったサービスを探してくれた」の割合が36.2%と最も高く、次いで、「市町村の障害者福祉担当課や障害者福祉センターなどの窓口で紹介してもらった」が22.7%となっています。

図表120 サービスの利用経緯 [N=3, 236 ; 複数回答]



障害種別で見ると、「精神障害のみ」で「かかりつけ医や病院などに紹介してもらった」が高い割合となっています。

図表121 サービスの利用経緯（障害種別） [N=3,236；複数回答]

	全体	（身体障害未のみ）	（身体障害以上のみ）	知的障害のみ	精神障害のみ	発達障害のみ	高次脳機能障害	身体障害と知的障害の重複	知的障害と精神障害の重複	知的障害と発達障害の重複	その他の重複
N=	3,236	790	252	909	502	78	115	233	56	138	118
自分で利用したいものを探した	9.5	16.6	13.9	3.2	12.2	6.4	6.1	3.4	5.4	9.4	8.5
家族が自分にあったサービスを探してくれた	36.2	23.4	27.8	48.5	16.1	43.6	52.2	58.4	37.5	58.0	36.4
知人などに紹介してもらった	10.0	11.9	11.9	9.2	7.6	12.8	7.8	8.2	8.9	15.9	7.6
学校で紹介してもらった	6.9	2.7	0.0	14.0	0.2	9.0	6.1	14.6	5.4	8.0	8.5
職業訓練を受けたところで紹介してもらった	0.8	0.5	0.4	0.8	1.0	1.3	1.7	0.4	1.8	0.0	2.5
通所施設、作業所等で紹介してもらった	12.7	3.2	3.6	24.2	13.5	1.3	5.2	21.0	16.1	7.2	9.3
障害者団体等に紹介してもらった	3.7	2.8	3.6	4.1	4.6	2.6	2.6	5.6	0.0	4.3	3.4
かかりつけ医や病院などに紹介してもらった	13.9	15.4	14.3	1.9	36.7	11.5	17.4	5.6	14.3	8.7	20.3
入所している施設などに紹介してもらった	3.1	2.2	1.6	3.9	4.2	0.0	4.3	3.9	3.6	0.7	5.1
障害者就業・生活支援センターで紹介してもらった	6.0	4.4	2.8	5.8	9.8	10.3	7.0	3.4	14.3	3.6	8.5
ハローワークで紹介してもらった	1.9	1.8	0.0	2.2	3.2	1.3	1.7	1.7	3.6	0.7	1.7
市町村の障害者福祉担当課や障害者福祉センターなどの窓口で紹介してもらった	22.7	26.8	28.6	16.3	20.9	25.6	24.3	19.3	30.4	22.5	35.6
その他	5.3	5.4	7.1	3.1	8.4	9.0	9.6	0.9	7.1	4.3	5.1
無回答	7.9	13.2	13.5	4.5	8.8	1.3	6.1	4.3	3.6	0.7	6.8

⑤今後利用したいサービス

今後利用したいサービスについて聞いたところ、「居宅介護（ホームヘルプ）」の割合が9.9%、「移動支援」が9.3%、「短期入所（ショートステイ）」が8.1%、「生活介護」が8.0%等となっています。一方、「利用したい日中サービスはない」は17.0%となっています。

図表122 今後利用したいサービス [N=12,188 ; 複数回答]



障害種別で見ると、「身体障害と知的障害の重複」で「短期入所」や「移動支援」などの割合が高くなっています。

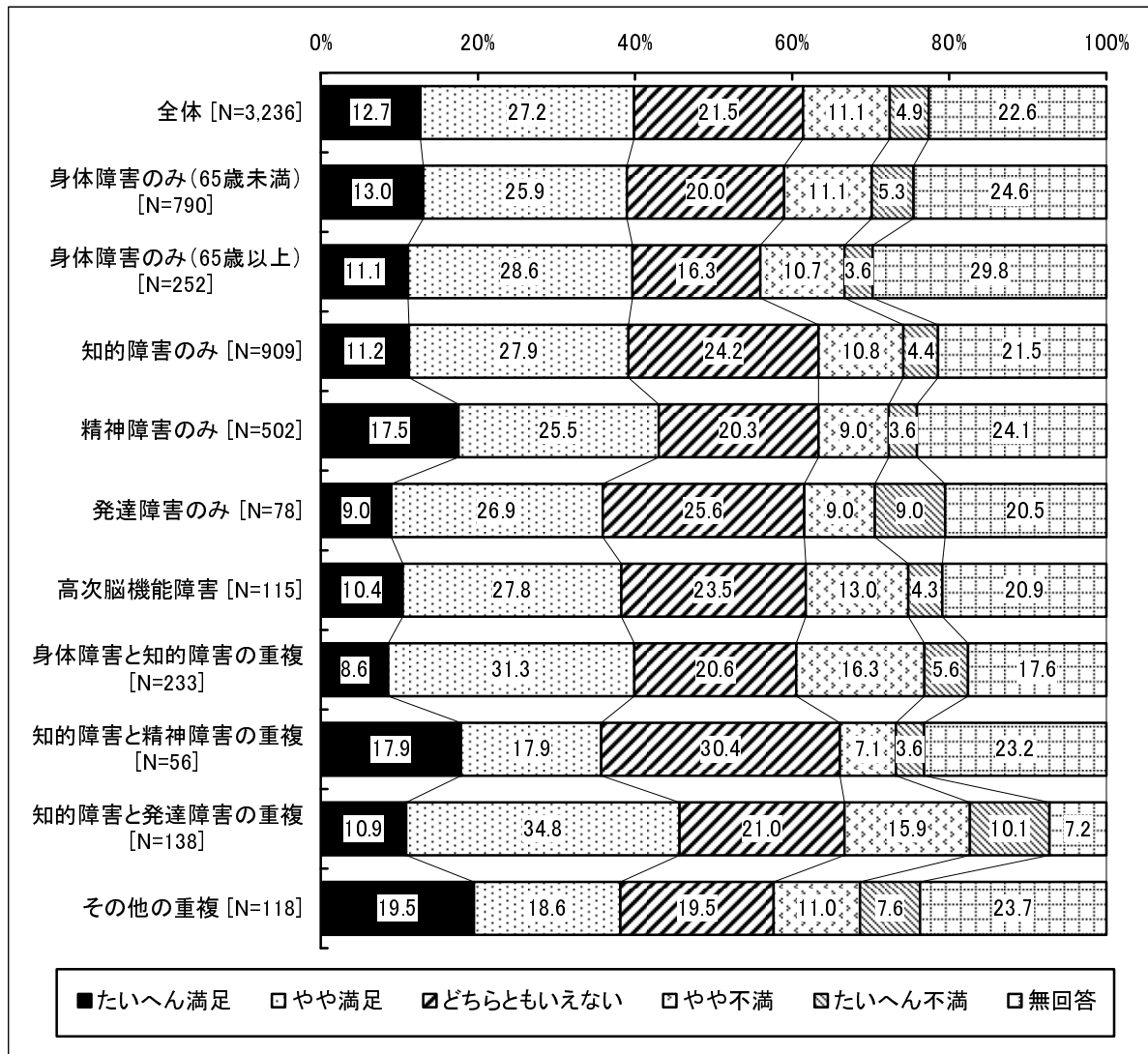
図表123 今後利用したいサービス（障害種別） [N=12,188；複数回答]

	全 体	（身 体 5 歳 未 満 ）	（身 体 5 歳 以 上 ）	知 的 障 害 の み	精 神 障 害 の み	発 達 障 害 の み	高 次 脳 機 能 障 害	障 害 の 重 複 と 知 的	障 害 の 重 複 と 精 神	知 的 障 害 の 重 複 と 発 達	そ の 他 の 重 複
N=	12,188	5,586	1,572	1,923	1,310	250	245	428	106	251	264
居宅介護（ホームヘルプ）	9.9	7.9	13.4	7.8	12.4	2.0	14.7	20.3	17.0	10.8	16.7
重度訪問介護	1.7	1.6	2.0	0.5	1.5	0.0	5.7	5.6	0.9	0.4	4.2
行動援護	6.8	4.1	4.8	13.2	4.4	6.0	9.8	11.2	17.9	27.1	11.0
重度障害者包括支援	1.1	0.7	0.8	0.9	1.5	0.4	4.1	3.3	0.9	1.6	2.7
生活介護	8.0	5.5	7.6	11.9	8.9	1.2	8.2	21.0	9.4	10.4	14.0
療養介護	1.4	1.3	1.3	0.8	1.7	0.0	2.9	3.0	0.9	0.0	4.9
児童デイサービス	3.0	0.4	0.0	6.9	0.3	18.8	2.0	8.6	1.9	34.7	10.6
短期入所（ショートステイ）	8.1	2.6	3.6	20.6	5.3	5.2	19.6	31.1	12.3	22.7	15.9
自立訓練（機能訓練）	4.5	3.9	4.3	3.4	4.7	7.6	12.7	8.6	3.8	8.0	8.3
自立訓練（生活訓練）	3.9	1.5	1.3	6.7	7.3	8.8	8.6	5.8	10.4	13.9	9.5
就労移行支援	2.8	1.2	0.2	5.6	5.4	10.8	4.1	3.0	5.7	7.2	3.4
就労継続支援（A型）	1.6	0.5	0.0	4.2	3.3	3.6	2.9	1.6	3.8	6.0	0.8
就労継続支援（B型）	2.9	0.6	0.1	7.9	6.7	4.4	4.5	2.8	13.2	6.8	2.7
移動支援	9.3	5.6	4.1	21.3	3.4	6.4	8.2	28.3	16.0	31.5	14.8
地域活動支援センター	3.6	1.5	1.2	4.1	12.8	2.4	6.5	4.9	7.5	8.0	5.7
日中一時支援	6.8	2.5	2.8	16.7	4.0	7.2	7.3	23.6	11.3	35.1	12.1
相談支援	7.4	4.4	4.0	8.4	17.9	18.4	9.0	7.0	15.1	15.5	13.3
従来からの通所施設サービス、作業所など	5.8	1.5	2.0	15.4	9.3	5.2	12.7	15.7	17.0	9.6	6.4
その他	3.0	2.8	2.7	2.8	4.0	4.8	6.9	2.8	4.7	2.0	4.5
利用したい日中サービスはない	17.0	24.2	15.8	6.7	16.1	12.4	7.3	4.7	3.8	2.8	7.6
無回答	44.9	50.3	53.9	36.6	33.4	36.0	36.3	34.1	29.2	27.1	36.4

⑥サービスの満足度

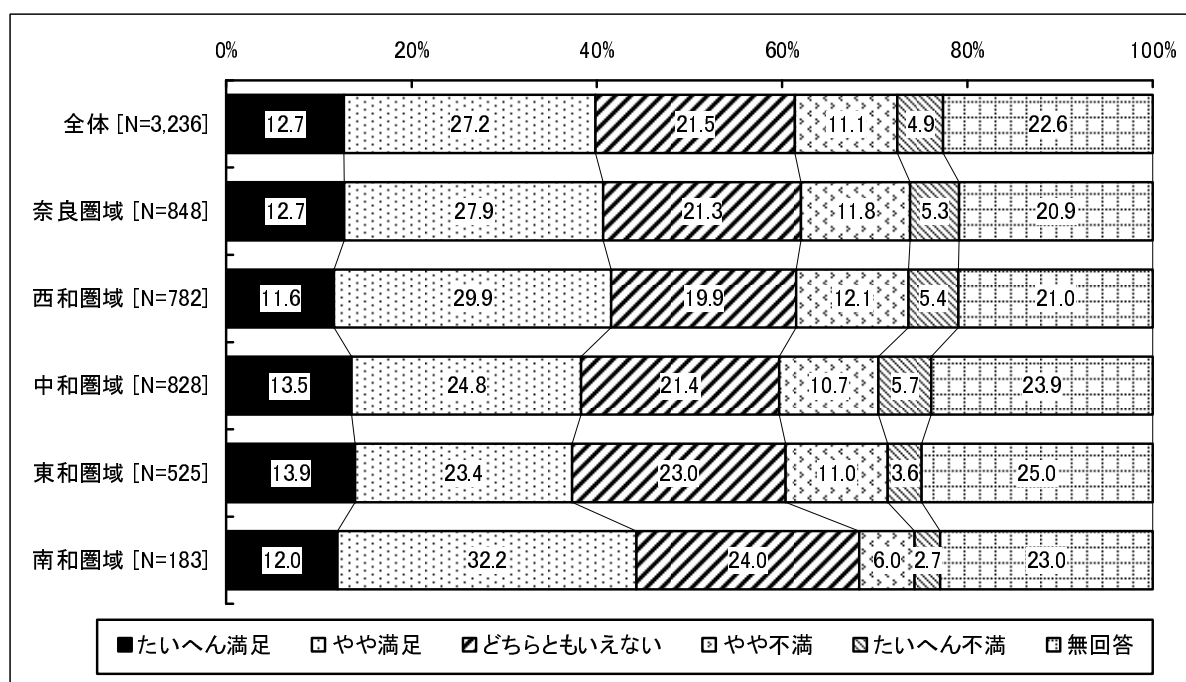
現在サービスを利用している人にその満足度を聞いたところ、使えるサービスの種類については、「やや満足」の割合が27.2%、「どちらともいえない」が21.5%となっています。

図表124 使えるサービスの種類の満足度 [N=3, 236]



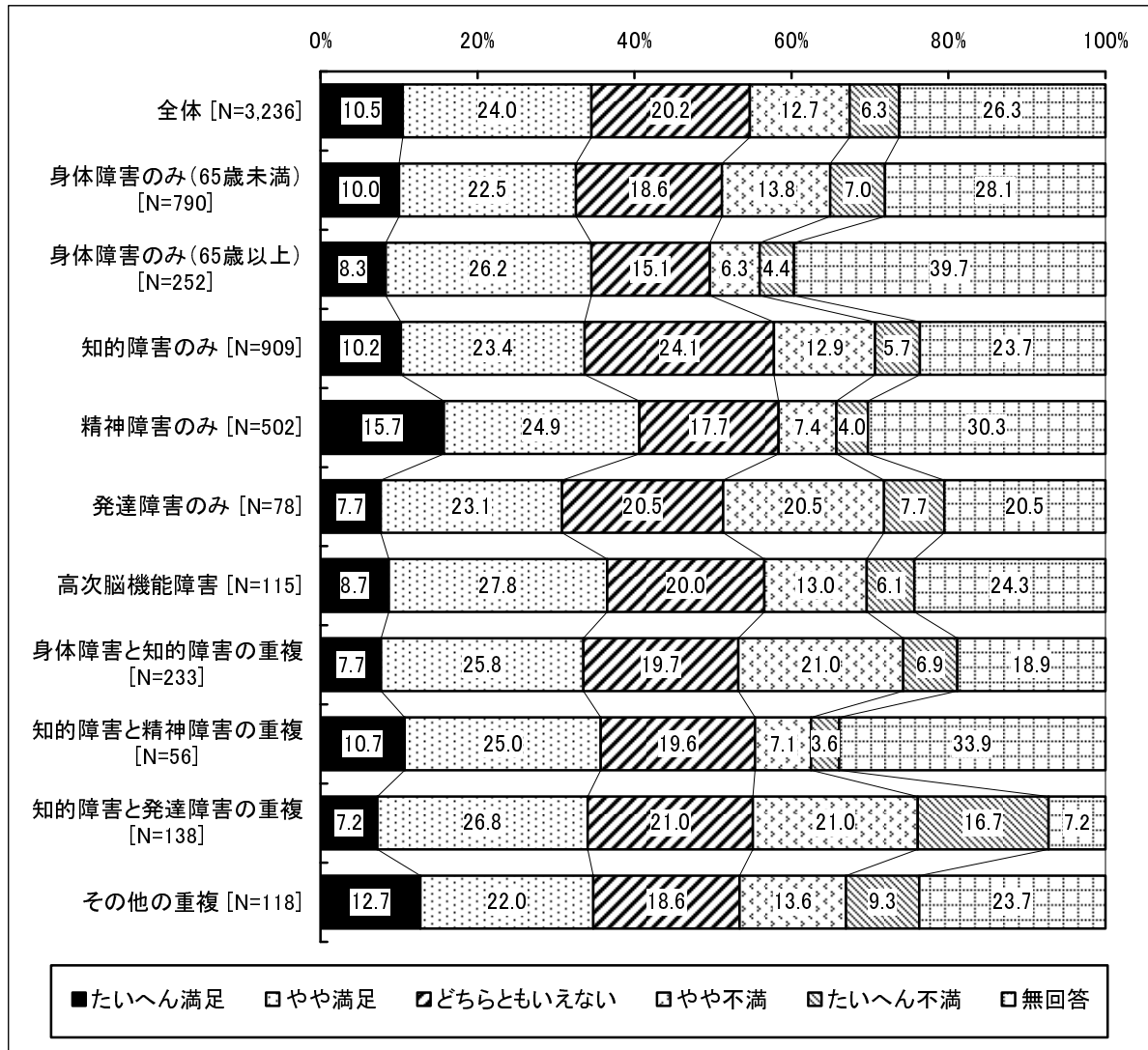
居住地の圏域別で見ると、「南和圏域」で満足度が比較的高くなっています。

図表125 使えるサービスの種類の満足度（圏域別） [N=3,236]



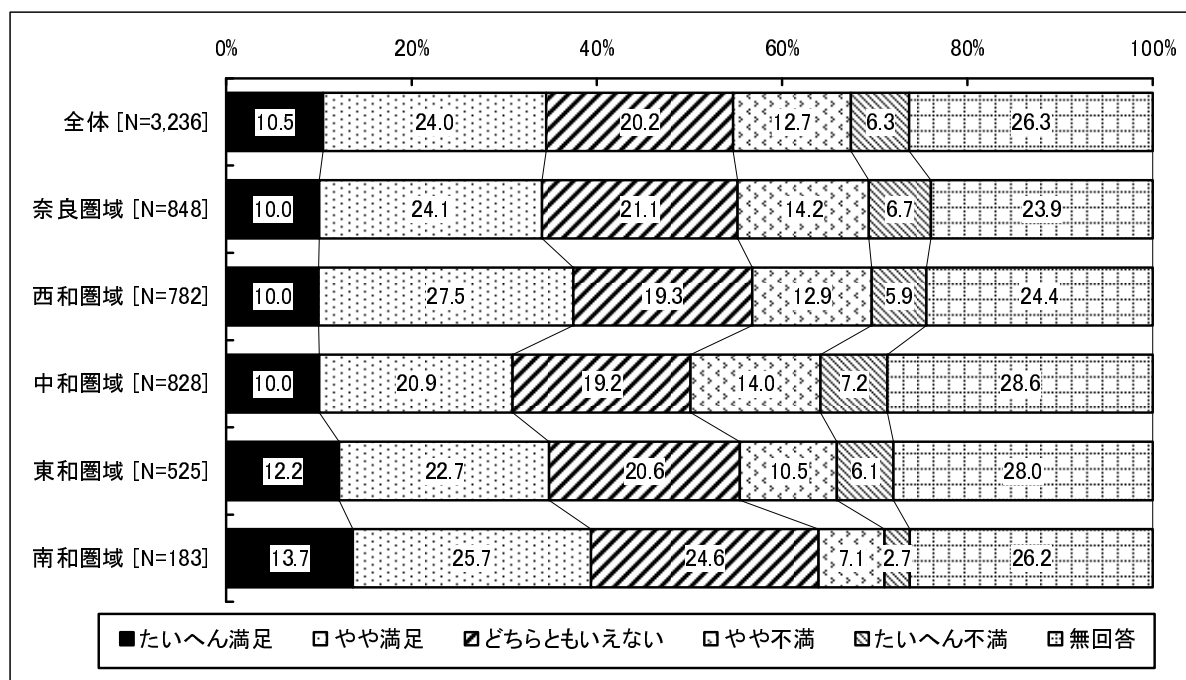
使えるサービスの回数については、「やや満足」の割合が24.0%、「どちらともいえない」が20.2%となっています。

図表126 使えるサービスの回数の満足度 [N=3, 236]



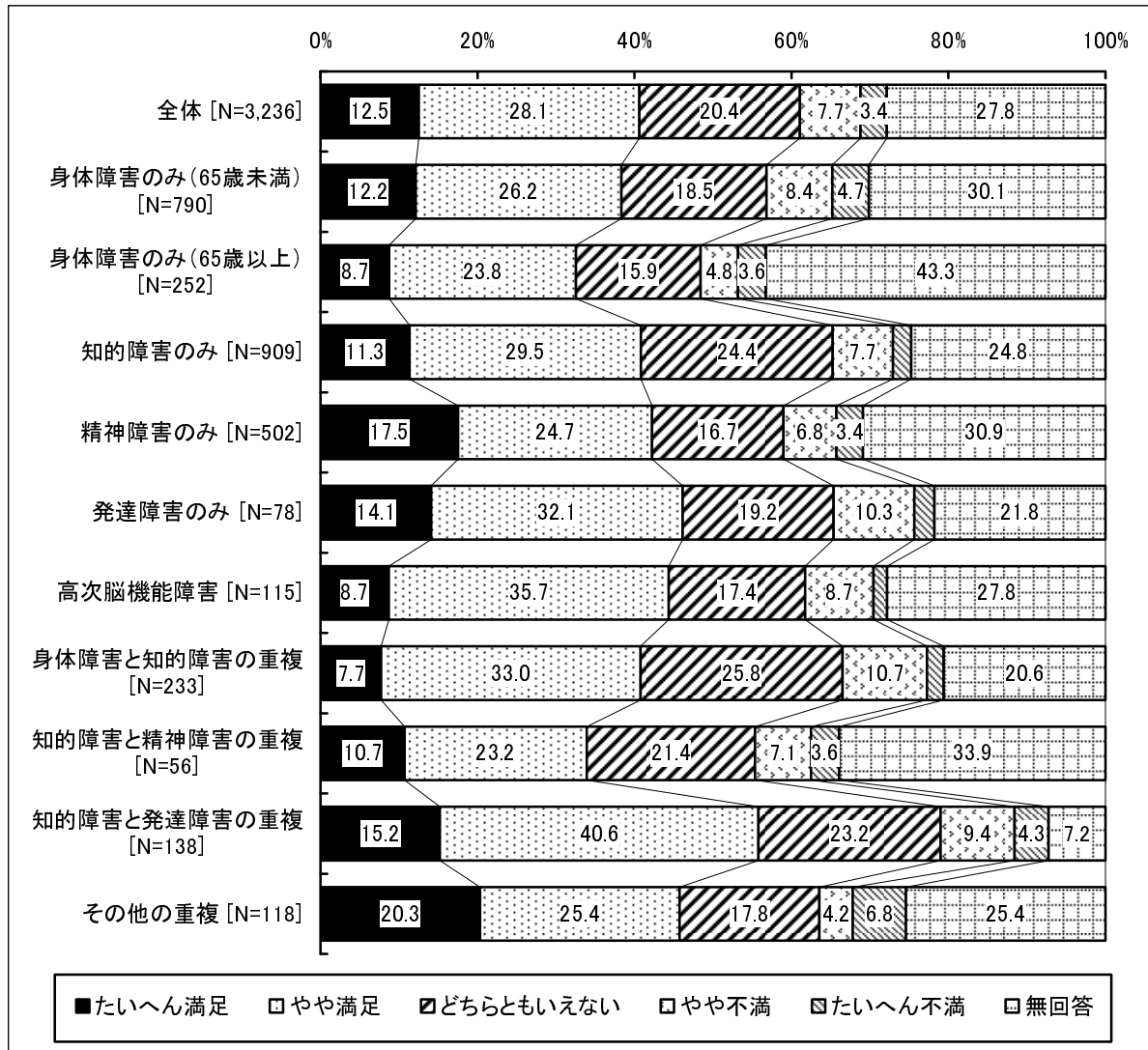
居住地の圏域別で見ると、「南和圏域」「西和圏域」で比較的満足度が高くなっています。

図表127 使えるサービスの回数の満足度（圏域別） [N=3,236]



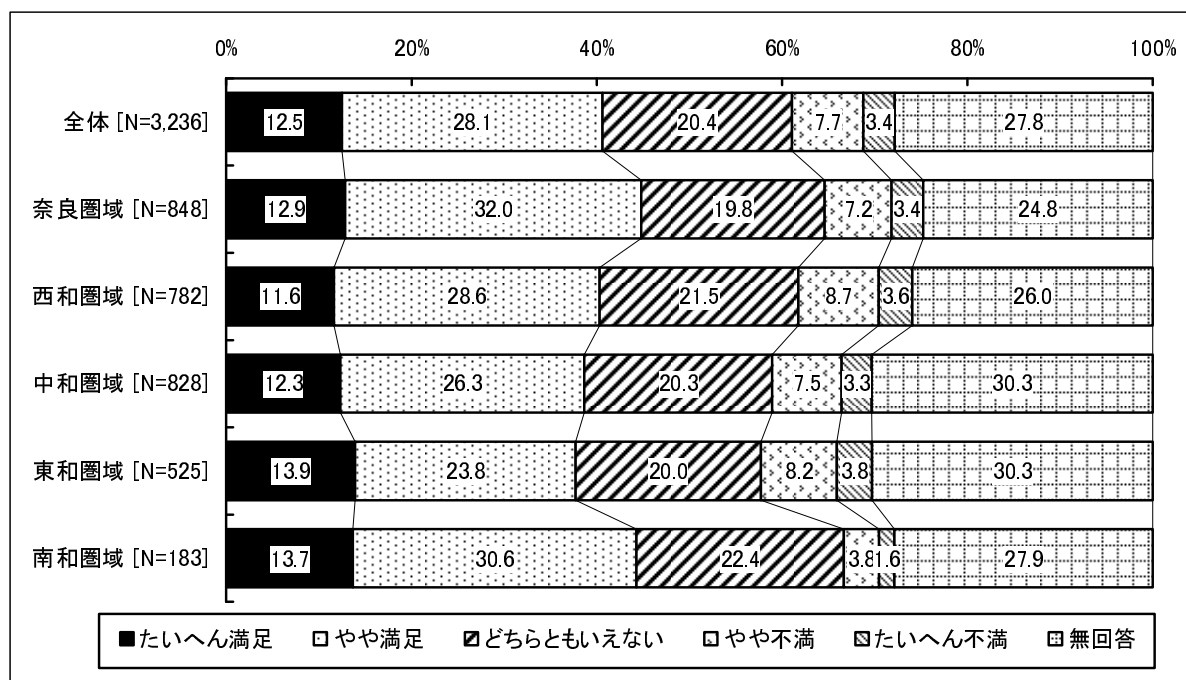
サービスの質の満足度については、「やや満足」の割合が28.1%、「どちらともいえない」が20.4%となっています。

図表128 サービスの質の満足度 [N=3, 236]



居住地の圏域別で見ると、「奈良圏域」「南和圏域」で比較的満足度が高くなっています。

図表129 サービスの質の満足度（圏域別） [N=3,236]

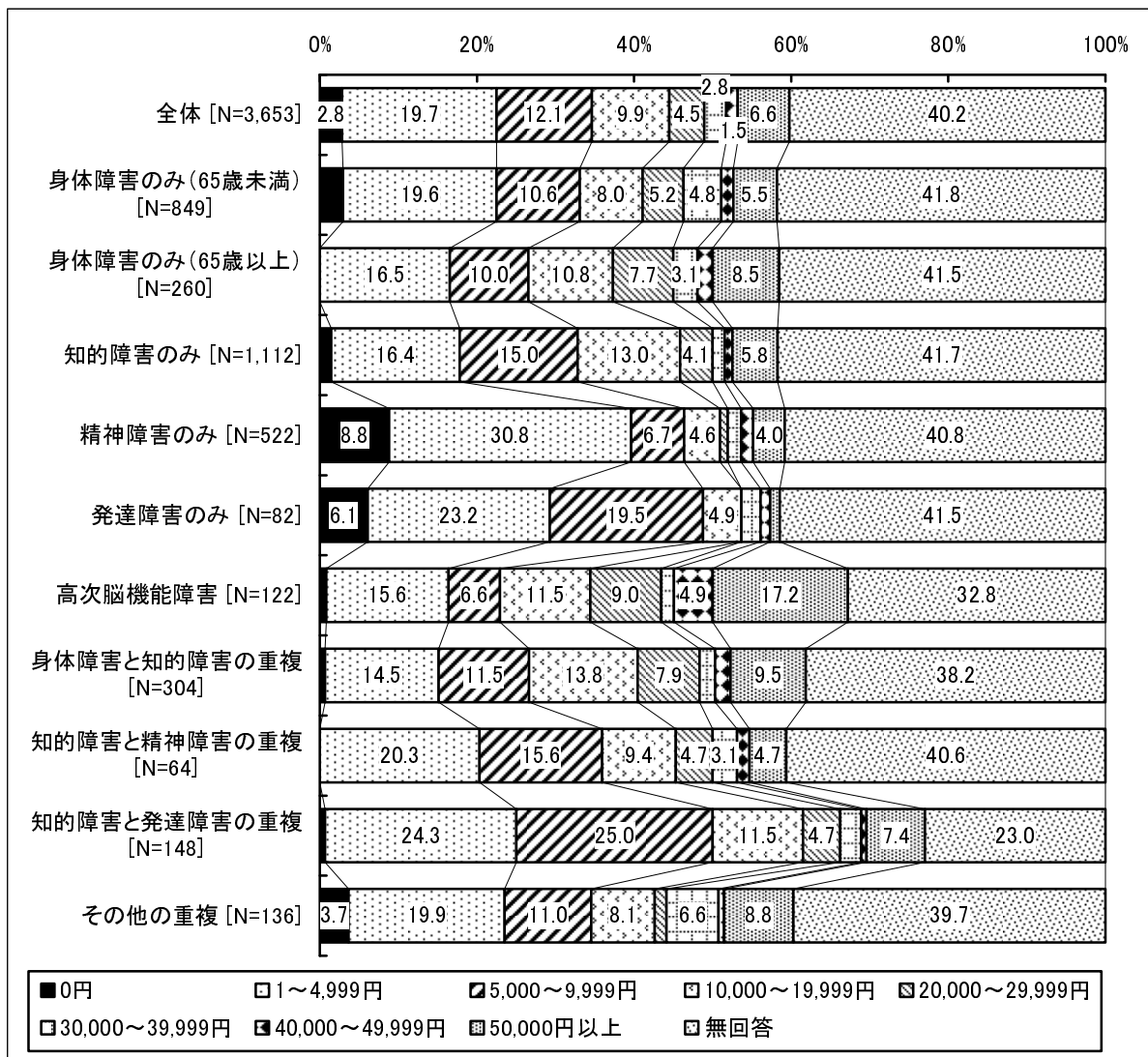


⑦サービスの1ヶ月あたりの合計利用料

サービスの1ヶ月あたりの合計利用料を聞いたところ、「1～4,999円」の割合が19.7%、「5,000～9,999円」が12.1%等となっています。

障害種別で見ると、「精神障害のみ」で「1～4,999円」、「知的障害と発達障害の重複」で「5,000～9,999円」などが高い割合となっています。

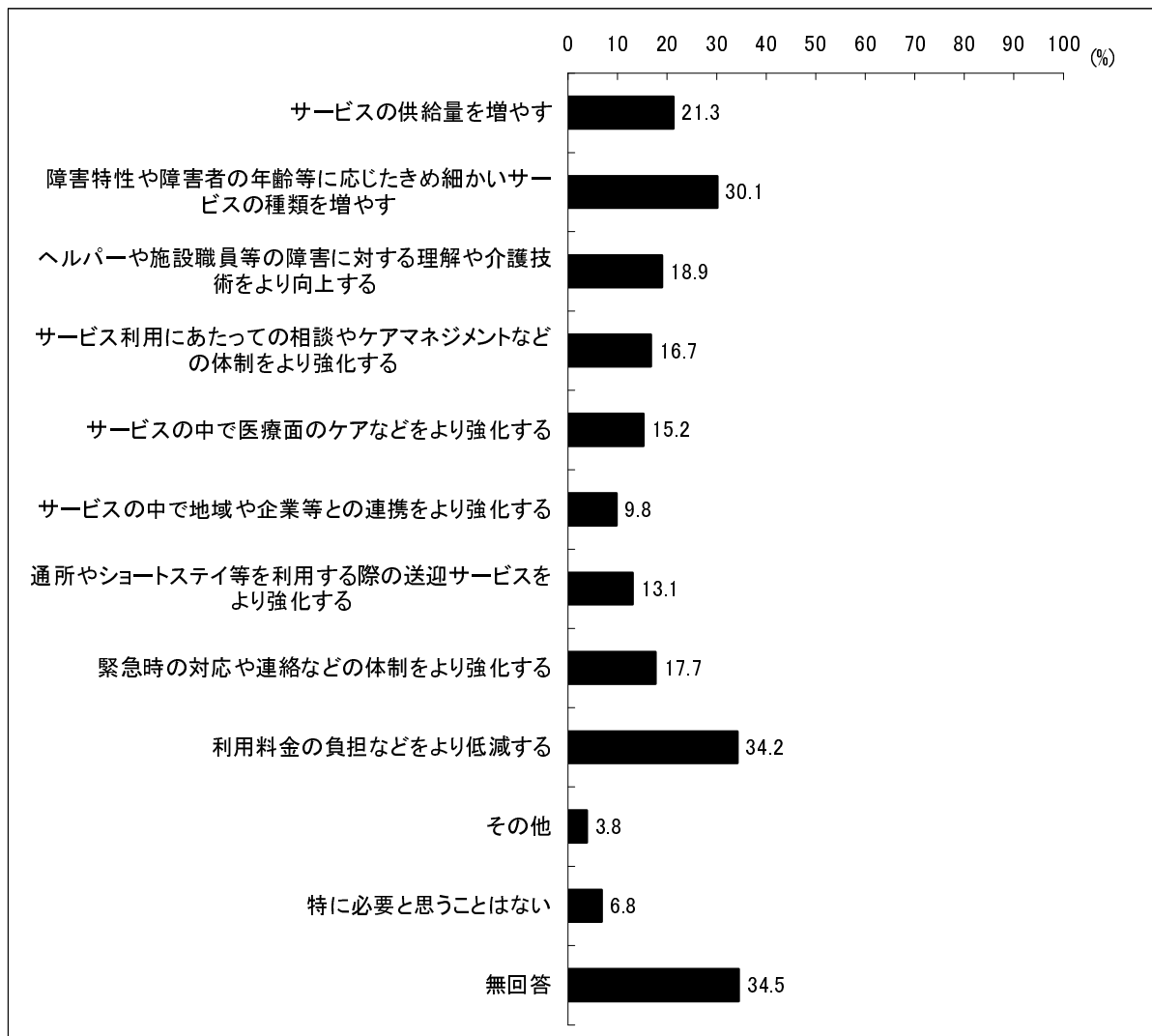
図表130 合計利用料区分（集計区分訂正） [N=3, 653]



⑧サービスを利用しやすくするために必要なこと

サービスを利用しやすくするために必要なことについて聞いたところ、「利用料金の負担などをより低減する」の割合が34.2%と最も高く、次いで、「障害特性や障害者の年齢等に応じたきめ細かいサービスの種類を増やす」が30.1%、「サービスの供給量を増やす」が21.3%と続いています。

図表131 サービスを利用しやすくするために必要なこと [N=12,188；複数回答]



障害種別で見ると、「知的障害と発達障害の重複」「発達障害のみ」などで「障害特性や障害者の年齢等に応じたきめ細かいサービスの種類を増やす」が高い割合となっています。また、「高次脳機能障害」などで「利用料金の負担などをより低減する」の割合も高くなっています。

図表132 サービスを利用しやすくするために必要なこと（障害種別） [N=12,188]

	全 体	（身 6 5 歳 未 の 満 み ）	（身 6 5 歳 以 上 み ）	知 的 障 害 の み	精 神 障 害 の み	発 達 障 害 の み	高 次 脳 機 能 障 害	障 害 の 障 害 と 知 的	障 害 の 障 害 と 精 神	障 害 の 障 害 と 発 達	そ の 他 の 重 複
N=	12,188	5,586	1,572	1,923	1,310	250	245	428	106	251	264
サービスの供給量を増やす	21.3	20.2	14.8	24.5	22.7	25.2	21.6	29.9	23.6	41.8	24.6
障害特性や障害者の年齢等に応じた きめ細かいサービスの種類を増やす	30.1	26.3	21.1	36.8	32.5	46.4	42.4	45.3	35.8	51.8	40.2
ヘルパーや施設職員等の障害に対す る理解や介護技術をより向上する	18.9	14.5	11.8	27.7	20.5	21.6	28.2	34.1	24.5	45.0	26.1
サービス利用にあたっての相談やケア マネジメントなどの体制をより強化する	16.7	14.7	10.5	19.6	21.1	21.2	23.7	21.3	21.7	31.9	23.1
サービスの中で医療面のケアなどをよ り強化する	15.2	14.1	13.2	13.1	17.6	15.6	25.3	27.6	21.7	16.3	24.2
サービスの中で地域や企業等との連 携をより強化する	9.8	7.5	4.1	12.1	16.4	16.8	15.9	12.9	18.9	21.9	14.8
通所やショートステイ等を利用する際 の送迎サービスをより強化する	13.1	8.7	6.9	22.1	12.5	15.2	22.0	29.4	23.6	33.1	23.9
緊急時の対応や連絡などの体制をよ り強化する	17.7	16.2	15.7	19.2	20.7	13.6	21.6	23.1	21.7	25.1	23.5
利用料金の負担などをより低減する	34.2	32.8	27.0	38.2	35.5	37.6	46.1	45.1	40.6	45.4	39.0
その他	3.8	3.1	2.7	4.3	5.8	6.8	4.1	5.1	5.7	6.0	5.3
特に必要と思うことはない	6.8	7.6	9.2	4.7	8.7	2.8	2.4	1.9	4.7	1.2	4.5
無回答	34.5	36.9	42.9	29.5	27.4	28.8	30.6	24.5	26.4	20.3	27.3

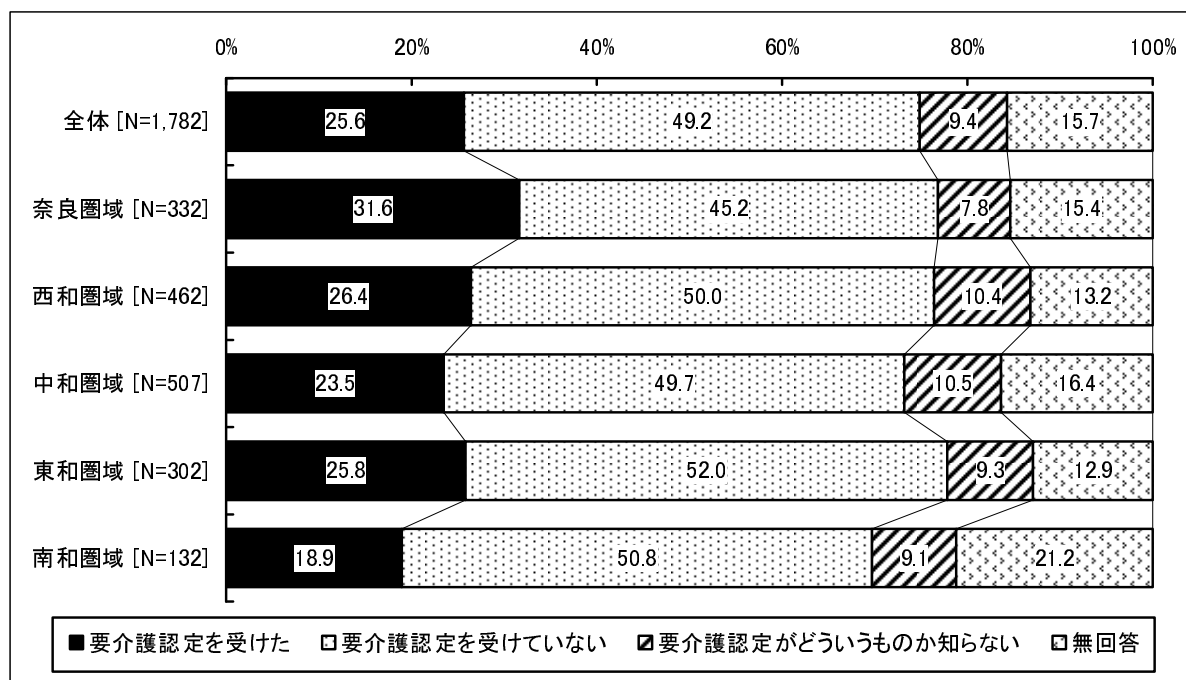
(13) 介護保険について

①要介護認定の有無

65歳以上の人に、要介護認定の有無について聞いたところ、「要介護認定を受けていない」の割合が49.2%、「要介護認定を受けた」が25.6%、「要介護認定がどのようなものか知らない」が9.4%となっています。

居住地の圏域別で見ると、「奈良圏域」で「要介護認定を受けた」の割合が比較的高くなっています。

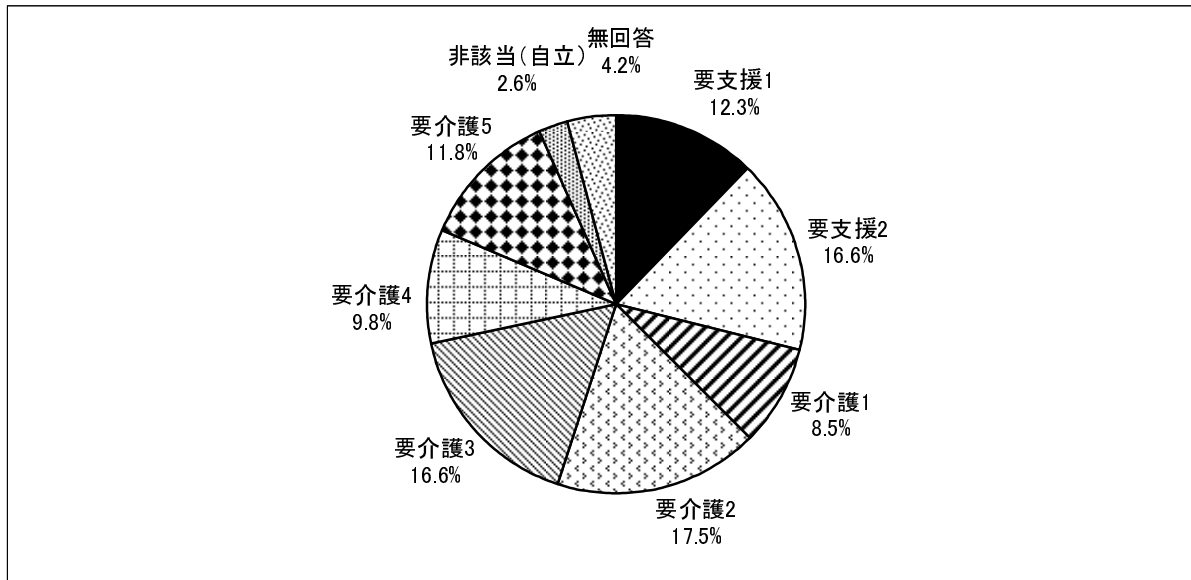
図表133 要介護認定の有無 [N=1,782]



②要介護度

前問「要介護認定の有無」で「要介護認定を受けた」と回答した人に、要介護度について聞いたところ、「要介護2」の割合が17.5%、「要支援2」「要介護3」がいずれも16.6%等となっています。

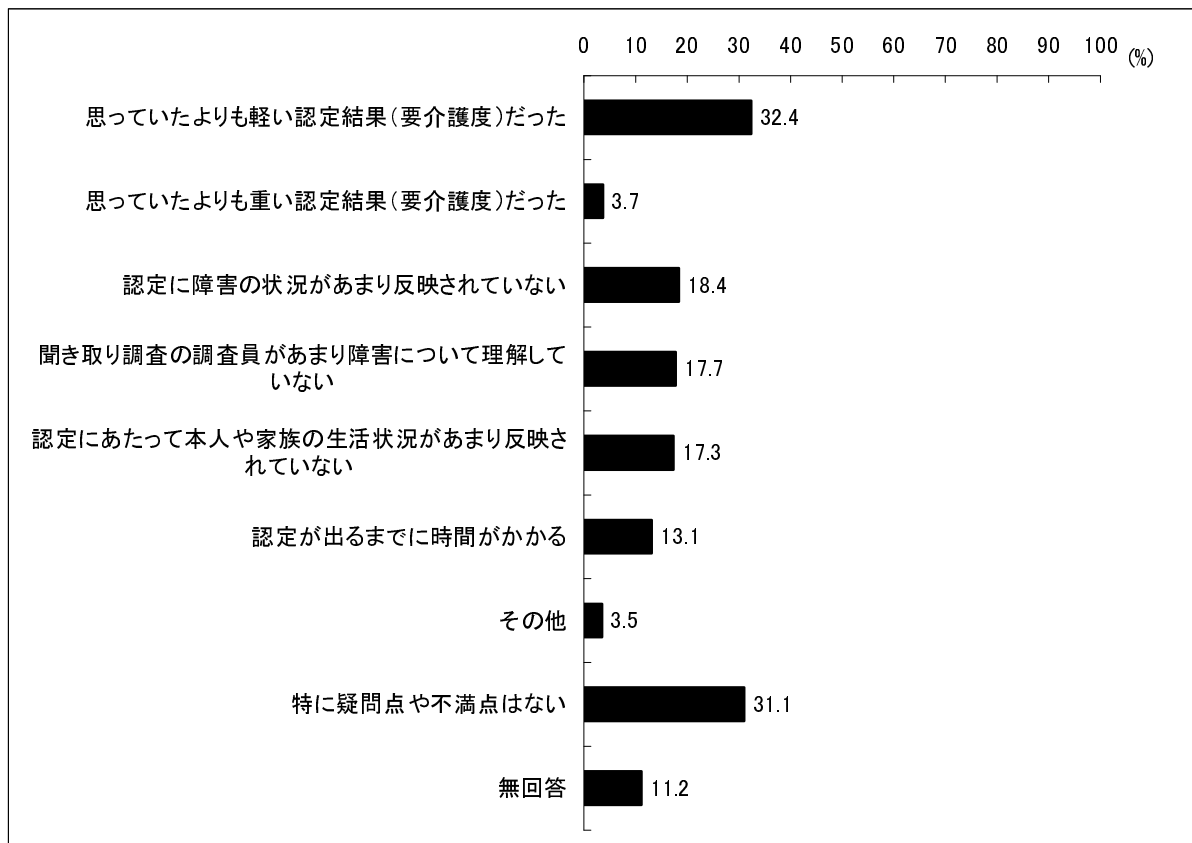
図表134 要介護度 [N=457]



③認定についての疑問や不満

「要介護認定の有無」で「要介護認定を受けた」と回答した人に、認定についての疑問や不満について聞いたところ、「思っていたよりも軽い認定結果（要介護度）だった」の割合が32.4%と最も高く、次いで、「特に疑問点や不満点はない」が31.1%、「認定に障害の状況があまり反映されていない」が18.4%等となっています。

図表135 認定についての疑問や不満 [N=457；複数回答]

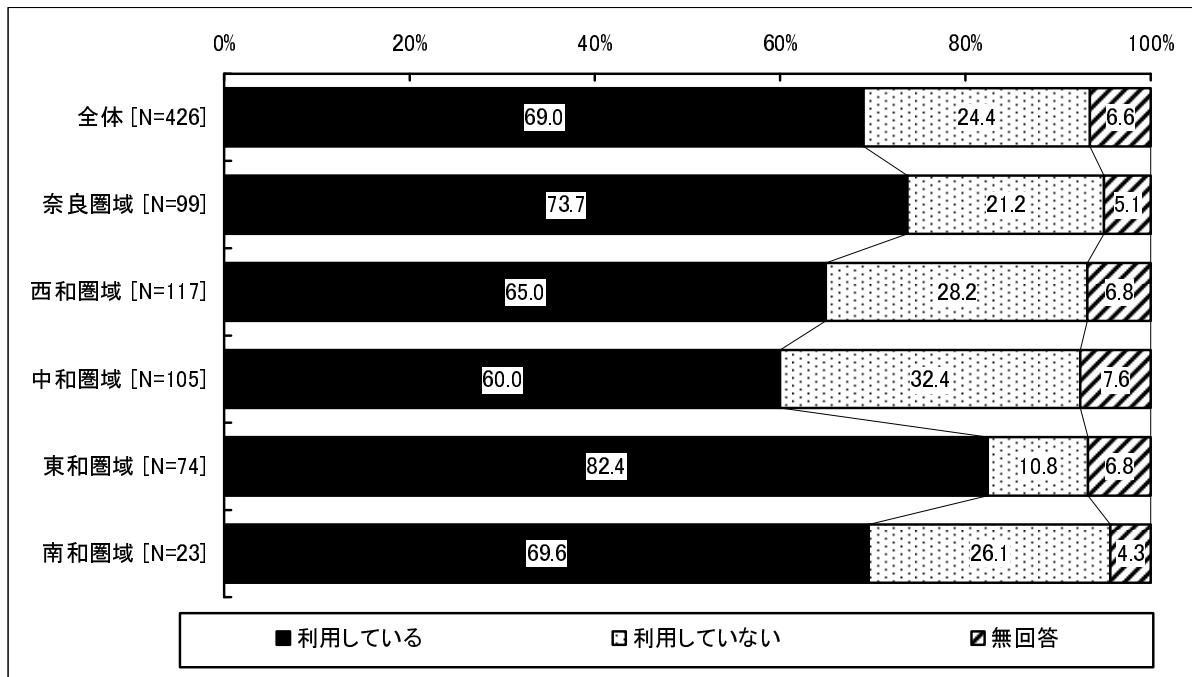


④介護保険サービスの利用の有無

要介護認定で要支援1～要介護5に認定されている人に、介護保険サービスの利用の有無について聞いたところ、「利用している」の割合が69.0%と約7割を占め、「利用していない」が24.4%となっています。

居住地の圏域別で見ると、「東和圏域」「奈良圏域」で「利用している」が高い割合となっています。

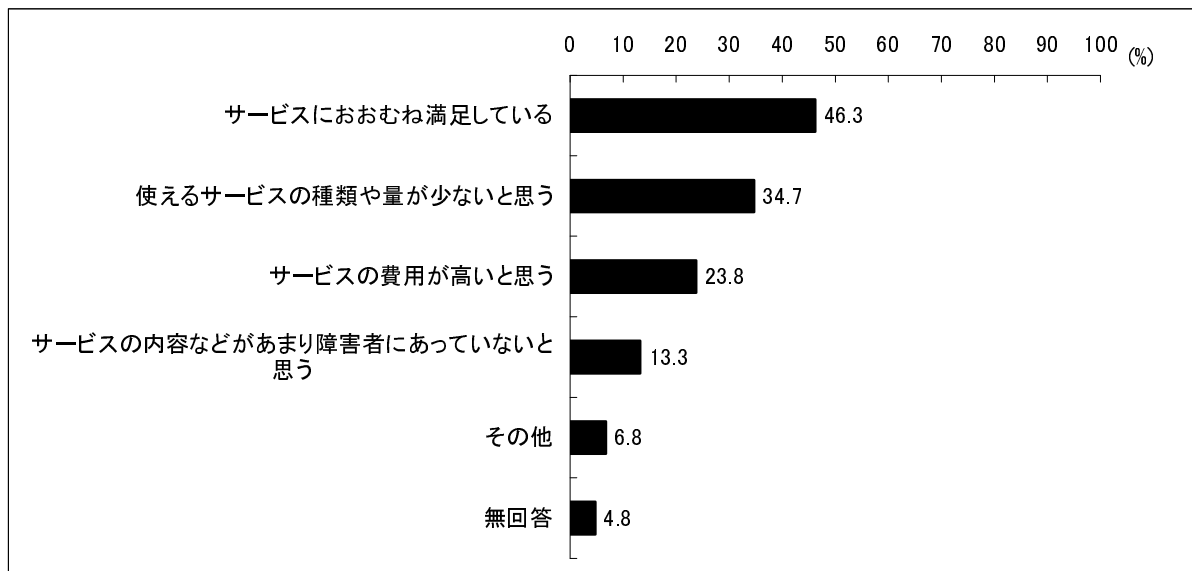
図表136 介護保険サービスの利用の有無 [N=426]



⑤介護保険サービスについてどう感じているか

前問「介護保険サービスの利用の有無」で「利用している」と回答した人に、介護保険サービスについてどう感じているかについて聞いたところ、「サービスにおおむね満足している」の割合が46.3%と最も高く、次いで、「使えるサービスの種類や量が少ないと思う」が34.7%となっています。

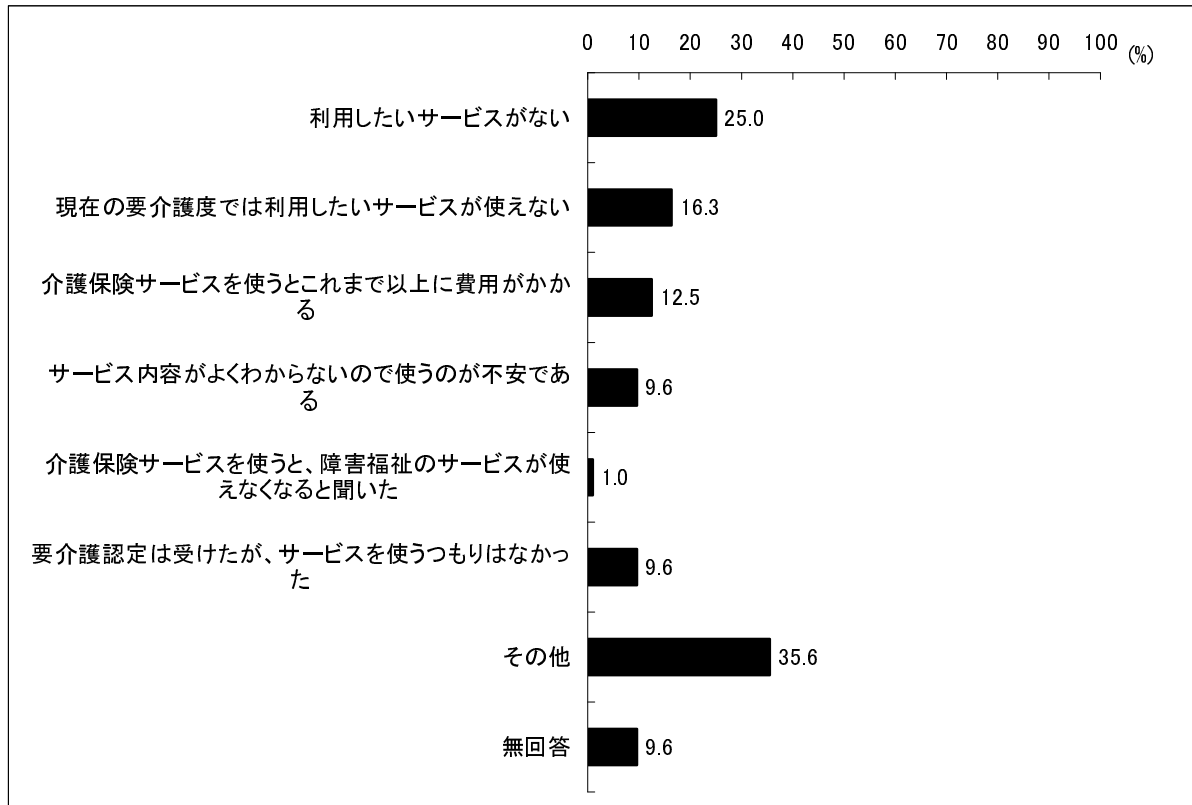
図表137 介護保険サービスについてどう感じているか [N=294；複数回答]



⑥介護保険サービスを利用していない理由

「介護保険サービスの利用の有無」で「利用していない」と回答した人に、介護保険サービスを利用していない理由について聞いたところ、「利用したいサービスがない」が25.0%、「現在の要介護度では利用したいサービスが使えない」が16.3%、「現在の要介護度では利用したいサービスが使えない」が16.3%等となっています。

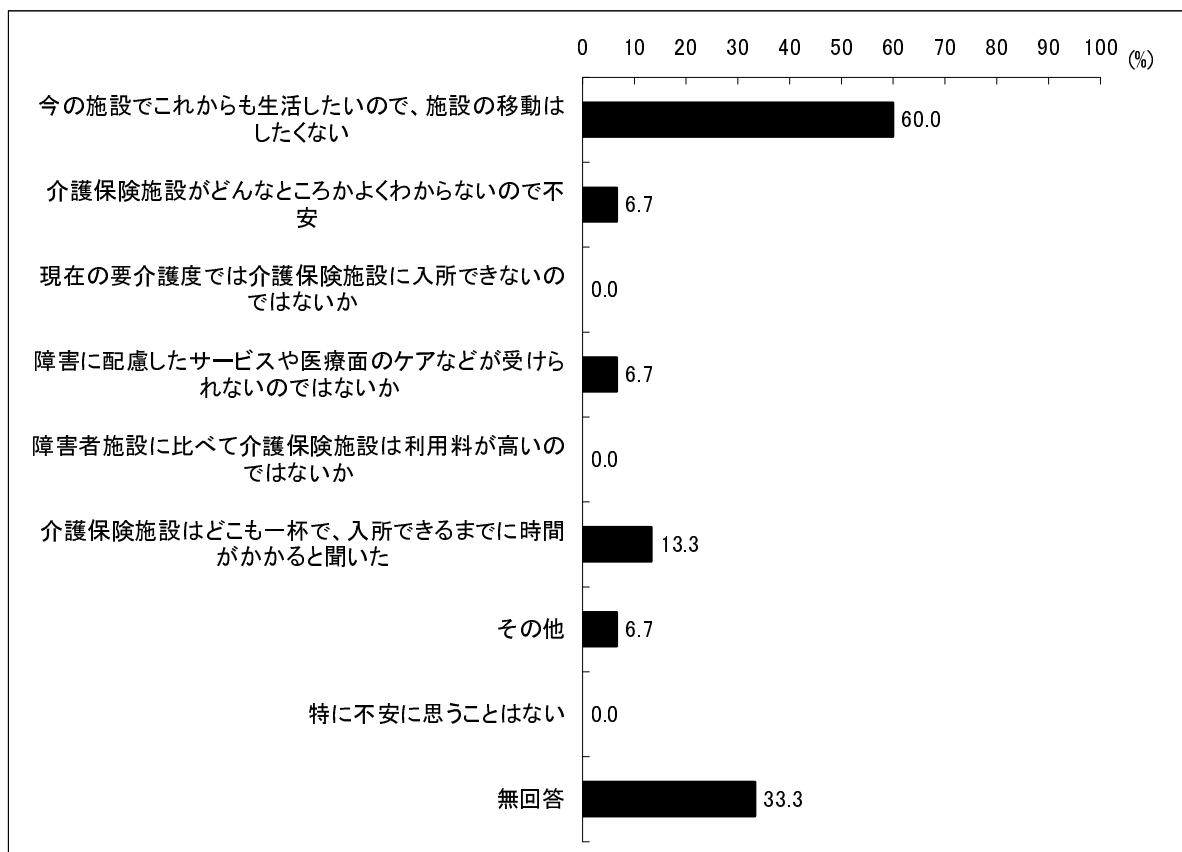
図表138 介護保険サービスを利用していない理由 [N=104 ; 複数回答]



⑦介護保険施設への入所で不安なこと

65歳以上で障害者施設に入所している人に、介護保険施設への入所で不安なことについて聞いたところ、「今の施設でこれからも生活したいので、施設の移動はしたくない」の割合が60.0%、「介護保険施設はどこも一杯で、入所できるまでに時間がかかると聞いた」が13.3%等となっています。

図表139 介護保険施設への入所で不安なこと [N=15 ; 複数回答]



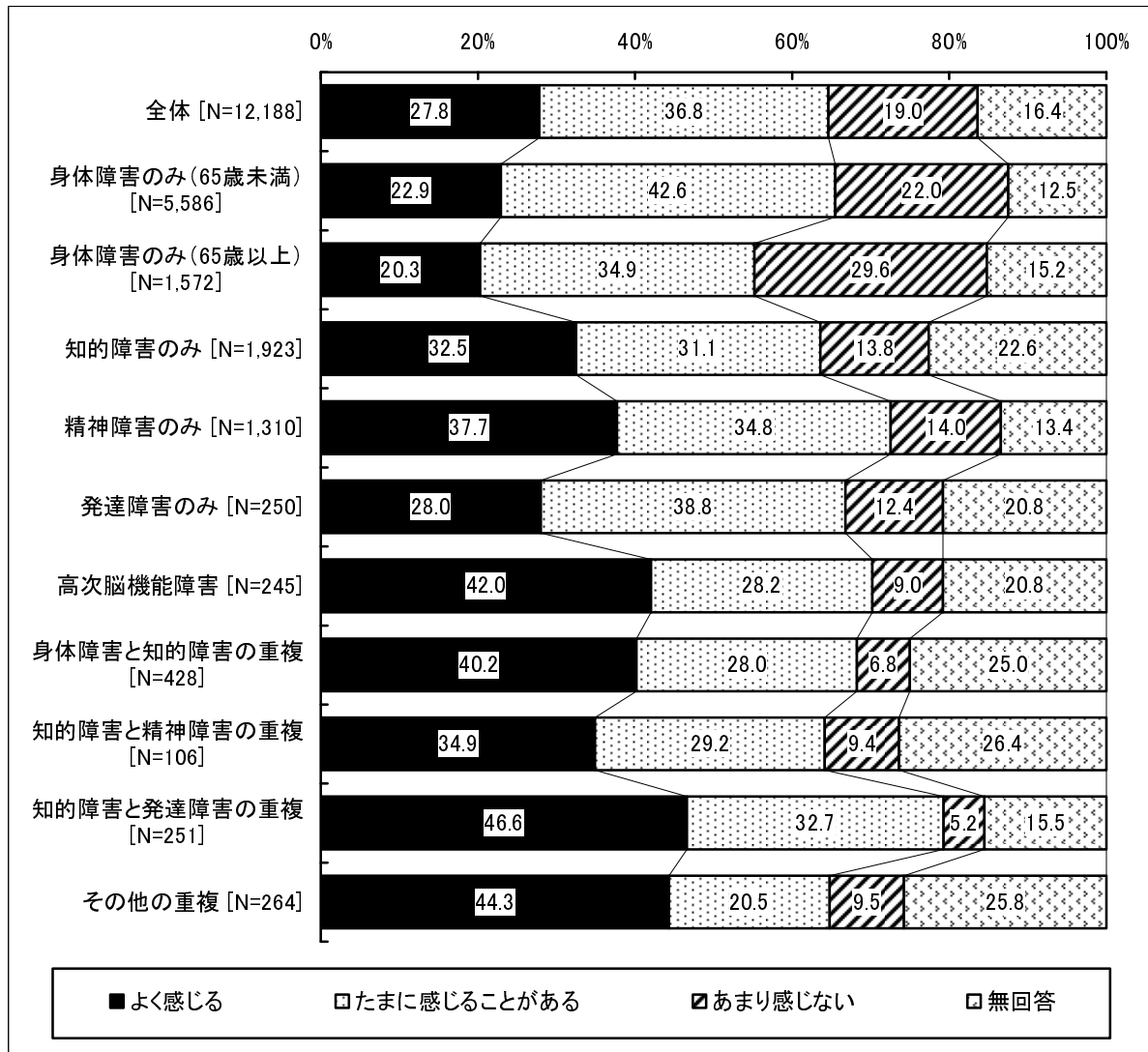
(14) 障害者が暮らしやすい社会づくり、まちづくりについて

①障害による暮らしにくさ

障害による今の世の中の暮らしにくさについて聞いたところ、「たまに感じることもある」の割合が36.8%、「よく感じる」が27.8%、「あまり感じない」が19.0%となっています。

障害種別で見ると、「知的障害と発達障害の重複」「その他の重複」「高次脳機能障害」などで、「よく感じる」が比較的高い割合となっています。

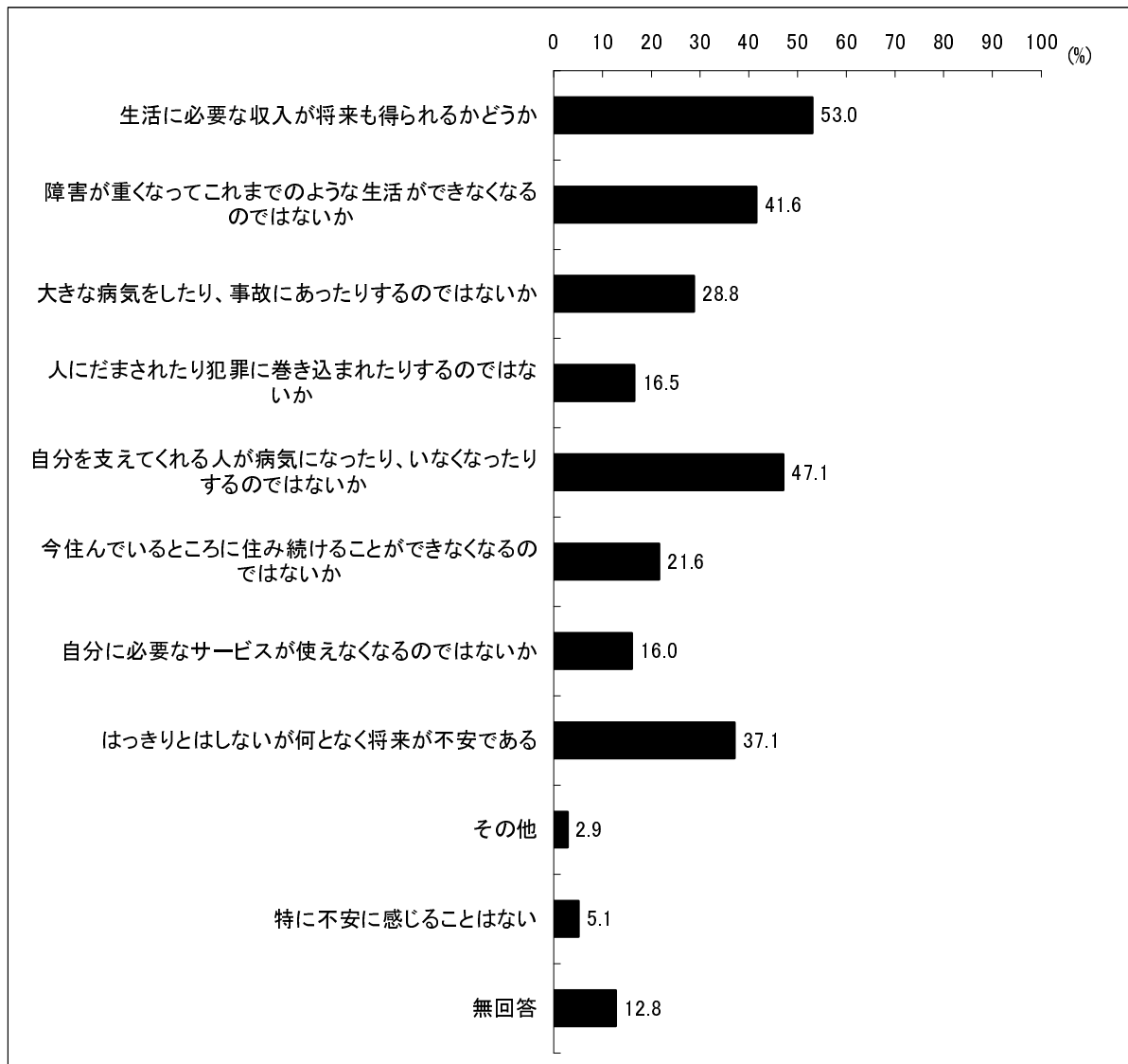
図表140 障害による暮らしにくさ [N=12,188]



②将来に対する不安

将来に対する不安について聞いたところ、「生活に必要な収入が将来も得られるかどうか」の割合が53.0%と最も高く、半数以上を占めます。次いで、「自分を支えてくれる人が病気になったり、いなくなったりするのではないか」が47.1%となっています。

図表141 将来に対する不安 [N=12,188 ; 複数回答]



障害種別で見ると、「知的障害と発達障害の重複」で、「自分を支えてくれる人が病気になったり、いなくなったりするのではないか」「生活に必要な収入が将来も得られるかどうか」などが高い割合となっています。

図表142 将来に対する不安（障害種別） [N=12, 188]

	全体	(65歳未満の身体障害)	(65歳以上の身体障害)	知的障害のみ	精神障害のみ	発達障害のみ	高次脳機能障害	身体障害と知的障害の重複	知的障害の重複と精神障害の重複	知的障害の重複と発達障害の重複	その他の重複
N=	12,188	5,586	1,572	1,923	1,310	250	245	428	106	251	264
生活に必要な収入が将来も得られるかどうか	53.0	52.7	37.6	56.8	67.0	61.2	49.0	47.4	56.6	75.3	52.3
障害が重くなってこれまでのような生活ができなくなるのではないか	41.6	51.3	49.7	19.5	38.7	9.6	44.9	36.4	34.0	21.5	38.6
大きな病気をしたり、事故にあったりするのではないか	28.8	28.5	28.8	27.7	35.8	14.0	24.9	27.8	34.0	33.9	31.8
人にだまされたり犯罪に巻き込まれたりするのではないか	16.5	6.9	2.4	35.5	26.9	45.2	18.0	25.5	34.0	65.7	23.1
自分を支えてくれる人が病気になったり、いなくなったりするのではないか	47.1	38.8	38.2	61.5	56.4	47.6	58.8	65.2	67.0	76.9	62.1
今住んでいるところに住み続けることができなくなるのではないか	21.6	17.3	14.3	28.0	36.6	16.4	22.4	28.5	33.0	33.1	23.1
自分に必要なサービスが使えなくなるのではないか	16.0	13.0	9.5	20.8	21.8	14.4	23.7	26.9	20.8	33.9	19.3
はっきりとはしないが何となく将来が不安である	37.1	35.6	37.5	37.3	42.5	40.8	37.1	32.5	41.5	43.8	41.7
その他	2.9	2.1	1.5	2.8	4.9	6.0	5.7	3.7	4.7	5.6	7.2
特に不安に感じることはない	5.1	6.0	8.6	3.0	3.1	4.0	4.5	2.1	0.9	0.8	1.9
無回答	12.8	10.1	11.4	17.1	10.1	17.2	16.7	19.4	21.7	9.6	17.0

居住地の圏域別で見ると、「奈良圏域」で「人にだまされたり犯罪に巻き込まれたりするのではないか」が他と比べて高い傾向が見られます。

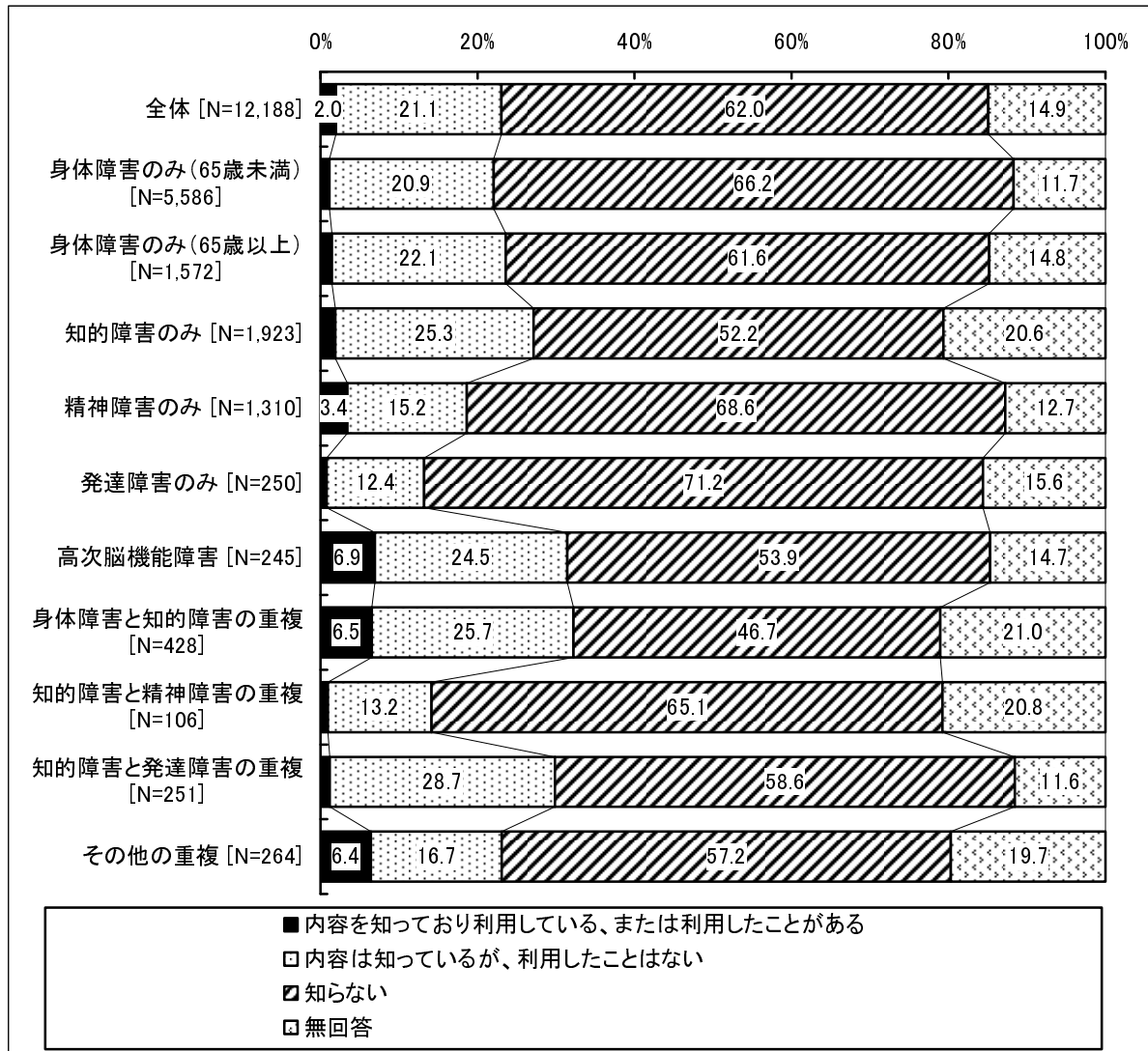
図表143 将来に対する不安（圏域別） [N=12, 188]

	全体	奈良圏域	西和圏域	中和圏域	東和圏域	南和圏域
N=	12,188	2,926	2,866	3,171	2,004	867
生活に必要な収入が将来も得られるかどうか	53.0	55.6	53.0	53.5	53.9	46.6
障害が重くなってこれまでのような生活ができなくなるのではないか	41.6	42.4	42.4	41.1	42.4	41.1
大きな病気をしたり、事故にあったりするのではないか	28.8	30.8	28.5	29.2	28.8	25.0
人にだまされたり犯罪に巻き込まれたりするのではないか	16.5	19.2	16.5	15.7	16.3	12.1
自分を支えてくれる人が病気になったり、いなくなったりするのではないか	47.1	49.4	48.8	46.1	47.8	42.0
今住んでいるところに住み続けることができなくなるのではないか	21.6	23.9	22.8	20.3	22.0	16.4
自分に必要なサービスが使えなくなるのではないか	16.0	18.7	15.4	16.5	15.8	10.0
はっきりとはしないが何となく将来が不安である	37.1	36.6	37.2	36.8	39.6	35.6
その他	2.9	3.3	3.1	2.7	2.7	1.6
特に不安に感じることはない	5.1	5.0	4.9	5.0	5.5	5.1
無回答	12.8	11.5	11.0	13.2	12.4	14.6

③地域福祉権利擁護事業・成年後見制度

地域福祉権利擁護事業・成年後見制度について聞いたところ、「知らない」の割合が62.0%と6割以上となっています。一方、「内容は知っているが、利用したことはない」が21.1%、「内容を知っており利用している、または利用したことがある」が2.0%となっています。

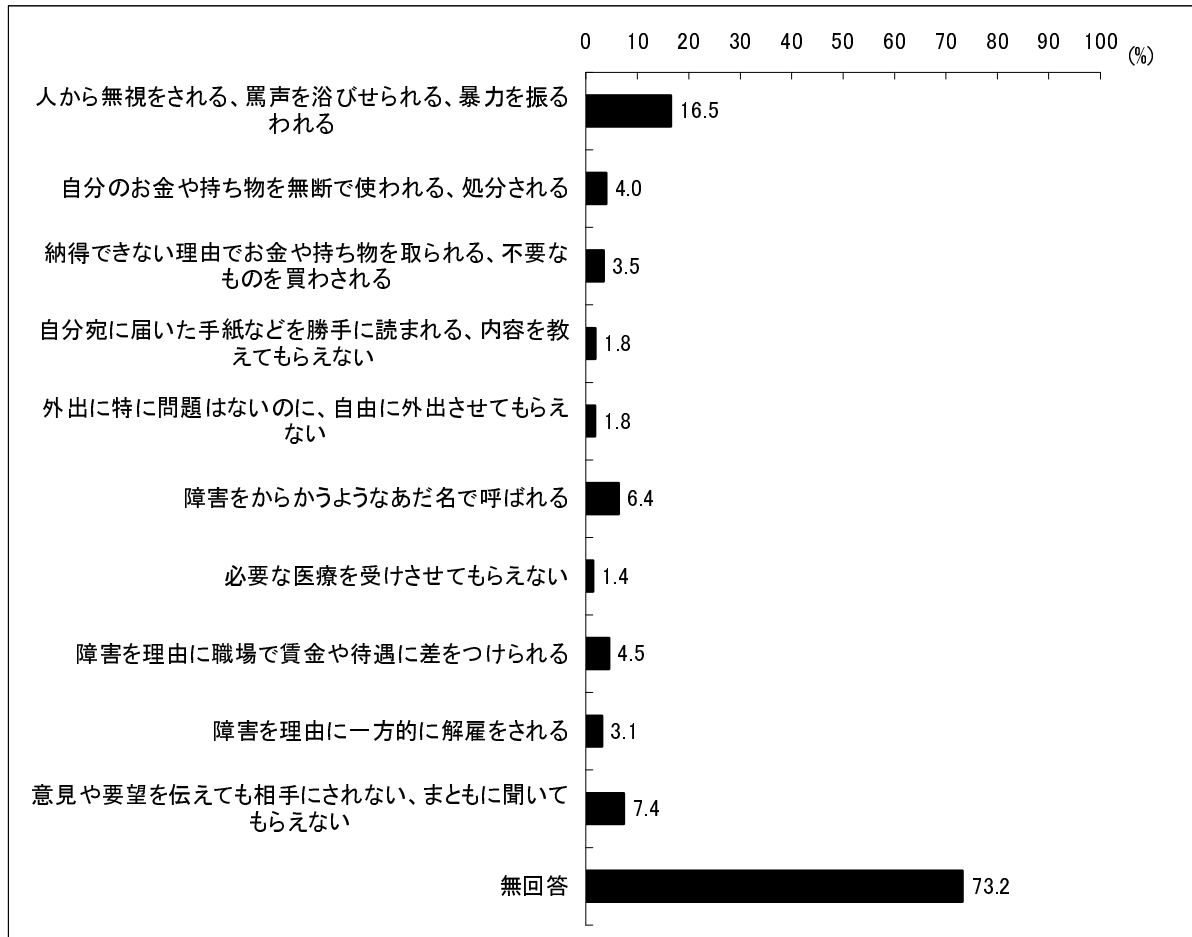
図表144 地域福祉権利擁護事業・成年後見制度 [N=12,188]



④権利侵害等の経験

権利侵害等の経験について聞いたところ、「人から無視をされる、罵声を浴びせられる、暴力を振るわれる」の割合が16.5%、「意見や要望を伝えても相手にされない、まともに聞いてもらえない」が7.4%、「障害をからかうようなあだ名で呼ばれる」が6.4%等となっています。

図表145 権利侵害等の経験 [N=12,188 ; 複数回答]



障害種別で見ると、「知的障害と精神障害の重複」「知的障害と発達障害の重複」で、「人から無視をされる、罵声を浴びせられる、暴力を振るわれる」の割合が比較的高くなっています。

図表146 権利侵害等の経験（障害種別） [N=12,188]

	全体	（身体5障害未のみ）	（身体5障害以上のみ）	知的障害のみ	精神障害のみ	発達障害のみ	高次脳機能障害	身体障害と知的障害の重複	知的障害と精神障害の重複	知的障害と発達障害の重複	その他の重複
N=	12,188	5,586	1,572	1,923	1,310	250	245	428	106	251	264
人から無視をされる、罵声を浴びせられる、暴力を振るわれる	16.5	9.0	4.1	29.7	32.8	34.0	15.1	19.4	40.6	37.5	25.4
自分のお金や持ち物を無断で使われる、処分される	4.0	2.3	1.2	4.5	12.3	4.4	4.5	3.5	9.4	4.8	6.8
納得できない理由でお金や持ち物を取られる、不要なものを買わされる	3.5	2.2	1.1	4.3	10.5	2.0	4.5	2.8	12.3	1.2	4.5
自分宛に届いた手紙などを勝手に読まれる、内容を教えてもらえない	1.8	1.4	0.5	1.7	5.6	0.4	2.9	1.2	3.8	0.4	4.2
外出に特に問題はないのに、自由に外出させてもらえない	1.8	1.0	0.6	2.5	4.7	0.4	3.3	2.6	4.7	2.4	3.0
障害をからかうようなあだ名で呼ばれる	6.4	5.6	1.8	10.7	7.1	8.4	4.5	5.8	17.0	12.4	10.2
必要な医療を受けさせてもらえない	1.4	1.0	1.0	1.0	3.1	0.4	4.5	0.7	3.8	2.0	5.3
障害を理由に職場で賃金や待遇に差をつけられる	4.5	4.7	1.2	7.0	5.6	2.4	4.9	3.0	9.4	0.4	5.3
障害を理由に一方的に解雇をされる	3.1	2.5	1.0	2.9	8.5	2.0	4.9	1.4	11.3	1.2	6.8
意見や要望を伝えても相手にされない、まともに聞いてもらえない	7.4	5.3	2.4	9.3	16.8	10.8	7.8	7.5	20.8	9.2	11.0
無回答	73.2	80.0	90.0	60.0	52.1	60.0	71.4	73.6	47.2	58.2	62.5

居住地の圏域別で見ると、「奈良圏域」で、他と比較して割合の高い傾向が見られます。

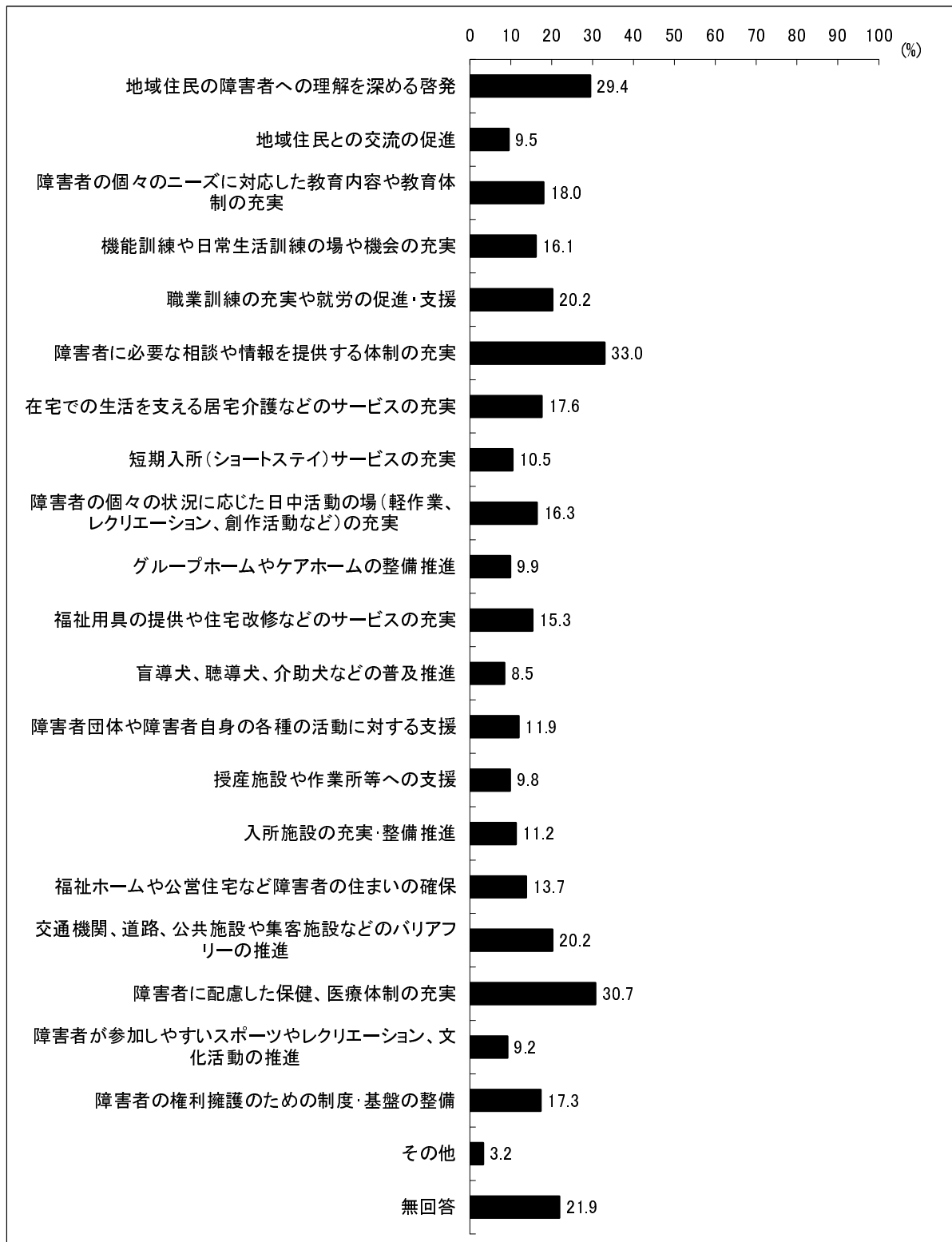
図表147 権利侵害等の経験（圏域別） [N=12,188]

	全体	奈良圏域	西和圏域	中和圏域	東和圏域	南和圏域
N=	12,188	2,926	2,866	3,171	2,004	867
人から無視をされる、罵声を浴びせられる、暴力を振るわれる	16.5	18.4	16.5	16.2	16.4	12.2
自分のお金や持ち物を無断で使われる、処分される	4.0	4.8	4.0	4.1	3.1	2.4
納得できない理由でお金や持ち物を取られる、不要なものを買わされる	3.5	4.5	3.8	3.0	3.0	2.3
自分宛に届いた手紙などを勝手に読まれる、内容を教えてもらえない	1.8	2.2	1.9	1.6	1.6	1.8
外出に特に問題はないのに、自由に外出させてもらえない	1.8	2.1	1.8	1.5	2.0	1.4
障害をからかうようなあだ名で呼ばれる	6.4	7.1	5.8	6.8	6.3	5.7
必要な医療を受けさせてもらえない	1.4	2.2	1.2	1.3	1.3	0.7
障害を理由に職場で賃金や待遇に差をつけられる	4.5	4.4	4.4	4.8	4.9	3.2
障害を理由に一方的に解雇をされる	3.1	3.7	3.0	3.2	3.0	2.4
意見や要望を伝えても相手にされない、まともに聞いてもらえない	7.4	8.7	6.6	7.0	7.9	5.9
無回答	73.2	70.4	73.9	73.2	73.1	78.7

⑤行政の取り組みで必要と思うこと

行政の取り組みで必要と思うことについて聞いたところ、「障害者に必要な相談や情報を提供する体制の充実」の割合が33.0%と最も高く、次いで、「障害者に配慮した保健、医療体制の充実」が30.7%、「地域住民の障害者への理解を深める啓発」が29.4%と続いています。

図表148 行政の取り組みで必要と思うこと [N=12,188 ; 複数回答]



障害種別で見ると、「知的障害と発達障害の重複」「発達障害のみ」で、「障害者の個々のニーズに対応した教育内容や教育体制の充実」が高い割合となっています。

図表149 行政の取り組みで必要なこと（障害種別） [N=12,188]

	全 体	（身 6体 5障 害未 の満 み）	（身 6体 5障 害以 の上 み）	知 的 障 害 の み	精 神 障 害 の み	発 達 障 害 の み	高 次 脳 機 能 障 害	障 害 の 重 複 と 知 的	障 害 の 重 複 と 精 神	知 的 障 害 の 重 複 と 発 達	知 的 障 害 の 重 複 と 発 達	そ の 他 の 重 複
N=	12,188	5,586	1,572	1,923	1,310	250	245	428	106	251	264	
地域住民の障害者への理解を深める啓発	29.4	26.0	23.8	35.7	36.6	40.8	25.7	32.2	38.7	47.8	30.7	
地域住民との交流の促進	9.5	8.2	8.4	12.0	13.1	9.2	8.6	8.9	15.1	10.0	7.2	
障害者の個々のニーズに対応した教育内容や教育体制の充実	18.0	15.4	8.8	22.2	16.7	55.6	16.7	24.8	14.2	60.2	26.1	
機能訓練や日常生活訓練の場や機会の充実	16.1	16.3	13.1	12.7	13.7	27.2	33.5	22.0	11.3	32.3	25.0	
職業訓練の充実や就労の促進・支援	20.2	20.1	7.8	25.0	24.4	44.4	21.6	13.6	21.7	40.2	19.7	
障害者に必要な相談や情報を提供する体制の充実	33.0	34.2	28.9	28.4	39.6	37.2	33.5	29.7	29.2	39.4	40.9	
在宅での生活を支える居宅介護などのサービスの充実	17.6	19.1	21.9	11.4	16.4	4.8	24.9	23.4	22.6	12.4	15.2	
短期入所(ショートステイ)サービスの充実	10.5	7.2	9.8	16.2	8.2	5.2	17.1	28.0	16.0	15.9	17.0	
障害者の個々の状況に応じた日中活動の場(軽作業、レクリエーション、創作活動など)の充実	16.3	11.9	9.6	26.3	20.1	18.4	20.0	26.4	27.4	38.6	18.2	
グループホームやケアホームの整備推進	9.9	5.0	5.2	24.0	9.0	10.8	9.0	21.0	23.6	23.5	9.5	
福祉用具の提供や住宅改修などのサービスの充実	15.3	21.5	19.6	3.5	6.6	2.4	22.0	15.7	6.6	4.4	14.0	
盲導犬、聴導犬、介助犬などの普及推進	8.5	12.3	6.0	4.1	6.0	4.8	5.3	4.9	6.6	3.2	5.3	
障害者団体や障害者自身の各種の活動に対する支援	11.9	11.7	8.2	13.8	15.0	14.8	13.1	10.3	15.1	13.9	11.7	
授産施設や作業所等への支援	9.8	4.3	2.5	26.9	10.3	11.2	6.9	19.9	25.5	28.3	9.5	
入所施設の充実・整備推進	11.2	7.0	7.9	21.4	8.5	6.8	17.1	29.9	20.8	21.5	13.6	
福祉ホームや公営住宅など障害者の住まいの確保	13.7	13.2	9.9	14.8	18.8	12.0	14.7	12.9	25.5	15.9	14.0	
交通機関、道路、公共施設や集客施設などのバリアフリーの推進	20.2	29.1	23.5	5.1	9.0	9.6	18.4	17.5	7.5	9.2	15.9	
障害者に配慮した保健、医療体制の充実	30.7	33.5	30.9	25.6	29.9	26.0	26.5	29.2	25.5	35.5	31.4	
障害者が参加しやすいスポーツやレクリエーション、文化活動の推進	9.2	8.5	7.1	12.8	8.7	10.0	7.8	8.6	15.1	13.5	7.6	
障害者の権利擁護のための制度・基盤の整備	17.3	15.7	13.1	21.2	22.2	20.4	14.7	15.9	26.4	30.3	17.0	
その他	3.2	3.0	1.8	2.8	5.7	3.6	6.9	2.1	3.8	3.2	5.7	
無回答	21.9	20.2	27.7	21.7	20.8	16.4	20.8	20.8	21.7	10.0	23.9	

身体障害の種別で見ると、「肢体不自由」で、「交通機関、道路、公共施設や集客施設などのバリアフリーの推進」が高い割合です。また、「内部障害」で「障害者に配慮した保健、医療体制の充実」、「肢体不自由」「視覚障害」で「福祉用具の提供や住宅改修などのサービスの充実」等も比較的高い割合となっています。

図表150 行政の取り組みで必要なこと（身体障害種別） [N=12,188]

	全 体	視 覚 障 害	能 聴 障 害 ・ 平 衡 機	機 能 音 能 ・ 声 障 害 ・ そ し や 語 機	肢 体 不 自 由	内 部 障 害
N=	12,188	662	630	419	4,629	2,358
地域住民の障害者への理解を深める啓発	29.4	26.9	34.1	26.3	25.9	23.7
地域住民との交流の促進	9.5	8.2	9.7	7.4	8.9	7.6
障害者の個々のニーズに対応した教育内容や教育体制の充実	18.0	16.9	17.3	11.9	14.8	14.5
機能訓練や日常生活訓練の場や機会の充実	16.1	17.7	10.0	21.5	20.6	11.1
職業訓練の充実や就労の促進・支援	20.2	17.8	16.7	10.3	17.3	15.6
障害者に必要な相談や情報を提供する体制の充実	33.0	37.6	38.6	31.3	32.0	33.2
在宅での生活を支える居宅介護などのサービスの充実	17.6	16.6	10.5	21.7	23.6	18.0
短期入所(ショートステイ)サービスの充実	10.5	9.5	6.5	12.2	11.7	7.3
障害者の個々の状況に応じた日中活動の場(軽作業、レクリエーション、創作活動など)の充実	16.3	12.4	11.3	12.6	13.4	10.9
グループホームやケアホームの整備推進	9.9	5.1	4.9	7.6	6.6	5.7
福祉用具の提供や住宅改修などのサービスの充実	15.3	23.6	15.9	20.5	24.4	16.1
盲導犬、聴導犬、介助犬などの普及推進	8.5	19.6	14.4	6.0	9.3	8.5
障害者団体や障害者自身の各種の活動に対する支援	11.9	11.6	16.8	11.5	10.3	11.1
授産施設や作業所等への支援	9.8	6.5	6.2	7.4	5.6	3.1
入所施設の充実・整備推進	11.2	10.3	5.6	14.8	10.9	7.2
福祉ホームや公営住宅など障害者の住まいの確保	13.7	13.6	11.1	10.3	13.7	11.6
交通機関、道路、公共施設や集客施設などのバリアフリーの推進	20.2	25.4	16.2	22.2	32.1	20.2
障害者に配慮した保健、医療体制の充実	30.7	29.8	29.2	29.6	31.8	37.5
障害者が参加しやすいスポーツやレクリエーション、文化活動の推進	9.2	7.3	8.1	8.8	9.1	7.3
障害者の権利擁護のための制度・基盤の整備	17.3	13.9	19.5	17.2	14.7	15.1
その他	3.2	3.2	4.6	3.1	2.9	2.5
無回答	21.9	22.4	21.9	26.0	19.7	24.4

居住地の圏域別で見ると、「奈良圏域」で「障害者に必要な相談や情報を提供する体制の充実」などが高い割合となっています。

図表151 行政の取り組みで必要なこと（圏域別） [N=12,188]

	全体	奈良圏域	西和圏域	中和圏域	東和圏域	南和圏域
N=	12,188	2,926	2,866	3,171	2,004	867
地域住民の障害者への理解を深める啓発	29.4	29.8	29.8	29.4	30.1	28.7
地域住民との交流の促進	9.5	9.8	9.5	9.8	9.0	9.1
障害者の個々のニーズに対応した教育内容や教育体制の充実	18.0	19.8	18.9	18.0	17.0	14.8
機能訓練や日常生活訓練の場や機会の充実	16.1	16.7	17.2	16.1	15.2	15.3
職業訓練の充実や就労の促進・支援	20.2	21.0	22.6	19.4	20.1	17.1
障害者に必要な相談や情報を提供する体制の充実	33.0	34.1	33.6	33.8	33.6	27.2
在宅での生活を支える居宅介護などのサービスの充実	17.6	18.0	18.0	17.1	18.5	17.1
短期入所(ショートステイ)サービスの充実	10.5	10.3	11.8	10.3	9.6	10.1
障害者の個々の状況に応じた日中活動の場(軽作業、レクリエーション、創作活動など)の充実	16.3	17.3	17.1	16.7	15.5	13.6
グループホームやケアホームの整備推進	9.9	11.1	11.3	9.1	9.0	7.5
福祉用具の提供や住宅改修などのサービスの充実	15.3	15.4	16.3	15.0	15.4	14.8
盲導犬、聴導犬、介助犬などの普及推進	8.5	9.0	8.8	8.1	8.2	9.3
障害者団体や障害者自身の各種の活動に対する支援	11.9	13.3	12.7	11.9	10.4	10.5
授産施設や作業所等への支援	9.8	11.2	11.3	8.7	9.0	8.1
入所施設の充実・整備推進	11.2	13.3	11.2	10.5	8.9	12.2
福祉ホームや公営住宅など障害者の住まいの確保	13.7	16.7	14.5	12.6	11.7	11.6
交通機関、道路、公共施設や集客施設などのバリアフリーの推進	20.2	21.2	21.3	19.9	19.8	17.5
障害者に配慮した保健、医療体制の充実	30.7	30.8	30.8	32.1	30.6	29.3
障害者が参加しやすいスポーツやレクリエーション、文化活動の推進	9.2	10.4	9.5	8.8	7.9	9.1
障害者の権利擁護のための制度・基盤の整備	17.3	18.2	17.0	18.3	17.0	15.7
その他	3.2	3.7	3.3	2.9	3.2	2.1
無回答	21.9	19.5	19.2	23.0	22.3	25.3